

2005 (平成17) 年度

# 講義内容

経営学部

 駒澤大學

# 講 義 内 容

## 目 次

### 経営学科フレックス A

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	93
4	保健体育科目	231
II	専門教育科目	277
III	他学部履修科目	395
IV	「日本語」・「日本事情」科目	443

### 経営学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	467
2	教養教育科目	475
3	外国語科目	501
4	保健体育科目	533
II	専門教育科目	547
III	他学部履修科目	611

経営学科フレックス A	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部
	「日本語」	「日本事情」
経営学科フレックス B	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部



# 経営学科フレックスA



# I 全学共通科目



# 1. 宗教教育科目





## 1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈池田 練太郎〉	11
仏教と人間	〈吉村 誠〉	11
仏教と人間	〈伊藤 隆壽〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山 俊英〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈福田 孝雄〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈村松 哲文〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津 宜英〉	15
文化と宗教	〈長谷部 八朗〉	15
社会と宗教	〈池上 良正〉	16
自然と宗教	〈小川 順敬〉	16
坐禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	17



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	池田 練太郎 <small>いけだ れんたろう</small>	経営A1必	4

講義のねらい

本講義は、駒澤大学の建学の理念に基づいておこなわれるものであり、本学で学ぶすべての学生が履修することになっている。この講義を通して、仏教に関する基本的な知識を身につけ、その思想を理解したうえで、複雑・多岐にわたる現代社会のさまざまな問題において、また人類の未来に向けて、仏教がどのような意義を持ち、いかなる有効性を発揮しうるか考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、宗教とは何か、そして世界の諸宗教と比較して仏教の独自性はどこにあるのかについて考え、その後、仏教の開祖であるブッダの生涯について説明する。後期には、ブッダの説いた教えの内容を中心に、日本やその他の地域に伝わった仏教の歴史的・思想的展開を概観し、同時に今日的な諸問題との関連を考えることにしたい。授業はおおむね、a. 宗教とは何か、b. 仏教の基本的な立場、c. 仏教の起こり、d. ブッダの生涯、e. ブッダの思想、f. インドにおける仏教の展開、g. 世界に広がった仏教、h. 現代社会と仏教、という次第で進めていく予定である。

履修上の留意点

自分の専門領域と無関係の内容と決めつけず、自らの日常生活や社会問題との関わりをつねに意識しながら受講する姿勢で臨んでほしい。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験と出席等の平常点によって評価する。

教科書

教科書は特に用いない。必要に応じて資料等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	経営A1必	4

講義のねらい

この講義は、本学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうために設けられています。仏教が現代に生きる私たち人間にとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということ、学問的見地から考察してゆきます。

前期は、仏教の開祖ブッダ（釈尊、紀元前5世紀頃）の思想と、その後に発展した大乘仏教（紀元後1世紀頃）の特徴について概説します。後期は、仏教と日本の関係について、空海（774-835）がもたらした密教の世界観と、道元（1200-1253）が究めた禅の人間観とを中心に検討します。

講義を通じて、自己が存在する意義や、自己と世界の関係について考えを深め、「行学一如」の精神を涵養するのに役立ててください。また、学問的思考や真理探究の精神を身につけることも期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ブッダの生涯 (2) ブッダの観たもの (3) ブッダ最初の説法 (4) 仏教の実践教義 (5) 業と輪廻 (6) 真理の言葉 (7) ブッダ最後の旅 (8) 無我から空へ (9) 菩薩とは誰か (10) 仏像の誕生 (12) 大乘仏教の伝播 (13) お盆の話
- (後期) (1) お彼岸の話 (2) 日本への仏教伝来 (3) 国家と仏教 (4) 最澄と空海の入唐 (5) 密教のコスモロジー (6) 共生の世界 (7) 神と仏のシンクレティズム (8) 浄土への憧憬 (9) 禅と無の境地 (10) 栄西と道元の入宋 (11) 自己の探求 (12) 禅と日常生活 (13) 仏教と現代

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席をしないように注意してください。

成績評価の方法

出席状況とレポート・試験などを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	伊藤隆壽	経営A1必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	ほれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	経営2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	経営2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	むら まつ てつ ふみ 村 松 哲 文	経営2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではなかろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）  
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宜英	経営2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ はちろう 長谷部 八朗	経営選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみ よし まさ</small>	経営選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわ としゆき</small>	経営選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとどなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期)(後期) 禅	さとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	経営選	2

## 講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠る所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

## 講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

## 履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

## 成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

## 教科書

適宜、プリントにて配布します。

## 参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円



## 2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、  
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 475)



## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

文学	学〔日本文学「近代」〕	〈川島淳史〉	25
文学	学〔日本文学「近代」〕	〈小林治〉	25
歴史学	〔日本近代史〕	〈立川章次〉	26
芸術学	(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	26
芸術学	(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	27
芸術学	(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	27
哲学	学〔西洋思想の源流〕	〈河谷淳〉	28
哲学	学〔近代の人間観と世界観〕	〈麻生享志〉	29
論理学	学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	29
論理学	学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	30
論理学	学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	30
科学史	〔科学と技術〕	〈長岡亮介〉	31
倫理学	(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	31
倫理学	(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	32
倫理学	(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	32
倫理学	(4)(7)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	33
倫理学	(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	33
倫理学	(6)〔東洋倫理〕	〈水口拓寿〉	34
宗教学	(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	34
宗教学	(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	35
宗教学	(3)〔世界観と儀礼〕	〈小川順敬〉	35
宗教学	(4)〔日本人の宗教〕	〈洗建〉	36
宗教学	(5)〔生活と宗教〕	〈菅原壽清〉	36
宗教学	(6)〔民俗宗教の諸相〕	〈佐藤憲昭〉	37
人文地理学	(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	37
人文地理学	(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〉	38
人文地理学	(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〉	39
人文地理学	(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〉	40
教育	の思想	〈伊藤茂樹〉	40
教育	の思想	〈坂本信昭〉	41
教育	の思想	〈萩原建次郎〉	41
教育	の思想	〈豊田千代子〉	42
教育	の思想	〈北村三子〉	42
教育	と社会	〈伊藤茂樹〉	43
教育	と社会	〈坂本信昭〉	43
教育	と社会	〈豊田千代子〉	44
教育	と社会	〈北村三子〉	44
教育	と社会	〈萩原建次郎〉	45
発達	と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	46
発達	と学習の心理学	〈三國隆子〉	46
発達	と学習の心理学	〈夏堀睦〉	47
発達	と学習の心理学	〈角野善司〉	47
カリキュラム	と学習	〈大浜幾久子〉	48
カリキュラム	と学習	〈三國隆子〉	48

カリキュラムと学習〈夏堀 陸〉	49
カリキュラムと学習〈角野 善司〉	49

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕〈呉 炳三〉	50
統計学〔社会現象の統計的決定〕〈新行内 康慈〉	51
文化人類学〔社会変化と価値観〕〈内山 明子〉	52
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈杉井 純一〉	53
法学・憲法〔法と国家〕〈佐藤 多美夫〉	54
法学・憲法〔法と国家〕〈新田 浩司〉	55
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈池田 実〉	56
政治学〔国際社会と日本〕〈三船 恵美〉	57
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大石 雄爾〉	58
教育学〔デス・エデュケーション〕〈柳堀 素雅子〉	59
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕〈野中 弘敏〉	59

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	60
地球科学〔自然景観の成り立ち〕〈市川清士〉	60
自然環境論〔生命と環境〕〈中村敏枝〉	61
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真里〉	61
自然環境論〔変動する地球と環境〕—夏季集中—〈山本由弦〉	62
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里〉	63
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	64
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	64
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	65
情報数学〔情報と論理〕〈坂野井和代〉	65
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	66
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	67
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	67
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈篠田謙一〉	68
心理学〔人間関係を考える〕〈高橋良博〉	68
心理学〔人間関係を考える〕〈加藤博己〉	69
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉	70



(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝道〉	71
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本 英人〉	71
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和・他〉	72
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	73
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	74
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕	〈杉山 秀子〉	75
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	75
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	〈西村 祐子〉	76
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	77
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	78
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	79
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	79
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	80
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂・他〉	81
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈内海 麻利・他〉	82
総合Ⅷ	〈休 講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	川島淳史	経営A・経営B選	4

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治二十年代から三十年代にかけての時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は日清戦争前後から日露戦争前後にかけての文壇の動向を中心に考察していきたい。この時期、日本は政府の主導により、積極的に近代化を推進し、西洋の思想・技術・文明を摂取して、国民国家を形成していった。しかし、その性急な近代化は他方でさまざま社会問題を引き起こす原因ともなったのである。そのような時代状況のなかで、文学者たちはそれをどのように見つめ、作品に書きあらわしていったのか。森鷗外、北村透谷、泉鏡花、川上眉山、広津柳浪、樋口一葉、内田魯庵などの作品を通して「日本の近代」の諸問題を検討していきたいと思う。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してこること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくことが必要。

成績評価の方法

講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教科書

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	小林治	経営A・経営B選	4

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

安部公房『砂の女』  
深沢七郎『楢山節考』  
上野英信『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）552円  
安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）514円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近代史〕	たちかわしょうじ 立川章次	経営A・経営B選	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。  
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新期にかけての過程を考察する。  
後期 外交の転機となった最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書

尾佐竹猛『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	経営A選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派  
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派  
 (11) 狩野正信・元信 (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇

後期 江戸時代の絵画  
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ～ (18) 琳派  
 (19) ～ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派  
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白  
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	経営A選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術  
イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム  
(後期) 17・18世紀の美術  
バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望めます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	経営A選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回日にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』(公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 〔西洋思想の源流〕	かわ 谷 あつし 淳	経営A・経営B選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで哲学を身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（１）ギリシア哲学：哲学の始まり  
ソクラテス以前の哲学  
ソクラテスの「無知の自覚」  
プラトンのイデア論  
アリストテレスの質料形相論

後期：（２）キリスト教哲学：信仰と合理性  
神の存在証明  
普遍論争（唯名論と実在論）

（３）近代哲学：認識論的転回  
大陸合理論：デカルトにおける「私」  
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム  
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（論述タイプのテストでそれぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	あさ 麻 生 享 志	経営A選	4

講義のねらい

どういものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いです。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われますが、それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものでしょう。しかしそのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもありません。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したいと考えています。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明します。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっています。ですから、過去に行われた議論を紹介するだけでなく、講義を聞く諸君一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示します。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・経験論と合理論・ドイツ観念論・生の哲学などを考えています。また、西洋近現代にきちんと限定するようなことにはせず、古代や東洋思想にも言及する予定です。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めることが決定的に重要。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない、と考えています。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明します。

成績評価の方法

前期・後期試験・レポート（前期5月連休明け提出、後期夏休み明け提出）を中心とし、平常点（出席）を加味して成績を評価します。

教科書

久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介します。積極的に、自分で選択し、精力的に読書する姿勢を期待しています。

その他

多少は指名して対話するかもしれませんが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎です。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンスが済んだら、雑談の内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）  
この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すず 鈴 木 暲	経営A・経営B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
  - (a) 文論理の意味論
  - (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
  - (a) 第一階量化論理の意味論
  - (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
  - (a) 健全性定理の意義
  - (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	の 野 浩 司	経営A選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人やリピーターの参加は歓迎します。

昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	い 古 田 理	経営A選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	なが おか りょう すけ 長岡亮介	経営A選	4

講義のねらい

我々の今日の文化と文明が、高度に発達した科学とその科学に裏付けられた技術に決定的に依存していることはいうまでもない。しかし、その科学を支えている「方法」や「思想」には必ずしも多くの人の眼差しは届いていない。「科学」と「技術」の区別さえ曖昧なわが国の傾向は、その一つの現れである。本講義は、古代より今日に至る科学と思想の歴史的な展開を、いくつかの重要な局面に注目して見るというスタイルで、現代に至る科学と科学思想の展開を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシヤの自然哲学や幾何学の話題から出発し、中世、近世、現代へと時間的に降りるが、単なる概観ではなく、上に述べたようにスポットライト的に重要な話題を捨てるように講義する。学生諸君の希望によっては、後期は、19世紀以降の論理学や数理と哲学の話題にも触れる。

履修上の留意点

いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、数学や理科についての最小限の教養（中学レベルまで）は仮定する。また、講義の中でやや複雑な諸概念を登場したとき、必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法

出席状況、随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古田知章	経営A・経営B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

- 〔前期〕人間観の形成の歴史
1. 人間と倫理 一人間であるために一
  2. 古代ギリシヤ思想における人間観の諸相
  3. 中世キリスト教思想における人間観
  4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革一
- 〔後期〕新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
  2. 自己の内面性と他者の問題
  3. 人格 一ロックを手がかりに一
  4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎 剛 <small>くろ さき つよし</small>	経営A・経営B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的に行っている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理—講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢 正之 <small>たき さわ まさ ゆき</small>	経営A・経営B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。  
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。  
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。  
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。  
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	矢野 浩司	経営A・経営B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行って、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清栄	経営A・経営B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり、そのあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)  
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくしゅ 水口拓寿	経営A・経営B選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を採りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめくって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめくって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）  
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）  
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いげがみよしまさ 池上良正	経営A・経営B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2)人類史と宗教。(3)現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子	経営A・経営B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	小 川 順 敬	経営A・経営B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	あらい 洗 けん 建	経営A・経営B選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	すが 菅 わら 原 とし 壽 きよ 清	経営A・経営B選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐 藤 憲 昭 <small>さとう のりあき</small>	経営A・経営B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。  
卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。〔課題〕宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕本文は2000字。〔提出先と時期〕授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。〔その他〕表紙をつけること。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	竹 林 和 彦 <small>たけばやし かずひこ</small>	経営A選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス                | 10. 文化景観          |
| 2. 人文地理学の学問的性格          | 11. 文化伝播          |
| 3. 人文地理学の基本概念           | 12. 東南アジアの風土と文化   |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法      | 13. 東アジアの風土と文化    |
| 5. 人文地理学と地誌学            | 14. 市場の風景         |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？       | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念）          | 16. 都市と農村         |
| 8. 文化地域                 | 17. まとめ           |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ |                   |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(2) 〔風土と文化〕	たか 高 橋 けんたろう 健太郎	経営A選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。  
 具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) ブナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。  
 高橋伸夫ほか1995.『文化地理学入門』(東洋書林)  
 鈴木秀夫1988.『風土の構造』, 講談社(講談社学術文庫)  
 佐々木高明1993.『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)  
 田畑久夫2003.『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)  
 市川健夫ほか1984.『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)  
 中島峰広1999.『日本の棚田』(古今書院)  
 溝尾良隆2003.『観光学』(古今書院)  
 若林幹夫1995.『地図の想像力』, 講談社(講談社選書メチエ)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山 口 太 郎	経営A選	4

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理  
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述  
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井寛、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異  
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市  
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱  
選好地図、まなざしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。  
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。  
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）  
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）  
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	経営A選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規理性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 イントロダクション(1)、地図(2)、都市の分布と立地(3~7)、地域の結びつき(8・9)、都市の内部構造(10)

〔後期〕 人口変動と分布・人口移動(1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化(3~8)、都市と余暇活動(9)、都市空間における知覚と認知(10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

講義ではプリントを随時配布する。

参考書等

北川建次編(2004)『現代都市地理学』(古今書院)  
坂本英夫・浜谷正人編(1985)『最近の地理学』(大明堂)  
富田和暁・藤井 正編(2001)『図説 大都市圏』(古今書院)  
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経営A・経営B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
・近代社会と教育  
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	坂本信昭 <small>さか もと のぶ あき</small>	経営A・経営B2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円  
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	萩原建次郎 <small>はぎ わら けんじろう</small>	経営B2選	2

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
  - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
  - (2) 発達の思想を学ぶ
  - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子	経営B2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村三子	経営B2選	2

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

教科書

ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経営A・経営B 2選	2

- 講義のねらい** 学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
- 講義の内容・授業スケジュール** とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在
- 履修上の留意点** ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
- 成績評価の方法** 学期末試験により評価する。
- 教科書** 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
- その他** この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	坂本 信昭 <small>さか もと のぶ あき</small>	経営A・経営B 2選	2

- 講義のねらい** 人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。  
 ・学校教育のあゆみ  
 ・学校の社会的機能  
 ・学校教育の現実と課題  
 ・その他（教師論集）
- 履修上の留意点** 授業の出欠は厳密にとる。
- 成績評価の方法** 課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
- 参考書等** 西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円  
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
- その他** この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ たちよこ 豊田千代子	経営B2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り  
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権  
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	経営B2選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	経営B2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 「居場所」をめぐる言説の登場
- (2) 「居場所」の意味を読み解く
- (3) 子ども・若者の自己形成空間の変容
- (4) 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- (5) 「居場所」に関わる指導者論
- (6) 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わりの場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）  
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	三 國 隆 子 <small>みくにりゅうこ</small>	経営A・経営B 2選	2

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	大 浜 幾 久 子 <small>おおはまきくこ</small>	経営A・経営B 2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	なつ ぼり 堀 睦 夏 堀 睦	経営B 2選	2

講義のねらい

幼児、児童・生徒の発達と学習のメカニズム、および援助、指導の方法について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②知能・創造性・思考の発達
- ③対人関係（と人格）の発達
- ④特別な教育的ニーズを持つ子どもへの援助（障害児・才能を持つ子ども）
- ⑤新しい「学習」の捉え方
- ⑥多重知能理論に基づく教育実践

履修上の留意点

学期末試験の成績を中心に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

講義形式で行います。授業中に小レポートを課す場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	すみ の ぜん し 角 野 善 司	経営B 2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま 幾久子 大 浜 幾久子	経営A・経営B 2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	みくに 隆子 三 國 隆 子	経営A・経営B 2選	2

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	夏堀 睦	経営B2選	2

講義のねらい

- 1) カリキュラム—教授—評価のサイクルを中心に、教育活動を構成する諸要素について学習する。
- 2) 現行学習指導要領の特徴をふまえて、実践案作成課題に取り組む。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① カリキュラムの意義
- ② 現行学習指導要領の基本方針
- ③ 総合的学習の意義
- ④ 総合的学習の設計に関わる教授理論と評価法
- ⑤ C-I-A サイクルの構成
- ⑥ ポートフォリオ評価法を使ったC-I-A サイクルの設計

成績評価の方法

授業中の小レポートと学期末試験の成績によって評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

授業中に適時紹介します。

その他

一回目の講義のなかで実践案作成課題について説明を行います。必ず出席するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	角野 善司	経営B2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) カリキュラム (教育課程) とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領 (平成15年一部改正) の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	経営A・経営B選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。また、毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経営A・経営B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方や諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
 (10) 確率変数と標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ  
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定  
 (16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定  
 (19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習  
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用  
 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	うちやまあきこ 内山明子	経営A・経営B選	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだった。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものの方角をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方(文明と未開、フィールドワークと民族誌、主要な学説紹介、親族、世界観)
- II 社会変化と価値観(文化や社会についての新しい考え方、近代化と文化人類学——世界システム論、植民地主義と新植民地主義、民族国家成立と民族問題)

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 井 純 一 い じ めん いち	経営A・経営B選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  - 1. 文化人類学とは何か
  - 2. 文化人類学の歩み(1)
  - 3. 文化人類学の歩み(2)
  - 4. 文化とコミュニケーション
  - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
  - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
  - 7. 環境と人間(3) 農耕民
  - 8. ジェンダー
  - 9. セクシュアリティ
  - 10. 婚姻の形態
  - 11. 家族の多様性
  - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  - 1. 呪術と宗教
  - 2. アニミズム
  - 3. シャーマニズム
  - 4. シンクレティズム
  - 5. 儀礼の構造
  - 6. コスモロジー
  - 7. 神話
  - 8. 政治組織
  - 9. 民族とエスニシティ
  - 10. 民族紛争と戦争
  - 11. 開発と文化
  - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円  
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円  
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4～5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	さ とう 藤 たみお 佐 藤 多美夫	経営A・経営B選	4

講義のねらい

私たちは、社会の中で生活しているが、それは現代法の中で活動していることでもある。社会の仕組みや働きは、憲法を中心として刑法・民法・商法・労働法・経済法・行政法などの法によって規律されている。この講義は、政治・裁判・市民生活・経済・文化などの分野における現代法の原理や仕組みを把握しようと思う。私たちは法によって規律されてはいるが、また、法を利用し法を制定・改廃するのも私たちである。この講義が、このような現代法の実態と諸問題を理解するために役立てればと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |  |   |
|--|---|
| <p>I 現代法の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法とは何か</li> <li>2. 近代法の原理と展開</li> <li>3. 明治憲法から日本国憲法へ</li> <li>4. 日本国憲法の特徴</li> </ol> <p>II 政治機構と法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 国民主権と政治権力</li> <li>6. 民主的統治の機構</li> <li>7. 権力分立の原理</li> <li>8. 地方自治の保障</li> <li>9. 政治からの自由</li> <li>10. 政治への参加</li> <li>11. 国際政治と国際法</li> <li>12. 国際政治と人権</li> </ol> <p>III 裁判と法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13. 裁判の機能</li> <li>14. 司法権の独立</li> <li>15. 刑事裁判の原則</li> <li>16. 民事裁判の原則</li> <li>17. 行政訴訟と不服審査</li> <li>18. 憲法訴訟の問題</li> <li>19. 法と判例</li> </ol> | <p>IV 刑事裁判と法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>20. 捜査過程における人権の尊重</li> <li>21. 自白の証拠能力</li> <li>22. 刑事手続と行政手続</li> <li>23. 公安条例と集団行動の自由</li> <li>24. 検閲と表現の自由</li> </ol> <p>V 市民と法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>25. 市民生活と法</li> <li>26. 財産法の原則</li> <li>27. 個人と法人</li> <li>28. 家族法</li> <li>29. 夫婦・親子・扶養</li> <li>30. 相続と法</li> <li>31. 市民法から社会法へ</li> </ol> <p>VI 文化と法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>32. 学問の自由</li> <li>33. 教育の自由</li> <li>34. 国家と宗教</li> </ol> |
|--|---|

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参 考 書 等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	新 田 浩 司 （にっ た ひろ し）	経営A・経営B選	4

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |      |               |       |           |
|------|---------------|-------|-----------|
| 第1回目 | ガイダンス         | 第9回目  | 精神的自由権①   |
| 第2回目 | 法学の基礎知識①      | 第10回目 | 精神的自由権②   |
| 第3回目 | 法学の基礎知識②      | 第11回目 | 経済的自由権    |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③      | 第12回目 | 社会権       |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識       | 第13回目 | 参政権、国家請求権 |
| 第6回目 | 日本国憲法の制定過程    | 第14回目 | 統治機構①     |
| 第7回目 | 日本国憲法の基本原理    | 第15回目 | 統治機構②     |
| 第8回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） |       |           |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。  
なお、授業の出席状況も参考とする。

教 科 書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乘正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税  
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参 考 書 等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と権利〕(夏季集中)	いけ だ 池 田 実	経営A・経営B選	4

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。  
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括  
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教 科 書

抱喜久雄編『新・初めての法学』(法律文化社)  
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院)平成17年4月刊行予定  
 上記2冊を用います。

参 考 書 等

授業時に適宜指示します。

そ の 他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	三船恵美	経営A・経営B選	4

講義のねらい

本講義では、現代日本が国際社会で直面しているさまざまな問題の基本的な概念や知識について学びます。本講義は、副題が示すように、「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材に「政治を視る眼」を養うことを目的とします。現代日本が直面している問題について、「何が問題になっているのか」、「原因は何か」、「その問題の解決のためにどのような取り組みがなされているのか」について、「国内政治・国内要因と国際政治との関連」、「地域秩序との関連」、「日本の国際貢献」、という視点から考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なテーマとしては、米軍再編とアメリカの対東アジア戦略、日米同盟の再構築、日本の自衛隊と国際貢献、米中関係の変化が日中関係・日米関係に与える影響、中国のエネルギー戦略をめぐる諸問題、中国の戦略的海洋進出、尖閣諸島領有問題、日本の対中国 ODA 問題、米中台関係と日本の安全保障、韓国の文化産業戦略と日韓関係、朝鮮半島の核危機と日本、日中・日韓歴史問題、戦後補償問題、日本の戦後教育とアジア、東アジア共同体の可能性と限界、イラン・アザデガン油田開発問題と日本、などを予定しています。これ以外にも、講義の時期に実際に起こる政治事件や政治状況を取り上げていきます。

政治学を専攻していない学生を対象とする本講義が、受講生に政治について考えるきっかけを提供するものになるように、講義したテーマについて、時々、教場レポートを書いてもらいます。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

用いません。

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経営A・経営B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会科学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳堀素雅子 <small>やなぎぼりすがこ</small>	経営A選	4

講義のねらい

人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

戦争と人間の死の問題。  
環境問題と人間の関係。  
先端医療と人間の生と死の問題

履修上の留意点

単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになる必要がある。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。

成績評価の方法

レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

授業中にその都度紹介する。

その他

ビデオ、DVDも豊富に使用する。  
参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	野中弘敏 <small>のなかひろとし</small>	経営A選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

- おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。
- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
  - ・人間の心理-社会的発達
  - ・人格の構造と機能
  - ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
  - ・心理療法の基本的考え方
  - ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営A・経営B選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。  
後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）生物の生活  
（1-5）地球の歴史と生命の期限  
（6-13）生態系のしくみ  
（後期）化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ  
（14-21）ゴミ処理とダイオキシン汚染  
（22-23）水銀汚染と水俣病  
（24-25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわきよし 市川清士	経営A・経営B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。  
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 —惑星地球と大気・海洋のシステム—』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味の手持するような講義を行おうと考えています。  
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営A・経営B選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境  
 (1-6) 自然のしくみ  
 (7-12) 自然の改変
- (後期) 食をめぐる問題  
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物  
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物  
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円  
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまるま 持丸真里	経営A・経営B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境  
 (4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系  
 (7) 森林破壊
- (後期) (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染  
 (10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊  
 (13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストップクスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー—生態系と地球環境のしくみ』(日本実業出版社) 1,500円  
 その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕(夏季集中)	やまもと ゆづる 山本 由弦	経営A・経営B選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点をしばり、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的な位置
2. 日本を構成するもの－付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境－関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境－大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

教科書

使用しない

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくはOHPを使用  
授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里	経営A選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
  - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
  - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
  - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
  - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
  - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
  - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
  - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
  - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
  - (3) 化石燃料の化学
  - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
  - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	経営A選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線型代数学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	経営A選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	経営A選	4

## 講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、  
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理、経営の数理

## 履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。

## 成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

## 教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。

## 参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

## その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	さかの い かず よ 坂野井 和 代	経営A・経営B選	4

## 講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。

## 履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

## 成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

## 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

## 参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円  
J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I 〔第2版〕』（サイエンス社）2,800円  
ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお しのほらまさお雄	経営A選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	経営A選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁  
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	経営A選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。  
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。  
太陽： 構造 エネルギー源  
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源  
後期は銀河をとりあげます。  
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域  
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。  
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあり得ます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1)(2) 〔人類の進化〕	篠田 謙一 <small>しの た けん いち</small>	経営A選	4

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。  
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』(てらべいあ) 3,200円 ISBN: 4-88699-013-4

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思いますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	高橋 良博 <small>たか はし よし ひろ</small>	経営A・経営B選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。  
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。  
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	加藤 博己 <small>かとうひろみ</small>	経営A・経営B選	4

講義のねらい

この講義では、哲学から独立し、120有余年の学問的背景を有する心理学の歴史と研究法の概略を知るとともに、人間関係に関する事柄に重点を置きつつ、記憶、学習、性格、情動、動機づけ、発達、認知、社会、臨床等の基礎分野を概観し、心理学の基礎知識の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(可能な限り半期ごとに纏まりとなるように計画、1回ないし2回毎の小項目を記載)  
 前期：記憶、学習、性格、情動、動機づけ  
 後期：発達、認知、社会、臨床、心理学基礎論

履修上の留意点

本授業は講義形式なので、一方通行の講義とならないよう、毎授業において、意見を求めるとともに、前回の講義の理解度を確かめるための小ワークを行う予定である。従って、単に授業に出席しているだけでは、単位取得は困難となるかも知れない。

成績評価の方法

定期試験期間内に、筆記試験を行う予定である。詳細は、初回のオリエンテーション授業で述べる。

教科書

中村昭之(編)『心理学概説』(八千代出版)1,835円(本体1,748円+税)  
 ISBN4-84290-890-4

参考書等

随時紹介する。

その他

年間を通して、数回の簡単な実験や心理検査を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	堀内まさひこ	経営A・経営B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をささぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月	△	△		
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	経営A選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま ちと へい にん 熊 本 英 人	経営A選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。  
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ (2) 〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫	経営A選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

前期半期：本校での講義（一部実習を含む）

(1) ガイダンス (2) 自然観察の方法 (3) 植物の観察1 (4) 植物の観察2 (5) バードウォッチングの方法 (6) バードウォッチングの実習 (7) 化学的な見方1 (8) 化学的な見方2 (9) 地球科学的な見方1 (10) 地球科学的な見方2 (11) 天体観測の方法1 (12) 天体観測の方法2 (13) 富浦実習に向けて

富浦での講義と実習：7月17日（日）午後～7月21日（木）午前（4泊5日）  
午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加する人のみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中に徴収する）。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	経営A選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point: you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき といちろう 岡崎 寿一郎	経営A選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎやま ひろこ 杉山 秀子	経営A選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるものの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。  
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。  
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列挙する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明人	経営A選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆっこ 西村 祐子	経営A選	4

講義のねらい

アメリカのNPO、NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い

コミュニティ・ビルディングとNPO

シアトルのまちづくり

シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO

アメリカにおける移民とNPO

自治体とNPOの協働について

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較

日本のまちづくり政策とNPO

世田谷区のまちづくりとNPO

まちづくり協議会とNPO

兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO

日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄 <small>まるこてつお</small>	経営A選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける＜主体性＞のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布  
プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	川 <sup>がわ</sup> 股 <sup>また</sup> 陽太郎 <sup>ようたろう</sup>	経営A選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ビクトおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のものを、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚機材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おおの ゆうじ 大野 祐二	経営A選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめませんが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)  
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)  
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉田 京子	経営A選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適当である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ代 早川紀代	経営A選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきでゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方がうまれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ (1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 <small>しげる</small> 茂 <small>あらき</small> 荒木 <small>まさたか</small> 正孝 <small>たけなか</small> 竹中 <small>ちか</small> 智香 <small>はらだ</small> 原田啓一郎 <small>ひかさ</small> 日笠 <small>かんじ</small> 完治 <small>やまぐち</small> 山口 <small>くにあ</small> 邦夫	経営A選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。  
 法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。  
 担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。  
 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。  
 追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。  
 六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ 〔都市論〕 (2)	内海 麻利・浦田 早苗 坂井 文・品田 ともみ 早川 純貴・保坂 尚郎	経営A選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（4回：4月・5月）

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。(1) 環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。(2) 家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（4回：5月・6月）

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」（4回：11月・12月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にもなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

### 3. 外 國 語 科 目

外国語

### 3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A	〈池上賀英子〉	93
英語 I A	〈三芳康義〉	93
英語 I A	〈川崎浩太郎〉	94
英語 I A	〈三輪久恵〉	94
英語 I A	〈水崎野里子〉	94
英語 I A	〈田中保〉	95
英語 I A	〈横森正彦〉	95
英語 I A	〈川崎笑佳〉	95
英語 I A	〈牧野輝良〉	96
英語 I B	〈澤田真弓〉	97
英語 I B	〈田中保〉	97
英語 I B	〈亀田三重子〉	98
英語 I B	〈矢島直子〉	98
英語 I B	〈狩野晃一〉	98
英語 I B	〈澤田真弓〉	99
英語 I B	〈田中保〉	99
英語 I C (会話)	〈ササキ, M.〉	100
英語 I C (会話)	〈チャンドラー, J. E.〉	100
英語 I C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	101
英語 I C (会話)	〈レイン, R. V.〉	101
英語 I C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	102
英語 I C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	102
英語 II A	〈江田幸子〉	103
英語 II A	〈佐藤勝〉	103
英語 II A	〈高柳文江〉	104
英語 II A	〈川崎笑佳〉	104
英語 II A	〈西原克政〉	104
英語 II A	〈手島敬子〉	105
英語 II A	〈三幣友行〉	105
英語 II C (会話)	〈チャンドラー, J. E.〉	106
英語 II C (会話)	〈ノーラン, D. J.〉	106
英語 II C (会話)	〈ハーバード, W. D.〉	107
英語 II C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	107
英語 II C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	108
英語 II C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	108
英語 III A	〈小布施圭佐三〉	109
英語 III A	〈佐藤孝一〉	109
英語 III A	〈甲斐捷子〉	110
英語 III A	〈広川治〉	110
英語 III A	〈山口晃〉	110
英語 III A	〈伊藤美代子〉	111
英語 III A	〈萩原輝〉	111
英語 III A	〈落合和昭〉	112
英語 III A	〈伊藤幸一〉	112
英語 III A	〈吉江正雄〉	113

英語 III A 〈高橋 寛〉	113
英語 III A 〈井伊 順彦〉	113

[ ドイツ語 ]

ドイツ語 I A 〈野島 利彰〉	114
ドイツ語 I A 〈杉本 正俊〉	114
ドイツ語 I A 〈五十嵐 信子〉	115
ドイツ語 I B 〈杉本 正俊〉	115
ドイツ語 I B 〈岡本 時子〉	116
ドイツ語 I B 〈南 はるつ〉	116
ドイツ語 I C (会話) 〈清水 修〉	117
ドイツ語 II A 〈柴野 博子〉	117
ドイツ語 II A 〈飯塚 公夫〉	118
ドイツ語 II C (会話) 〈野島 利彰〉	118
ドイツ語 III A 〈藪 下 絃一〉	118

[ フランス語 ]

フランス語 I A 〈出口 雅俊〉	119
フランス語 I A 〈小玉 齊夫〉	119
フランス語 I A 〈遠山 博雄〉	120
フランス語 I B 〈桑田 禮彰〉	120
フランス語 I B 〈浜崎 設夫〉	121
フランス語 I B 〈長谷川 光明〉	121
フランス語 I C (会話) 〈佐藤 久美子〉	122
フランス語 II A 〈前田 祝一〉	122
フランス語 II A 〈遠山 博雄〉	123
フランス語 II C (会話) 〈大野 英士〉	123
フランス語 III A 〈大野 英士〉	124

[ 中国語 ]

中国語 I A・I B 〈布施直子・徳間佳信〉	126
中国語 I A・I B 〈福地桂子・大久保明男〉	127
中国語 I A・I B 〈工藤早恵・布施直子〉	127
中国語 I A・I B 〈釜屋 修・下出宣子〉	127
中国語 I A・I B 〈塩 旗 伸一郎〉	128
中国語 I A・I B 〈佐藤 普美子〉	128
中国語 I A・I B 〈本間由香利・曹 泰和〉	129
中国語 I C (会話) 〈上原 かおり〉	129
中国語 I C (会話) 〈工藤 早恵〉	129
中国語 II A 〈松本 丁俊〉	130
中国語 II A 〈福地 桂子〉	130
中国語 II A 〈李 雲〉	130
中国語 II A 〈弘兼 加奈子〉	131
中国語 II C (会話) 〈本間 由香利〉	131
中国語 II C (会話) 〈王 聡〉	131
中国語 III A 〈王 聡〉	132

〔スペイン語〕

スペイン語 I A 〈上野勝広〉	132
スペイン語 I A 〈ルイズティノコ, C.〉	133
スペイン語 I A 〈亀山晃一〉	133
スペイン語 I A 〈ナバロ, ホワンJ.〉	133
スペイン語 I B 〈佐藤麻里乃〉	134
スペイン語 I B 〈米田博美〉	134
スペイン語 I B 〈栗林ゆき絵〉	135
スペイン語 I B 〈荻野雅司〉	135
スペイン語 I C (会話) 〈ルイズティノコ, C.〉	135
スペイン語 II A 〈真下祐一〉	136
スペイン語 II A 〈上野勝広〉	136
スペイン語 II C (会話) 〈真下祐一〉	137
スペイン語 III A 〈真下祐一〉	137

〔ロシア語〕

ロシア語 I A 〈杉山秀子〉	139
ロシア語 I B 〈廣田英靖〉	139
ロシア語 I C (会話) 〈佐野朝子〉	140
ロシア語 II A 〈木村英明〉	140
ロシア語 II C (会話) 〈クロチコフ, Y.〉	140
ロシア語 III A 〈クロチコフ, Y.〉	141

《再履修クラス》

〔英語〕

英語 I A [再クラス] 〈松堂啓子〉	142
英語 I A [再クラス] 〈岩井洋美〉	142
英語 I A [再クラス] 〈朝川真紀〉	142
英語 I A [再クラス] 〈塙美智子〉	143
英語 I A [再クラス] 〈吉江正雄〉	143
英語 I A [再クラス] 〈西村祐子〉	144
英語 I A [再クラス] 〈外池一子〉	144
英語 I A [再クラス] 〈高柳文江〉	145
英語 I A [再クラス] 〈桧山晋〉	145
英語 I A [再クラス] 〈岩原康夫〉	145
英語 I A [再クラス] 〈丸小哲雄〉	146
英語 I B [再クラス] 〈熊沢和明〉	146
英語 I B [再クラス] 〈木村克彦〉	146
英語 I B [再クラス] 〈江田幸子〉	147
英語 I B [再クラス] 〈牧野正秀〉	147
英語 I B [再クラス] 〈石原孝哉〉	147
英語 I B [再クラス] 〈真砂久晃〉	148
英語 I B [再クラス] 〈高柳文江〉	148
英語 I B [再クラス] 〈熊沢和明〉	148
英語 I B [再クラス] 〈近藤真彫〉	149
英語 I B [再クラス] 〈飯沼好永〉	149
英語 I C (会話) [再クラス] 〈ササキ, M.〉	149
英語 I C (会話) [再クラス] 〈チャンドラー, J. E.〉	149



英語 I C (会話) [再クラス] <ラッセル, S. J.)	150
英語 I C (会話) [再クラス] <レイン, R. V.)	150
英語 I C (会話) [再クラス] <ロンゴ, T.)	150
英語 I C (会話) [再クラス] <ロビン, G. F.)	150
英語 II A [再クラス] <菅原典子)	150
英語 II A [再クラス] <太田美智子)	151
英語 II A [再クラス] <岡崎寿一郎)	151
英語 II A [再クラス] <佐藤江里子)	151
英語 II A [再クラス] <岡崎寿一郎)	152
英語 II A [再クラス] <塚本利男)	152
英語 II A [再クラス] <太田由紀子)	153
英語 II A [再クラス] <矢島直子)	153
英語 II A [再クラス] <相馬美明)	153
英語 II A [再クラス] <川島弘之)	154
英語 II A [再クラス] <町田尚子)	154
英語 II A [再クラス] <三浦眞理)	154
英語 II A [再クラス] <山岸二郎)	155
英語 II C (会話) [再クラス] <チャンドラー, J. E.)	155
英語 II C (会話) [再クラス] <ノーラン, D. J.)	155
英語 II C (会話) [再クラス] <ハーバード, W. D.)	156
英語 II C (会話) [再クラス] <ラッセル, S. J.)	156
英語 II C (会話) [再クラス] <ロビン, G. F.)	156
英語 II C (会話) [再クラス] <ロンゴ, T.)	156
英語 III A (営A) [再クラス] <小布施圭佐三)	156
英語 III A (営A) [再クラス] <佐藤孝一)	156
英語 III A (営A) [再クラス] <甲斐捷子)	156
英語 III A (営A) [再クラス] <広川治)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <山口晃)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <伊藤美代子)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <萩原輝)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <落合和昭)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <伊藤幸一)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <吉江正雄)	157
英語 III A (営A) [再クラス] <高橋寛)	158
英語 III A (営A) [再クラス] <井伊順彦)	158

[ドイツ語]

ドイツ語 I A [再クラス] <志真斗美恵)	159
ドイツ語 I A [再クラス] <井村行子)	159
ドイツ語 I A [再クラス] <薮下紘一)	159
ドイツ語 I A [再クラス] <本橋右京)	160
ドイツ語 I B [再クラス] <飯塚公夫)	160
ドイツ語 I B [再クラス] <堀内美江)	161
ドイツ語 I B [再クラス] <本橋右京)	161
ドイツ語 I B [再クラス] <井村行子)	162
ドイツ語 I C (会話) [再クラス] <清水修)	162
ドイツ語 II A [再クラス] <森公成)	162
ドイツ語 II A [再クラス] <本橋右京)	163
ドイツ語 II A [再クラス] <岡本時子)	163

ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕〈野島利彰〉	163
ドイツ語ⅢA〔再クラス〕〈藪下紘一〉	163

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕〈前田祝一〉	164
フランス語ⅠA〔再クラス〕〈荻原眷〉	164
フランス語ⅠA〔再クラス〕〈小玉齊夫〉	164
フランス語ⅠA〔再クラス〕〈菅原猛〉	165
フランス語ⅠA〔再クラス〕〈谷川かおる〉	165
フランス語ⅠB〔再クラス〕〈菅谷暁〉	165
フランス語ⅠB〔再クラス〕〈今関アーン〉	166
フランス語ⅠB〔再クラス〕〈伊藤なお〉	166
フランス語ⅠB〔再クラス〕〈長谷川光明〉	167
フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕〈佐藤久美子〉	167
フランス語ⅡA〔再クラス〕〈畑中千晶〉	167
フランス語ⅡA〔再クラス〕〈沼倉広子〉	168
フランス語ⅡA〔再クラス〕〈前田祝一〉	168
フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕〈大野英士〉	168
フランス語ⅢA〔再クラス〕〈大野英士〉	168

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈江林英基〉	169
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈秋元翼〉	169
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈塩旗伸一郎〉	170
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈佐藤普美子〉	170
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈根岸政子〉	170
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈張宏波〉	171
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈曹泰和〉	171
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈戸張嘉勝〉	172
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈三田村圭子〉	172
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈小川隆〉	172
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈徳間佳信〉	173
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈弘兼加奈子〉	173
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈蘭明〉	173
中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕〈上原かおり〉	173
中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕〈工藤早恵〉	174
中国語ⅡA〔再クラス〕〈平石淑子〉	174
中国語ⅡA〔再クラス〕〈岩崎皇〉	174
中国語ⅡA〔再クラス〕〈大久保明男〉	175
中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕〈本間由香利〉	175
中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕〈王聡〉	175
中国語ⅢA〔再クラス〕〈王聡〉	175

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈大岩功〉	176
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈大岩功〉	176
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈ナバロ, ホワンJ.〉	177
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈亀山晃一〉	177
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈大岩功〉	177

スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈荻野 恵〉	178
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈佐藤 麻里乃〉	178
スペイン語 I C (会話) [再クラス] 〈ルイズティノコ, C.〉	178
スペイン語 II A [再クラス] 〈福本 久美子〉	178
スペイン語 II A [再クラス] 〈大岩 功〉	179
スペイン語 II A [再クラス] 〈亀山 晃一〉	179
スペイン語 II C (会話) [再クラス] 〈真下 祐一〉	179
スペイン語 III A [再クラス] 〈真下 祐一〉	179

[ ロシア語 ]

ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈廣田 英靖〉	180
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈佐野 朝子〉	180
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈木村 英明〉	181
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈安徳 ニーナ〉	181
ロシア語 I C (会話) [再クラス] 〈佐野 朝子〉	181
ロシア語 II A [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	182
ロシア語 II A [再クラス] 〈大須賀 史和〉	182
ロシア語 II A [再クラス] 〈安徳 ニーナ〉	182
ロシア語 II C (会話) [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	182
ロシア語 III A [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	183

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	184
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	184
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	184
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	185
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	185
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	186
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	186
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	187
マルチ・メデア	〈落 合 和 昭〉	187
マルチ・メデア	〈大 庭 直 樹〉	188
マルチ・メデア	〈西 村 祐 子〉	188
英 会 話 I	〈ウェルズ, J. K.〉	189
英 会 話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	190
英 会 話 I	〈ピアス, D. M.〉	191
英 会 話 I	〈ラッセル, S. J.〉	192
英 会 話 I	〈ラージ, R. 〉	193
英 会 話 I	〈レーン, C. M.〉	194
英 会 話 II	〈ラッセル, S. J.〉	195
英 会 話 II	〈レーン, C. M.〉	196
英 会 話 II - 夏季集中 -	〈ピアス, D. M.〉	197
英 会 話 III	〈ウェルズ, J. K.〉	198
英 会 話 III	〈ラージ, R. 〉	199
英 会 話 III - 夏季集中 -	〈レーン, C. M.〉	200
英 語 L L I	〈太 田 雅 子〉	201
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	201
英 語 L L I	〈加 藤 佐 和 子〉	202
英 語 L L I	〈久 保 ひ さ 子〉	202
英 語 L L I	〈西 村 祐 子〉	203
英 語 L L I	〈埴 美 智 子〉	203
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	204
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	204
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	205
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	206
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	207
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	207
時 事 ドイツ語	〈野 島 利 彰〉	208
上 級 ドイツ語	〈柴 野 博 子〉	208
ドイツ語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	209
ドイツ語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	209
ドイツ語 I A (選)	〈五十嵐 信 子〉	210
ドイツ語 I B (選)	〈薮 下 紘 一〉	210
ドイツ語 II (選)	〈薮 下 紘 一〉	210
時 事 フランス語	〈桑 田 禮 彰〉	211
上 級 フランス語	〈小 玉 齊 夫〉	211
フランス語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	212
フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	212
フランス語 I A (選)	〈出 口 雅 敏〉	212

外国語

フランス語 I A (選)	〈遠山博雄〉	213
フランス語 I B (選)	〈菅原猛〉	213
フランス語 II (選)	〈桑田禮彰〉	213
時事中国語	〈塩旗伸一郎〉	214
上級中国語	〈釜屋修〉	214
中国語 L L I	〈岩崎皇〉	215
中国語 L L II	〈小川隆〉	215
中国語 I A (選)	〈釜屋修〉	215
中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	216
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	216
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	216
時事スペイン語	〈真下祐一〉	217
上級スペイン語	〈上野勝広〉	217
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	217
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	218
スペイン語 I A (選)	〈亀山晃一〉	218
スペイン語 I B (選)	〈ナバロ, ホワン J.〉	218
スペイン語 II (選)	〈荻野雅司〉	219
時事ロシア語	〈木村英明〉	219
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	219
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	220
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	220
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	221
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	221
ロシア語 II (選)	〈クロチコフ, Y.〉	222
朝鮮語 I A・I B (選)	〈白賢美〉	222
朝鮮語 II (選)	〈白賢美〉	223

# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いけ がみ か え こ 池 上 賀 英 子	経営 A 1 年	2

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点 3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法 発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。

教科書 プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	み よし や す よし 三 芳 康 義	経営 A 1 年	2

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト (4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 島本たい子・宮野智靖・Jodi Flowers『TOEIC®テスト基礎文法トレーニング』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎 浩太郎 <small>かわ さき こうたろう</small>	経営A1年	2

- 講義のねらい** 入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール** E-mailなどで使われる比較的口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それによってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEICのリスニングなども行う予定です。
- 履修上の留意点** 毎時間辞書を必ず持ってくること。
- 成績評価の方法** 出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
- 教科書** 『Subject: E-Mail――大学生のEメール英作文』黒川裕一著 南雲堂 1,900円(税別) ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪 久恵 <small>み わ ひさえ</small>	経営A1年	2

- 講義のねらい** 海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 旅行中に出会う様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に、練習問題形式で語彙・英語表現の習得を主眼とし、合わせて文化的・民族的背景等をも学習する。
- 履修上の留意点** 予習をして授業に臨んで下さい。辞書は、中辞典程度のもの必携。
- 成績評価の方法** 単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
- 教科書** Joseph S.Cravotta 他著 *Trouble-Free Travel* (都文堂) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎 野里子 <small>みず さきのりこ</small>	経営A1年	2

- 講義のねらい** 英語の歌を聴きながら、リスニングと英語のリズムを聞き取る練習をする。英語に慣れること、英語を楽しく学ぶことも目的である。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストを使用し、一授業に一課を予定している。なお、授業の進行具合によって、副読本を使用する。
- 履修上の留意点** 遅刻、欠席には出来るだけ留意して欲しい。ヒアリングの授業であるので、遅れずに来て欲しい。
- 成績評価の方法** 平常点と試験の点を総合し、評価する。
- 教科書** Hiromi Nema『フォークソングでリズムからリスニングへ』(英宝社) 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	たなか たもつ 田 中 保	経営A1年	2

講義のねらい

英語圏世界で、日常生活を送る場合に最低限必要と思われる英会話運用能力を培う。日常英会話表現やトラベル英会話も取り入れて、英語運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行なう。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・小テスト・出席状況・プレゼンテーション・レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

最初の授業のときに教室で指示します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	よこもり まさひこ 横 森 正 彦	経営A1年	2

講義のねらい

日常的なテーマを扱い、異文化間コミュニケーションの能力を身につける。特に経済・経営面で世界史上重要なのが日米です。日米文化の一面を知ることがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

日米文化の差異についての会話。その中の Grammar Check。センテンス・レベルの作文養成（日米文化の学習）。パラグラフ・レベルへの発展。

履修上の留意点

授業は予習してくること。演習中心におこなう。

成績評価の方法

日常の発表、TOEIC等のプリント配布（小テスト）。前後期テストの結果を入れて総合的評価をする。

教科書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	かわ さき えみ か 川 崎 笑 佳	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

『パラグラフ・ライティング入門（Thought into Writing）』（成美堂）1,700円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [基礎英語特別クラス]	まきの てるよし 牧 野 輝 良	経営 A 1 年	2

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間テキストを1課づつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書持参し、辞書活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教 科 書

『大学英文法 A to Z』(金星堂) 1,300円 ISBN4-7647-3697-7

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	さわ だ ま ゆみ 澤 田 真 弓	経営 A 1 年	2

### 講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業では毎回担当者を決めて音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうことになります。

### 履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

### 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

### 教 科 書

Peter Duppenhaler 『Japanese Kaleidoscope 今どきの日本シンδροーム』(大阪教育図書) 1,500円 ISBN4-271-11303-4

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	た なか たもつ 田 中 保	経営 A 1 年	2

### 講義のねらい

入学時の英語力を利用して、より高度な英文の構文を理解し、また、文章の段落・大意を把握する力を培う。さらには、総合的な英語運用能力を身につけるように学習します。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。

### 履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

### 成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

### 教 科 書

『素顔のアメリカ』(成美堂) 1,680円 ISBN4-7919-4009-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	亀田 三重子	経営A1年	2

講義のねらい

テキストの英文の内容をしっかりと把握させ、更に吟味出来るようにする。関連した実用英語の訓練も行い、英語に親しみを持たせたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、実用的な英文を用いた英会話や英作文をし、英文をより定着させる。それによってテキストの内容をより深く理解させる。時々、関連した記事、最近ニュースや新聞も用いる。

履修上の留意点

予習をしてくる事。辞書必携。私語厳禁。

成績評価の方法

①授業への参加度。授業態度。②ミニテスト。宿題。授業時の発表。③前期、後期の試験結果。以上を総合的に評価する。

教科書

テキストは初回授業で知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	矢島 直子	経営A1年	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を読む力をつける勉強をします。テープを使って聞き取りをし、英語の文の構成を読み取る勉強もします。

履修上の留意点

授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分るようにしてから、授業に出席すること。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	狩野 晃一	経営A1年	2

講義のねらい

音読・精読等を通して英語の基礎力の定着をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを正確に読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点

予習をすること。常に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期・後期の試験の結果に加えて評価します。3分の2以上の出席が求められます。

教科書

Gary B. Rodgers、米田絃一、森茂 *European Vacation* (松柏社) 1,680円  
ISBN4-88198-565-5

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	澤 田 真 弓 <small>さわ だ まゆみ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では毎回担当者を決めて音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうことになります。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教 科 書

Peter Duppenhaler『Japanese Kaleidoscope 今どきの日本シンドローム』(大阪教育図書) 1,500円 ISBN4-271-11303-4

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	田 中 保 <small>たなか たもつ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の文法力を利用して、基礎から徐々に高度な構文の理解と文章の段落・大意を把握する力を培う。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、発表形式によって行います。

履修上の留意点

必ずテキスト・辞書（英和辞典）を持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

出席・発表を重視し、前期後期の試験等を総合的に検討して評価します。

教 科 書

『基本英語表現法』（成美堂）1,680円 ISBN4-7919-4907-2

## 英語 I C (会話)

### 〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ササキ, M.	経営A1年	2

#### 講義のねらい

英語による意志伝達。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

Students will research, present, and discuss local and world issues. An emphasis will be placed on pronunciation and intonation.

#### 履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）をすると成績評価は「不可」になる。毎日、ニュースを見ること。

#### 成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

#### 教科書

採用なし。プリント等使用。和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	チャンドラー, J. E.	経営A1年	2

#### 講義のねらい

This class is designed to give students. The basic skills needed for conversation. Students are given practice in everyday situational routines as well as some topic based material. Class practice is done in pairwork as well as some small group practice. In addition to the text students are required to have an english dictionary.

#### 成績評価の方法

Students are evaluated on their weekly class performance short tests, and midterm and final exams.

#### 教科書

"Fifty fifty" (macmillian press).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会話)	ラッセル, S. J.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

English Conversation I C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

*Fifty - Fifty Book 1* ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会話)	レイン, R. V.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

This course will help students to : 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation - giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one - minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1 / 3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* (Longman) 2003  
ISBN0 - 13 - 183937 - 3 or ISBN0 - 13 - 026888 - 7

参考書等

Approx. 35copies of textbook are needed for this class.

その他

I will need both TV and VCR for this class.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロンゴ, T.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロビン, G. F.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・  
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

(1) Warren Wilson, Roger Bernaro FIFTY-FIFTY: Student book 1 (Longmans)  
ISBN0-13-920000-2

# 英 語 II A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	江 田 幸 子 <small>えだ さちこ</small>	経営A2年	2

### 講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を实践します。

### 成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

### 教 科 書

*Polish Up Your English* (SEIBIDO) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	佐 藤 勝 <small>さとう まさる</small>	経営A2年	2

### 講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。

### 講義の内容・授業スケジュール

教科書の進度は原則1回で1課とします。

### 履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

### 成績評価の方法

平常点 (出席状況・授業態度等) + レポート + 定期試験。

### 教 科 書

Murata, Otani "English Composition Workbook" (Macmillan Languagehouse)  
1,800円 + 税 ISBN4-89585-460-4

### 参 考 書 等

推薦辞書『ジーニアス英和辞典』『ジーニアス和英辞典』(大修館書店)、『プログレッシブ英和中辞典』『プログレッシブ和英中辞典』(小学館)



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	高柳文江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>	経営A2年	2

- 講義のねらい 自分の思っている事を英語でいかに適切に表すのか、Writing、及び、Speakingの両面から表現できる事をめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール 教科書の中の演習問題、会話を中心に皆さんが度々出くわす様々な状況でどのように英語で表現していくかを学びます。Writing能力だけでなくSpeaking能力も重視され、毎時間Speakingによる発表が課されます。
- 履修上の留意点 授業の内容上、予習は必ず必要です。2/3以上の出席が課されます。座席指定。
- 成績評価の方法 試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。
- 教科書 『Lively Writing: English Composition Through Dialogues』（南雲堂）1,800円  
ISBN4-523-17388-5 C0082
- 参考書等 テープ、ビデオ教材使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川崎笑佳 <small>かわ さき えみ か</small>	経営A2年	2

- 講義のねらい 1年次のwriting能力を基礎として、更に高度な意思伝達能力を身につける。単文による英作文からステップアップし、効果的な表現を伴った自由作文を書けるようになることを最終目的とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。
- 履修上の留意点 毎回授業中に英作文を書いてもらうので、和英辞書は必須である。
- 成績評価の方法 3分の2以上の出席及び毎回の提出物、発表、授業態度をもとに総合的に評価する。
- 教科書 *Writing Plus!*（金星堂）1,950円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	西原克政 <small>にし ほん かつ まさ</small>	経営A2年	2

- 講義のねらい アメリカの社会が抱える問題に焦点を絞り、アメリカ英語の文語体と口語体の表現の違いを考察していく。
- 講義の内容・授業スケジュール テキストを丁寧に読み、受講者の発表を主体にして、それに意見と解説を加えながら、進めていく。
- 履修上の留意点 特に予習に全力を注いで、臨んで下さい。
- 成績評価の方法 語学の授業なので、出席を重視する。年間の授業回数の3分の2以上の出席が最低条件。毎回の授業での発表がすべてであるので、それを成績評価する。通常の前期・後期試験は実施しないので、要注意のこと。
- 教科書 ジョーン・マコーネル『今日のアメリカとそのゆくえ』（金星堂）1,750円  
ISBN4-7647-3704-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	て じま けい こ 手 島 敬 子	経営 A 2 年	2

講義のねらい

本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。

履修上の留意点

随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。  
和英辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的に行います。

教 科 書

開講時指示

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	み ぬま とも ゆき 三 幣 友 行	経営 A 2 年	2

講義のねらい

英語 I A で学んだ英語を基礎として、英語による意志伝達能力のさらなる向上を目指す。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の 2 / 3 に満たない場合は単位を認めない。

教 科 書

未定。

そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

## 英語ⅡC（会話）

### 〈英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点〉

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の日安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア500点、TOEIC®のスコア700点程度。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	チャンドラー, J. E.	経営A2年	2

#### 講義のねらい

The emphasis is placed on more topic based English to help give student a more real world experience of English. Students will also participate in small group talks. Various strategies will be used to help build student vocabulary.

#### 成績評価の方法

Evaluation will be based on weekly class performance, short tests, a midterm and a final exam.

#### 教科書

*Inside English* Macmillan

#### 参考書等

Jones and sue key

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ノーラン, D. J.	経営A2年	2

#### 講義の内容・授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意志表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書一章の予定。

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は、自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真（2×3cm、スナップ可）を提出すること。

#### 成績評価の方法

出席（評価の30%、但し、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない）、授業参加（30%）、期末試験（面接方式、40%）。

#### 教科書

John Soars/Liz Soars "American Headway 2 Student Book" (Oxford)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ハバード, W. D.	経営A2年	2

講義のねらい

Students are expected to increase their English listening ability through interaction with the teacher and to improve their conversation skills to express topics of their own interest.

講義の内容・授業スケジュール

- ・ Personalized tasks to help students develop real-life communicative skills
- ・ built-in task-planning time to improve fluency and accuracy
- ・ exercises that consistently highlight and recycle lexis to help students build a bigger active vocabulary
- ・ imaginative activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- ・ a discovery approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use

履修上の留意点

Students taking this course are expected to have passed conversation I in the previous year

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results

教科書

Peter Maggs, Sue Kay, Vaughn Jones and Philip Kerr "Inside English" Intermediate (Macmillan Language House)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ラッセル, S. J.	経営A2年	2

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

"Within Your Reach: Keys to Conversation" (NAN'UN-DO)  
ISBN4-523-17444-X C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ロビン, G. F.	経営A2年	2

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills acquired from the first year. A text book will be used but will be heavily supplemented with additional materials, according to the students abilities. Some reading materials will be used to enhance vocabulary for the purpose of conversation as in the freshman course, pair and group activities will be the focus of the course.

講義の内容・授業スケジュール

Pair and group speaking activities will be emphasized, supplemented with additional reading, listening and writing.

履修上の留意点

A text will be used.  
The necessary prerequisite is English I C.

成績評価の方法

There will be a midterm and final oral test. Grading will depend upon classroom participation, homework assignments and performance on the oral exams.

教科書

Vaughan Jones / Sue Kay *Inside ENGLISH* ISBN4-89585-489-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ロンゴ, T.	経営A2年	2

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.  
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

# 英 語 Ⅲ A

## 〈英語Ⅲ Aの授業内容と履修上の留意点〉

Ⅱ Aを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	小 <sup>お</sup> 布 <sup>ふ</sup> 施 <sup>せ</sup> 圭 <sup>けい</sup> 佐 <sup>さ</sup> 三 <sup>ぞう</sup>	経営A 3年	2

外国語

### 講義のねらい

この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

### 講義の内容・授業スケジュール

《前期》  
Chapter 1 (Open All Hours) ~Chapter11 (What Is Psychology?)  
《後期》  
Chapter12 (The Appeal of Shakespeare)  
~Chapter22 (Japanese Search for Identity in Names)

### 履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

### 成績評価の方法

出席点／授業の貢献度／平常点／レポート／定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

### 教科書

土屋武久／花光理香／B.Benfield: Read UP—22Steps to Strategic Reading (成美堂)  
1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	佐 <sup>さ</sup> 藤 <sup>とう</sup> 孝 <sup>こう</sup> 一 <sup>いち</sup>	経営A 3年	2

### 講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

### 成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

### 教科書

授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	甲斐捷子	経営A3年	2

講義のねらい

テキストはイギリス国内向けニュース番組”BBC World”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることが授業の目的です。一単元わずか3分で報道されるニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、かつ内容について、多少のことは話せるように学びます。内容によっては、ABC放送との比較も行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業はまず、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握します。この後、語句の解説を英語で行いながら、報道内容を読みます。内容がしっかり把握できた段階で、語句から文章へと、徐々に内容を英語で話す練習をします。この後、テキストについている簡単な復習問題を行い、小テストを持って、一つの単元を終了します。前期、後期とも授業の進め方は同じですが、後期は力がついてきますので、クラスの弱点が補強できるよう、多少の変更を行うかもしれません。

履修上の留意点

付属のCDを繰り返し聞いて、リスニング力をたかめる自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

BBC World : *Understanding the News in English 2*  
Sakae Onoda/Lucy Cooker 著 (金星堂) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	ひろかわおさむ 広川治	経営A3年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、リスニング・読解を交え、文法・会話表現等を修得することを目的とする。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定 (必要に応じて購入を指示)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	やまぐちあきら 山口晃	経営A3年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、今年度は環境の問題を考え、表現する方法を身に付ける。ⅢAである事を考え、とりわけこうした問題での表現方法に重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回英文のプリントを配布する。それを使って具体的な表現を徹底してマスターする。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。  
遅刻は、他の学生の学習を妨げるので、遅れないように注意する事。

成績評価の方法

前期、後期それぞれにレポート提出とテスト。それに平常点を加えて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	伊 藤 美代子	経営A3年	2

講義のねらい

I A、II A からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての英語による質疑応答、さらにヒヤリングの訓練も行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点と提出物により計算する。

教科書

Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) 1,600円(国内編)、1,500円(国際編)

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	萩原 輝	経営A3年	2

講義のねらい

英字新聞を読むことで、英語の運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、新しい新聞記事を1つ読む。

履修上の留意点

英和辞典(大学生としてふさわしいレベルのもの)を必ず持参することを条件とする。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

岩政伸治著『Different Voices (日本と世界の情勢を知る12の記事リーディングとリスニング)』(金星堂)



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	おちろ あいかず あき 落合和昭	経営A3年	2

講義のねらい

このクラスは様々なオフィスで話される典型的な会話を、ヒヤリングを通して学び、さらに、経済・貿易・商業に関する読み物を読む。オフィス英語やビジネス英語は読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、オフィスやビジネスに関する会話表現と経済・貿易・商業に関するリーディングからなる。講義は、通常、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、リーディングによって、正確な意味をとる。第三段階は、リーディングの内容に関する練習問題等をする。第四段階は、発音練習である（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当たるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『やさしいオフィス英語』（成美堂）1,800円 ISBN4-7919-4711-8C2082  
 『初めてのビジネス英語—大学からビジネス・ワールドへ』（金星堂）1,800円  
 ISBN4-7647-3655-1 C1082  
 プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	いとう こういち 伊藤幸一	経営A3年	2

講義の内容・授業スケジュール

日本経済をリードする12社を紹介。就職への意識を高める好著、とテキストは記す。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。そして、復習の為に宿題レポートを3回（5月末、夏休み、大学祭後）課し、最終授業時に「まとめ」のテストの予定。

成績評価の方法

以上、3点、予習・復習・「まとめ」の成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『Leading Companies in the21st Century』（松柏社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	よし え まさ お 吉 江 正 雄	経営 A 3 年	2

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

H.G.Wells の “A Short History of the World” というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教 科 書

H.G.Wells 著『A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	たか はし ひろし 高 橋 寛	経営 A 3 年	2

講義のねらい

さまざまな形式のヒアリング練習を通して簡単な日常英会話が聞き取れる力を身につける。あわせて日常英会話で用いられる基本的な英語表現を覚える。

講義の内容・授業スケジュール

テキストのヒアリング練習問題を順番にやり進めていきます。1つの UNIT を 2～3 週で終わらせる予定です。

履修上の留意点

テキストは必ず購入し毎回授業に持って来ること。

成績評価の方法

出席率と定期試験（年 2 回）の得点を基に成績を出します。ただし欠席が全授業数の 3 分の 1 を超えた場合、その時点で不合格になるので注意して下さい。

教 科 書

Dale Fuller & Clyde W. Grimm “New Airwaves” (Macmillan Languagehouse)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	い い のぶ ひこ 井 伊 順 彦	経営 A 3 年	2

講義のねらい

現代社会の様々な問題に関する文章を読んで内容把握力を伸ばすとともに、英文を「聴く」力および「書く」力をきたえる。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、かなりの時間はテープを聴いての書き取りに費やされる。ほかに英文法の確認をするために英作文もおこない、ときにビデオを用いて現代世界の動きなどを視覚面からも学ぶ。

履修上の留意点

毎回、全体の半数近い諸君が指名され、なんらかの形で答えることになる。積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

数回の小テスト、相当数の質疑応答、出席数を総合して評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

W・ローレンス・ダットンほか『国際意識の英語』（南雲堂）1,800円＋税

## [ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	経営A1年	2

### 講義のねらい

ドイツ語の文法を学びます。ヨーロッパの言語はたがいに親戚なので、よく似ています。従ってドイツ語を知るとは他のヨーロッパ言語を理解する助けにもなります。英語とは一味違った世界ですが、ドイツ語を学ぶことはさらにヨーロッパ大陸の文化への入り口になります。

### 講義の内容・授業スケジュール

練習問題を自分で解くことが理解を早めるので、授業では文法の説明よりも、皆さんに練習問題を答えてもらうことに時間を使います。

### 履修上の留意点

練習問題がたくさんありますが、半数はCDに答が吹き込まれています。必ず予習して授業に出席してください。

### 成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

### 教科書

酒井、佐藤、清水著『新ドイツ語の泉』（郁文堂）2,625円

### 参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年度でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書を購入してください。

### その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	杉本正俊 <small>すぎもとまさとし</small>	経営A1年	2

### 講義のねらい

ドイツ文法のひとつおりを教える。ドイツ語をもっとくわしく学んだり、ドイツ語を利用したりするには非常に大切な知識の最小限度であるので、しっかり身に付けて頂きたい。

### 履修上の留意点

授業中に学ぶ事は必ずその授業時間内に理解し、復習をして確り身に付ける事が重要。

### 成績評価の方法

前後2回のテストの他に、授業中の小テストがあり、必ず受ける事。授業中先生に当てられたら必ず答える事（その際、まちがった答えをしてもマイナスの評価にはなりません。授業に参加する事が大切なのです）。

### 教科書

森澤万里子・加藤健司『ドイツ文法の基本』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	いがらし のぶ こ子 五十嵐 信 子	経営A1年	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかり理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	経営A1年	2

講義のねらい

発音から、短文読解まで、文法知識を身に付けながら、初めての外国語であるドイツ語に慣れていきます。

履修上の留意点

授業中学ぶ事柄は必ずその授業時間内にしっかり理解。

成績評価の方法

前後2回のテスト、授業中の小テストの他、授業中当てられた質問には必ず答える事が重要です（その際、間違った答えをしてもマイナスには評価されません）。積極的に授業に参加する事が大切です。

教科書

小塩節・小鮎千代『OK ドイツ語文法読本』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	岡本 ときこ <small>おかもと</small>	経営A1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ユネスコ遺産で学ぶドイツ語』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	みなみ 南 はるつ <small>みなみ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

この授業ではドイツ文化に関する簡単な文章を読むことによって、読解力を身につけると同時にドイツの文化についての知識も習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1課から6課までの文章を読みます。そのための文法事項は次のとおりです。  
アルファベット・発音、動詞の変化、名詞の性および複数、冠詞の格変化、代名詞、前置詞、形容詞の格変化。  
後期 7課から12課までの文章を読みます。ここで学習する文法事項は動詞の3基本形、過去形、現在完了形、分離・非分離動詞、関係代名詞、受動態、接続法などです。

成績評価の方法

出席状況・中間試験・定期試験を総合して評価します。

教科書

小塩節『ご存知ですかドイツ！ [情報からドイツへ]』（朝日出版社）本体2,200円＋税 ISBN4-255-25261-0 C1084

参考書等

随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I C (会話)	しみず おさむ 清水 修	経営 A 1 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べることができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は DVD 付きの教科書を用いて行います。(DVD の再生装置は必須ではありません。) 映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に参加して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！ [DVD 付き改訂版]』（朝日出版社）  
2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A	しば の ひろ こ 柴野 博子	経営 A 2 年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫	経営A2年	2

講義のねらい	一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそのスケジュール 前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習 （コピー練習問題中心） 前期後半：練習問題と平行して、読解中心のテキストを読む 後期：テキストの読解
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
成績評価の方法	前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）
教科書	Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」 同学社 1500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡC（会話）	野島利彰	経営A2年	2

講義のねらい	ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそれを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。
講義の内容・授業スケジュール	口頭練習が授業の中心です。
履修上の留意点	ドイツ語作文の教科書です。答は全部CDに吹き込まれています。自宅でそれをよく聞いてください。
成績評価の方法	随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。
教科書	池内著『ドイツ語表現への誘い』 郁文堂 2,625円
その他	語学はまず量の問題です。テレビやラジオのドイツ語講座をもぜひ活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅢA	藪下紘一	経営A3年	2

講義のねらい	2年生までに学んだ学力を基礎としてさらに専門分野や高いレベルのドイツ語の文章が読めるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回自分達で予習してもらって教室で発表してもらう形式の講義をしたい。演習、と言ってもいいだろう。
履修上の留意点	家で辞書を引いて来ること。
成績評価の方法	成績評価だが、怠ける者がいない場合は前期・後期の試験を実施する。そうでない場合は平常点で評価する。
教科書	3年目の力をつける為に、4月になってから教科書や資料を決める。

## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	で ぐち まさ とし 出 口 雅 敏	経営 A 1 年	2

### 講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは、読む、書く、聞く、話すための基礎力が総合的に身につくように構成されています。授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

### 履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

### 成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

### 教科書

小倉孝誠ほか『エメ・ヴ・ラ・フランス?』（第三書房）2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	経営 A 1 年	2

### 講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多く、聞き取りの場面でも有利になるはず。つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

### 履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

### 成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

### 教科書

照木 等 著 『はじめのフランス語・はじめのバリ』（第三書房）2,200円  
ISBN4-8086-2153-3 C1085

### 参考書等

辞書等については、最初の授業時に指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	と お や ま ひ ろ ぶ ね 遠山博雄	経営A1年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行いません。

教科書

佐藤久美子他著『プレ？パルテ！』（白水社）1,995円 ISBN4-560-06004-5

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	く わ た の り あ き 桑田禮彰	経営A1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	はま さき せつ お 夫 浜 崎 設 夫	経営 A 1 年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	は せ が わ み つ あ き 長谷川 光 明	経営 A 1 年	2

講義のねらい

ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

『藤田裕二、彼女は食いしん坊！1』（朝日出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠC(会話)	佐藤久美子	経営A1年	2

講義のねらい	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。
履修上の留意点	出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。
成績評価の方法	前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。
教科書	内村、七尾ほか著『フランス語でサバイバル!』(白水社)定価1,800円 ISBN4-560-06082-7
参考書等	文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。
その他	音声教材は、授業時以外にも積極的に聞くように心がけてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	前田祝一	経営A2年	2

講義のねらい	レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。
履修上の留意点	初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。
成績評価の方法	基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。
教科書	『セレクション・時事フランス語Ⅱ』(朝日出版社)1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01336-3

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ C (会 話)	お お の ひ で し 大 野 英 士	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の各章は Dialogues (会話)、文法、応用練習、内容理解で構成されています。一応、教科書に沿って進みながら、応答練習、時には自由会話も行ないます。

履修上の留意点

語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法

出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。

教 科 書

『エスカルゴ2』（朝日出版社）2,500円

参 考 書 等

授業開始時に教室で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅲ A	おお の ひで し 大 野 英 士	経 営 A 3 年	2

外  
国  
語

講義のねらい

ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを読むことで、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。

講義の内容・  
授業スケジュール

一応、文法の復習も兼ねて、下記の教科書を指定しておきます。授業では発音練習をした後、参加者に短いパッセージを訳してもらい、関連した問題演習等を行います。その上で、参加者の希望やレベルに応じ、新聞や雑誌の記事、フィクション・シャンソンなど、ジャンルにとらわれず広くさまざまなスタイルの文章を読みたいと思います。

履修上の留意点

予習の段階で、辞書や文法書を頼りにどのような意味になるか、自分なりの訳を考えてきて下さい。CDもついていますので、発音の確認もできます。

成績評価の方法

出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。

教 科 書

饗庭千代子、平井千香子、Deminique Demont 著『変わるフランス CD付き』（早美出版社）1,500円

参 考 書 等

初回到教室で紹介します。

# 中国語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅠC（会話）

「聴く、話す」といった会話中心に構成される。ⅠA-ⅠBで学ぶ基礎的な文法と語彙を、口と耳の反復練習を通じて音声的に定着させ、3年次まで必修となる1カ国語集中学習の基礎を築くことを目標とする。

## 中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡC

音声による言語運用能力の更なるブラッシュアップを目指す。基礎会話から応用会話へという方向性は言うまでもないが、新たな文法上の知識は特に必要とせず、むしろ1年次に習った語彙や文法に基づいて自分の言いたいことを形にしていくための反復練習が教室での作業の主要部分となる。

## 中国語ⅢA

これまでの学習の蓄積の上に、主として中国語の読み書き能力の向上を図る。授業数は週1回に減るので、教材は音声よりも長文読解や作文が中心となる。時には読み方が判らぬ字があっても停まらずに読み進めて大意をつかんだり、少しまとまった思考内容や状況説明を口頭でなく文章で相手に伝えたりするシミュレーションを通じて、中国語の処理における一定のスピードを体感し、部分的に中国語を介した情報収集や商務に可能性を拓くことを目指す。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまふなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

外国語

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年三省堂）4,000円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年小学館）3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年岩波書店）5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	布施直子	経営A1年	2
中国語 I B	徳間佳信		

講義のねらい

中国語をはじめて学ぶ学生が、中国語の発音のしかたと表記（ピンイン）、そして文法を学びつつ、中国語日常会話を音読し、聞き、書き、言えるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が一冊の教科書を用い、一人は文法的な説明を、もう一人は学習内容についてのドリルを担当する。

履修上の留意点

学生諸君には、教科書を必ず用意すること、できるだけ欠席をしないこと、真面目に授業に取りこんでくれることを望む。

成績評価の方法

適宜行なうテスト、出席状況によって成績評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	経営A1年	2
中国語 I B	大久保明男		

講義のねらい

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

福地 (A)、大久保 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為 (私語、携帯電話の受信等) は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の中間考査・期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	経営A1年	2
中国語 I B	布施直子		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』(東方書店) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	経営A1年	2
中国語 I B	下出宣子		

講義のねらい

入門段階で最もたいせつな発音指導、発音記号 (ピンイン) の習得、基本文法の概略の学習を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教師が一冊のテキストを用いて授業を行う。下出が文法説明を、釜屋がワードバンクと総合練習を分担する。発音練習、各課本文は二人で反復する。

履修上の留意点

大きい声を出して積極的に学ぶこと。出席は原則として皆出席のこと。

成績評価の方法

小テスト、平常点、出席状況、前・後期期末テストにより総合的に評価する。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』(金星堂) 2,600円

参考書等

開講後紹介。



外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	塩旗 伸一郎	経営 A 1 年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎		

講義のねらい

中国語の音声の魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IA と IB が連動するので、必ずセットで履修すること。

なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験 + 小テスト + 平常点 - 缺席点。IA と IB は連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績を IA に、後期の成績を IB に反映させる。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

前期、火曜と土曜を合わせて缺席 3 回を超えると、1 回につき 10 点ずつ減点する。遅刻は 2 回で缺席 1 回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤 普美子	経営 A 1 年	2
中国語 I B	佐藤 普美子		

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5 月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	本間由香利	経営A1年	2
中国語 I B	曹泰和		

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

牧田英二『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	上原 かつり	経営A1年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎である音節の聞き取りと発音に力を入れ、基本的な表現方法を学んで、中国語会話能力の土台作りをします。

講義の内容・授業スケジュール

前期のはじめに中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の練習から始め、その後、教科書にしたがって基本的な語彙と文法事項を含んだ例文や会話文を口頭で繰り返し練習していきます。

履修上の留意点

大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、小テスト（聞き取り、暗唱等）、定期試験によって総合評価します。

教科書

戸沼市子他共著『縁日はとてもにぎやか〈スリム版〉』（都文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	工藤 早恵	経営A1年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法事項を含んだ文の音声練習等を行い、会話能力の土台作りをする。

講義の内容・授業スケジュール

最初の4～5回は発音の基礎について指導する。6回目以降は、簡単な文を基本にして発音、聞き取り、作文練習等を行い、毎回の授業の最後に暗誦テストを行う。

履修上の留意点

毎回の授業への取り組み方や音声的な表現力の進歩、暗誦テストの成績が最終的な評価を決めるポイントになるので、欠席せず毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、暗誦テスト、定期試験

参考書等

相原茂等『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（好文出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつ ちと あつ とし 松本 丁俊	経営A2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・  
授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さら  
に出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閔『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふく ち けい こ 福地 桂子	経営A2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。  
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。  
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。  
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。  
文法事項を体系的に把握する。  
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進度で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、  
出席状況を総合して評価する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』（金星堂）1,943円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	り うん 李 雲	経営A2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法  
の勉強を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	ひろかね かなこ 弘兼 加奈子	経営A2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国璐『中国人のくらし』（朝日出版社）1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡC（会話）	ほんま ゆかり 本間 由香利	経営A2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出して学習し、会話文を読み解き練習する。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を必ずやる。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡC（会話）	おう そう 王 聡	経営A2年	2

講義のねらい

発音の復習や実用会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次に学んでいく。会話力を高めることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コミュニケーションの中で実際に使われている基本表現と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点30%、定期試験70%。

教科書

楊光俊他『リナの中国ステイ』（金星堂）2,310円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅲ A	王 聡	経営A 2年	2

講義のねらい

実用会話や文法事項の学習と並行しながら、中国の文化も紹介する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 旅行会話をテーマごとに学んでいく。
2. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点30%、定期試験70%。

教 科 書

陳淑梅他『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

〔スペイン語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A	上 野 勝 広	経営A 1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。  
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70%）に平常点（30%）を合わせて評価します。

教 科 書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態を評価します。

教科書

西川著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	<small>かめ やま こう いち</small> 亀山晃一	経営A1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ナバロ, ホワン J.	経営A1年	2

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』（印刷中）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	佐藤 麻里乃	経営A1年	2

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。
成績評価の方法	主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点の対象となることがある。
教科書	大岩勉『10課で学ぶスペイン語』同学社
参考書等	小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	米田 博美	経営A1年	2

講義のねらい	「スペイン語は神様と話す言葉である」とよくいわれます。アメリカ合衆国では、ヒスパニック（スペイン語系アメリカ人）人口が約4000万弱と勢力を拡大しつつあり、昨秋のアメリカ大統領選挙では、ブッシュ、ケリー両候補とも、スペイン語で演説をしたほどです。4億を越え、世界20カ国で話される言葉は背景にあるスペインやラテンアメリカ（ラ米）の文化と共に魅力に富んでいます。将来、諸君は仕事や観光で、スペインやラ米などスペイン語圏諸国を訪れることでしょうか。本年は、メキシコと日本との自由貿易協定を含む経済連携協定も発効し関係が強化されます。アメリカ合衆国とラ米全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラ米諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょうか。その意味で、スペイン語は重要な言語です。安易な考えでなく、各自、強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。
講義の内容・授業スケジュール	年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。
履修上の留意点	スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。
成績評価の方法	成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。
教科書	エクトル・ルエダ・デ・レオン、富士祥子著『スペイン語が結ぶ世界への道“Paso a Paso 1”』（エクセルシア）
参考書等	辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和西中辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。
その他	文法事項の説明は一方的なものとならないよう、双方向的な授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントもする考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	栗林 ゆき絵 <small>くりばやし え</small>	経営A1年	2

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

指示された課題（練習問題、和訳等）は必ずやってくる。随時小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法

平常点（出席・課題）6割以上、試験（小テスト30%および前後期末70%）合計60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者は試験の受験を認めない。

教科書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	荻野 雅 司 <small>おぎ の まさ し</small>	経営A1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

橋本定久他著『スペイン語の広場』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I C (会話)	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

講義のねらい

この授業では基本的な文法を学びながら、様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。

表現力や会話能力を高めることを目的とする。  
毎回の練習は重要なので出席を重視します。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態の評価します。

教科書

Itogawa Miki, Futamura Hisanori, Mito Hiroyuki 『MIRA! (ミラ)』（同学社）



科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	真下祐一 ましも ゆういち	経営A2年	2

講義のねらい	一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	前期 一年次の復習の後、接続法過去まで学びます。 後期 スペインの歴史や文化をテーマにした短いテキストを読みます。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。
教科書	『基礎固めのスペイン語』 荻野恵 サンティアゴ・マルティン 同学社
参考書等	西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	上野勝広 うえの かつひろ	経営A2年	2

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。 またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円
参考書等	初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡC(会話)	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経営A2年	2

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口について出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール

一年次の復習から始め、すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習などを通して自由な会話力の基礎を固めます。

履修上の留意点

予習・復習を忘れず。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書

『《改訂版》コミュニケーションのためのスペイン語』坂東省次ほか（第三書房）

参考書等

西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅢA	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経営A3年	2

講義のねらい

三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基本を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくための土台作りに努めます。

講義の内容・授業スケジュール

スペインの歴史を扱った教科書です。目次に沿って進めます。

履修上の留意点

復習を随時取り入れます。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

『スペイン-歴史を訪ねて』西川喬 セフェリーノ・プエブラ（第三書房）

参考書等

西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など

# ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

I C（会話）：会話中心の授業です。I A、I Bで学んだ基礎ロシア語を踏まえ、やさしいロシア語会話を定着させる授業です。経営学部では3年次まで必修となる一カ国語集中の基礎を築くことをめざします。

II A：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II C：基礎会話の上にさらに会話能力を発展させるための授業です。より複雑な内容を伝達できるように会話力を高めることに留意します。文法知識は初等程度で充分です。

III A：基礎ロシア語の文法を踏まえ、ロシア語の読み書きの力をさらに向上させます。インターネットでリアルタイムのロシア語を読んだり、聞いたりすることも授業のなかでとりあげ、総じて生のロシア語を理解することに努めます。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	経営A1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営A1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I C (会話)	佐野朝子	経営A1年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	木村英明	経営A2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II C (会話)	クロチコフ, Y.	経営A2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 Ⅲ A	クロチコフ, Y.	経営 A 3 年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

学生の学力に応じて教科書を選びます。  
プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

そ の 他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

## 《再履修クラス》 [英語]

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まつ とう ひろ こ 松 堂 啓 子	経営2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

教科書

*English for your Future 1* (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	経営2・3・4年	2

講義のねらい

日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができるようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

履修上の留意点

出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法

前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

教科書

『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)  
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あき かわ ま き 朝 川 真 紀	経営2・3・4年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

映画のスク립トに焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

教科書

『映画英語ワークショップ—漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力—』(朝日出版社)  
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子 みちこ	経営2・3・4年	2

**講義のねらい** 英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

**履修上の留意点** 辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

**成績評価の方法** 日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

**教科書** 『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円

**参考書等** その都度黒板に板書し案内する。

**その他** 大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし 江 正 雄 え まさ お 雄	経営2・3・4年	2

**講義のねらい** 英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

**講義の内容・授業スケジュール** H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

**履修上の留意点** 予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

**成績評価の方法** 前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

**教科書** H.G.Wells 著「A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）」（こびあん書房）教室で販売する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経営2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：聞き取り訓練 CD-Rom の英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。  
9-12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。

履修上の留意点

コンピュータ ID を必ず事前に習得しておくこと。MS ワードを使うのでタイピングに慣れしておくこと。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外池 一子	経営2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみ え 高 柳 文 江	経営2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入はListeningとSpeakingにより行われますが、あくまでもWritingに重点が置かれます。演習問題を中心にWritingは行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2/3以上の出席が課されます。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験） 60%  
平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%

教 科 書

“From Writing to Speaking”「作文から会話へ」 羽鳥博愛著  
弓プレス ISBN4-8034-1128-X

参 考 書 等

テープレコーダー使用

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 桧 山 晋	経営2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎を固める。（後期）応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教 科 書

第一回目の授業で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ ばら やす お 岩 原 康 夫	経営2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教 科 書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2,000円 ISBN4-255-15280-2

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	丸小哲雄	経営2・3・4年	2

講義のねらい

基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総合理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リーディング・テキスト：The Compact Culture (英宝社)  
リスニング・サブテキスト：Listening closer to English (英宝社)

参考書等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊沢和明	経営2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。

成績評価の方法

平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。

教科書

Why Is That? (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村克彦	経営2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォ・テュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『アクティブ・リーディング』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	経営2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀	経営2・3・4年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前、後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原 孝哉	経営2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	真 砂 久 晃 <small>まなご ひさあき</small>	経営2・3・4年	2

講義のねらい	英文読解の基礎力をつける。
講義の内容・ 授業スケジュール	初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。
成績評価の方法	成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。
教科書	<i>A Guide to Effective Reading</i> (金星堂) 1,900円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	高 柳 文 江 <small>たかやなぎ ぶんえ</small>	経営2・3・4年	2

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・ 授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等)40%。
教科書	第1回の授業において発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊 沢 和 明 <small>くまざわ かずあき</small>	経営2・3・4年	2

講義のねらい	平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を聞き取る能力をつけることをめざします。
講義の内容・ 授業スケジュール	試読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。
履修上の留意点	毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。
成績評価の方法	総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。
教科書	<i>Why Is That?</i> (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	こん どう ま ほり 近 藤 真 彫	経営2・3・4年	2

講義のねらい

時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	経営2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

*Reading Landmarks of the world*（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ササキ, M.	経営2・3・4年	2

(P.100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	チャンドラー, J. E.	経営2・3・4年	2

(P.100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経営2・3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	レイン, R. V.	経営2・3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経営2・3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経営2・3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	菅原典子 <small>すがわらのりこ</small>	経営3・4年	2

講義のねらい	ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	L. A. Hill、安藤賢一 <i>Witty Tales—Readings and Exercises—</i> (成美堂) 1,680円 (税込) ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお たち みちこ 太田美智子	経営3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

*Say It In Song* (マクミラン・ランゲージハウス)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか ぎき としちろう 岡崎寿一郎	経営3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教科書

長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐藤江里子	経営3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ざき としちろう</small>	経営3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	塚本 利男 <small>つか もと とし お</small>	経営3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税  
ISBN4-7919-5037-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお た ゆ き こ 太田由紀子	経営3・4年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99  
ISBN: 0141011475

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	や し ま なお こ 矢島直子	経営3・4年	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点

毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	そう ま よし あき 相馬美明	経営3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

IAの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川島 弘之	経営3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4  
その他 DVD の映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）  
『ロックの意味』（草思社）  
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）  
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVD の映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	まちだ なおこ 町田 尚子	経営3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	三浦眞理	経営3・4年	2

講義のねらい

英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。

履修上の留意点

受験は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

*Global Understanding Success in International Business* (成美堂) 1,785円  
ISBN4-7919-4066-0

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎	経営3・4年	2

講義のねらい

ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。

履修上の留意点

予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。

教科書

未定。

参考書等

教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	チャンドラー, J. E.	経営A 3・4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	ノーラン, D.J.	経営A 3・4年	2

(P.106) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ハバード, W. D.	経営A3・4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経営A3・4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経営A3・4年	2

(P.108) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経営A3・4年	2

(P.108) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	経営A4年	2

(P.109) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	さとう こういち 佐藤 孝一	経営A4年	2

(P.109) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	か いかつ こ 甲 斐 捷 子	経営A4年	2

(P.110) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	ひろかわ おさむ 広川 治	経営A4年	2

(P.110) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	やまぐち あきら 山口 晃	経営A4年	2

(P.110) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	いとう みよこ 伊藤 美代子	経営A4年	2

(P.111) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	はぎわら てる 萩原 輝	経営A4年	2

(P.111) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	おちあい かずあき 落合 和昭	経営A4年	2

(P.112) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	いとう こういち 伊藤 幸一	経営A4年	2

(P.112) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	よしえ まさお 吉江 正雄	経営A4年	2

(P.113) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A 〔再クラス〕	<small>たか</small> 高 <small>はし</small> 橋 <small>ひろし</small> 寛	経営A 4年	2

(P.113) 参照

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A 〔再クラス〕	<small>い</small> 井 <small>い</small> 伊 <small>のぶ</small> 順 <small>ひこ</small> 彦	経営A 3年	2

(P.113) 参照

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志 真 斗美恵 し ま と み え	経営2・3・4年	2

- 講義のねらい ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。
- 講義の内容・授業スケジュール 教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。
- 履修上の留意点 さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。
- 成績評価の方法 平常点（毎回の練習問題の提出・小テスト）と前・後期試験で総合的に評価します。
- 教科書 清水薫著『ドイツ文法・100語の世界』（同学社）2,300円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	井 村 行 子 い む ら ゆ き こ	経営2・3・4年	2

- 講義のねらい ドイツ語の基礎を復習します。
- 講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。
- 履修上の留意点 なにはともあれ出席を心がけてください。
- 成績評価の方法 学期末に試験を行いますが、場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。
- 教科書 教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	藪 下 紘 一 やぶ した こう いち	経営2・3・4年	2

- 講義のねらい 昨年はドイツ語と戦って負けましたね。今年こそI Aの単位を取りましょう。
- 講義の内容・授業スケジュール 教科書はまだ未定ですが昨年とは別でしょうから気分を変えてもう一度挑戦しましょう。文法むずかしいですが、外国人が日本語を習うのもどんなに苦しいかを思って下さい。彼らも苦勞してますよ。
- 履修上の留意点 是非休まず出席して下さい。1回でも休むとわからなくなります。
- 成績評価の方法 成績は、前期・後期の試験と平常点で決めます。
- 教科書 教科書は4月の1講目に決めます。



科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経営2・3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫	経営2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

荻野歳平他著『ビデオ教材 ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	ほり うち み え 堀 内 美 江	経営2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な会話やヒアリングを取りいれながら、文法や語彙の学習もバランスよく取り入れた学習を行います。  
またドイツ語を通して、日本とは違う環境や文化、歴史や人々の生き方なども経験していただきたいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんの理解度にあわせて、ゆっくりと確実に学んでいきます。会話を通した発話練習と文法習得、そしてヒアリングが各課の学習項目となります。機会を見て、視聴覚資料も導入する予定です。

履修上の留意点

語学は特に最初はやはり、出席すればするほど理解度もアップします。とにかく出席しましょう。  
辞書とノートと教科書は必ず持ってくる。わからないことがあったら、どうぞすぐに質問してください。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期の試験および適宜導入する小テストを加えた総合評価を行います。

教科書

秋田静男他『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）

参考書等

授業中に機会をみてお伝えします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	もと はし ろ う きょう 本 橋 右 京	経営2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとします。

履修上の留意点

テキストには丁寧な練習問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

小黒・日野・佐藤 『ともかく話そうドイツ語』（郁文堂）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井 村 行 子 いむら ゆきこ	経営2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教 科 書

『ドイツ語70』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I C (会話) 〔再クラス〕	清 水 修 しみず おさむ	経営2・3・4年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べることができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はDVD付きの教科書を用いて行います。(DVDの再生装置は必須ではありません。)映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教 科 書

荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！〔DVD付き改訂版〕』（朝日出版社）  
2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II A 〔再クラス〕	森 公 成 もり こうせい	経営A3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語 I A と I B を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教 科 書

Susanne Schermann、篠原敏昭、岡田恒雄『CD付き ドイツ語万華鏡』（三修社）  
ISBN4-384-13079-1 C1084

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経営A 3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んでゆきます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新・じゃあ、またあした!』(同学社) 2,500円+税

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか もと ととき こ 岡 本 時 子	経営A 3・4年	2

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて授業中に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	の じま とし あき 野 島 利 彰	経営A 3・4年	2

(P.118) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅲ A 〔再クラス〕	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	経営A 4年	2

(P.118) 参照

## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経営2・3・4年	2

### 講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

### 履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に乗っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

### 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

### 教 科 書

『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あし はら けん 芦 原 眷	経営2・3・4年	2

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教 科 書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	経営2・3・4年	2

### 講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

### 履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

### 成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

### 教 科 書

佐藤 久美子 等 著 『アベセデ フランセ』  
（白水社）2,500円  
ISBN4-560-06054-1 C3085

### 参 考 書 等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	<small>すが</small> 菅 <small>わら</small> 原 <small>たけし</small> 猛	経営2・3・4年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教 科 書

久富健『基礎入門、タブロー・グラメール』（朝日出版社）2,200円  
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	<small>たに</small> 谷 <small>かわ</small> 川 <small>かおる</small> かおる	経営2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教 科 書

太田『フランス語文法の〈基礎〉、新訂版』（駿河台出版社）2,500円 CD付き

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	<small>すが</small> 菅 <small>や</small> 谷 <small>さとる</small> 暁	経営2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書

藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン	経営2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『フランス夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『フランス夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い とつ 伊 藤 なお	経営2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を学習しながら、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項を解説し、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、簡単な会話練習を盛り込んだ問題にも取り組みます。また、テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国か、日本とどう異なるかについて知ってもらいます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難さも解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川誠司『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	経営2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I C (会話) 〔再クラス〕	さとう くみこ 佐藤 久美子	経営2・3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	はた なかちあき 畑 中 千 晶	経営A3・4年	2

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円



科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	経営A3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理などを題材にフランスの現在を知る

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円  
ISBN4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経営A3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的コント』（第三書房）1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	おお の ひで し 大 野 英 士	経営A3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA 〔再クラス〕	おお の ひで し 大 野 英 士	経営A4年	2

(P.124) 参照

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス] 中国語 I B [再クラス]	こう りん ひで もと 江 林 英 基	経営2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス] 中国語 I B [再クラス]	あき もと たすく 秋 元 翼	経営2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。特にピンインの習得に重点を置く。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『聞く・話す フォーアップ初級中国語』（同学社）2,625円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	しお 塩 なた 旗 しんいちろう 伸一郎	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** まずは中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。  
中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解しよう。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。
- 講義の内容・授業スケジュール** 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の出題を含め、評価の半分以上を音声的要素が占める。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。
- 履修上の留意点** 携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。  
4年生の就職活動等で已むを得ず缺席する場合は、必ず事前に、もしかなわぬ場合は直後に申告し、相談すること。後になって言ってきたも受けつけない。
- 成績評価の方法** 定期試験+小テスト+平常点-缺席点。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
缺席は年間3回を超えると10点づつ減点。遅刻2回で缺席1回に換算する。ただし4年生の就職活動等による缺席のうち真に已むを得ない理由で、且つ事前に相談のあった場合は、考慮される。
- 教科書** 戸沼・石田・ほか『縁日はとてにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	さ とう 藤 ふみこ 佐 藤 普美子	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** 中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。
- 履修上の留意点** 授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。
- 成績評価の方法** 学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。
- 教科書** 戸沼市子ほか『縁日はとてにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** 中国語の発音と基本文法を習得する。
- 履修上の留意点** 最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
- 成績評価の方法** 前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。
- 教科書** 関根謙『[改訂版] 基礎固め中国語—4つのステージ』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ちょう 張 こう 宏 は 波	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

体系的に初級中国語を学ぶ。発音・声調、簡体字、基本構文・会話をしっかりと身につけ、確実な基礎づくりをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って、基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。  
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。  
 ・新出単語は授業前に予習しておく。  
 ・発音を磨きながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」ていく。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。  
 なお、出席率が四分の三に満たないようでは、初級といえども中国語を身につけることは不可能なため、不合格とする。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価します。

教科書

尹景春・竹島毅『最新版中国語はじめの一步』(白水社) 2,310円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	そう 曹 ない 泰 わ 和	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業を通して、北京のを中心にして中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』(朝日出版社) 2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③書取や質問に答えるなど、口と耳の活用が多く取り入れる。講義の内容や文法などは教科書の展開順序に従って行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）共著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）本体2,415円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	み たむら けい こ 三田村 圭 子	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音とピンイン・文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、練習問題で文法の基礎を固める。  
後期には、会話のビデオを見ながら学習の進行を確認する。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを5回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

大石智良編『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）2,900円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	お がわ たかし 小 川 隆	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からいねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

山下輝彦『你好！中国語』（金星堂）2,310円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	とく ま よし のぶ 徳 間 佳 信	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、発音の仕方を習得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の習得が中心となる。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話ができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。出席と復習を心掛けてほしい。より楽しい授業を目指すため、授業中の積極性を高く評価したい。

成績評価の方法

平常の学習態度（30%：出席・宿題による評価）、小テスト（30%）を重視し、各期末のテスト（40%）とあわせて評価する。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊『はじめて習う中国語』（白水社）2,205円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。希望としては、後半少しスピードアップして授業を進めて行きたい。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、欠席せずに積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗娟『はじめての中国語ふうとんほあ』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	らん けい 蘭 明	経営2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話) [再クラス]	うえ はら 上 原 かおり	経営2・3・4年	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話) 〔再クラス〕	工藤 早恵	経営2・3・4年	2

(P.129) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A 〔再クラス〕	平石 淑子	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習・復習をすること。(3) 授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

三瀧正道・陳祖蓀『2005年版 時事中国語の教科書』(朝日出版社) 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A 〔再クラス〕	岩崎 皇	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	おおくぼあきお 大久保 明 男	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ほんまゆかり 本 間 由香利	経営A3・4年	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	おうそ 王 聡	経営A3・4年	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA 〔再クラス〕	おうそ 王 聡	経営A4年	2

(P.132) 参照



## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A [再クラス]	おお かわ いさお 大 岩 功	経営 2・3・4 年	2
スペイン語 I B [再クラス]			

### 外国語

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	数回のテストと小テストの得点、および日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	火曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A [再クラス]	おお かわ いさお 大 岩 功	経営 2・3・4 年	2
スペイン語 I B [再クラス]			

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK 出版） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	水曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	経営2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン, J, ナバーロ *Español dinámico*

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経営2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経営2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

福嶋教隆著『生き活きスペイン語』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

その他

月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎの野 めぐみ 恵	経営2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	経営2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

毎回の授業内で行う課題による（このため出席は必須である）

教科書

寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠC（会話） 〔再クラス〕	ルイズティノコ, C.	経営A2・3・4年	2

(P.135) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本 久美子	経営A3・4年	2

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経営A3・4年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経営A3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経営A3・4年	2

(P.137) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅢA 〔再クラス〕	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経営A4年	2

(P.137) 参照

## [ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディ・ランゲージを含む）を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	経営2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

### 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

### 履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

### 成績評価の方法

平常点を重視します。

### 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A [再クラス] ロシア語 I B [再クラス]	木 村 英 明 きむら ひであき	経営2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。  
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A [再クラス] ロシア語 I B [再クラス]	安 徳 ニーナ あん とく にーな	経営2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I C (会話) [再クラス]	佐 野 朝 子 さの あさこ	経営A2・3・4年	2

(P.140) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	<small>おおすか ひみかず</small> 大須賀 史 和	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	経営A3・4年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

(P.140) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 Ⅲ A 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営 A 4 年	2

(P.141) 参照

外  
国  
語



## 《選択科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	林 明 人 <small>はやし あきと</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	矢 島 直 子 <small>やしま なおこ</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

Alan Bennett *The History Boys* (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	牧 野 輝 良 <small>まさ の てる よし</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	竹村 恵都子 <small>たけむら えつこ</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	林 明 人 <small>はやし あきと</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。  
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	岸本茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。少年少女たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぺのおじいさん」というイメージをもっているようだがはたしてそうか。どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、新聞はインキのにおいがするあいだだけがいのち、それが消えてしまえば捨て去ってかえりみるものはない。だから新聞はよまない。雑誌はよまない。一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

Russell Freedman. - *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)  
(テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者に買ってもらう予定)

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。  
 (1) 基礎語彙表による単語を記憶する。  
 (2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。  
 (3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリント使用。

その他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

BBC News Online と日本の英字新聞 Daily Yomiuri のニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。

履修上の留意点

毎回どんどん当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』(成美堂) 1,800円(税別)  
ISBN4-7919-4827-0

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	落合和昭	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする(一人の場合と、対話形式の場合がある)。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%(現代口語英語の和訳)、後期試験は30%(ヒヤリングが10%、会話英文文が20%)である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5~10分程度のを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 『イディオム表現のマルチ習得法』(北星堂) 1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
- 映画総合教材『シャイン』(松柏社) 2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
- Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで閉館）で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村祐子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。  
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しておこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

# 英 会 話 I

## <英会話 I の授業内容と履修上の留意点>

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	経営A1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1 st semester will be question and answer, while the 2 nd semester will be role playing activities.

### 講義の内容・ 授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

### 成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.

LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	経営A1・2・3・4選	2

外  
国  
語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

*Communicate: book 1 a* / David Paul / Macmillan Language House, 1, 230  
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	経営A1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S. J.	経営A1・2・3・4選	2

外  
国  
語

講義のねらい

English ConversationIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

*Fifty - Fifty Book 1* ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ラーズ, R.	経営A1・2・3・4履	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・  
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7  
 II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C. M.	経営A1・2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・  
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance  
25% Journal  
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students  
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

# 英 会 話 Ⅱ

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ラッセル, S. J.	経営A2・3・4選	2

### 講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

### 講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

### 履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

### 成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

### 教 科 書

*Within Your Reach : Keys to Conversation* (NAN'UN-DO)  
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C. M.	経営2・3・4選	2

外  
国  
語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・  
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance  
25% Journal  
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students

Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	経営2・3・4選	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

# 英 会 話 Ⅲ

## 〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	経営2・3・4選	2

### 講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.  
Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!  
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

### 成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.  
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	経営2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436670 - 7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436672 - 3



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	経営2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week - to - week participation.

- 20%two take home essays (10%each essay)
- 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
- 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半						後半				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7月29日 金	○	○	○	○	○	8月29日 月				
8月1日 月	○	○	○	○	○	8月30日 火				
8月2日 火	○	○	○	○	○	8月31日 水				
8月3日 水	○	○	○	○	○	9月1日 木				
8月4日 木	○	○	○	○	○	9月2日 金				
8月5日 金	○	○	○	○	○	9月5日 月				

# 英 語 L L I

## 〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお た まさ こ 太 田 雅 子	経営A1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

### 履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

### 教 科 書

矢作三蔵『*Basics of Natural English*』（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経営A1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

### 履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

### 教 科 書

*Sounds Right! Sounds Good!*  
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%  
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）  
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行き、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかたてまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。  
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	<small>はなわ みちこ</small> 埴 美智子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

# 英 語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお たい まさ こ 太 田 雅 子	経営2・3・4選	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

小野田 栄『BBC World Understanding the News in English 2』（金星堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	経営2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語LL Iを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初回にテストを行いますから必ず出席してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経営2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。  
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータIDを取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)  
使用ビデオ：*Headway elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および (*pre-intermediate*)、その他。

# 英 語 L L III

## 〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	レーン, C. M.	経営2・3・4選	2

### 講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

### 講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

### 履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

### 成績評価の方法

20%attendance  
40%exams  
40%participation within the class

### 教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保 ひさ子	経営2・3・4選	2

講義のねらい

英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	西村 祐子	経営2・3・4選	2

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書の Unit 1-5 まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。  
9-12月：教科書の Unit 6-10 まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータ ID を必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前に LLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

*New Headway Upper Intermediate.* (Oxford Univ. Press)



科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島としあきのり	経営A3・4選	4

講義のねらい

ドイツの新聞の面白さは辛辣さです。政治風刺漫画を見ても日本とは大違いです。記者一人一人が手厳しい批判性を備えています。この点を味わいながらドイツで現在問題になっていることのみならず、広く EU 諸国で起きている事柄にも触れ、EU 全体のイメージを得たいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙の記事を読みます。予習しやすいよう文法事項、時事用語、難しい語については毎回詳しく説明します。

履修上の留意点

訳読は原則として希望者に任せますが、少数クラスなので一回の授業で必ず一度は訳読の順番が回って来ることを予定してください。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	柴野ひろこ	経営A3・4選	2

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいきます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、1, 2年生の文法事項を補足しながら、ゆっくり進みます。  
後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡しします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年（LLまたは他のドイツ語科目）で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拓けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	い がらし のが こ 五十嵐 信子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引ながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内的小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	やが した こう いち 藪 下 紘 一	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	やが した こう いち 藪 下 紘 一	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引ながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事フランス語	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経営A3・4選	4

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善他著『ヴァリエテ・フランセーズ2005』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	経営A3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ 2』  
（駿河台出版社）2,500円  
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L I	ラリア・三倉, M.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーパーペーパー) Presenter Pratiquer Produire』 (第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L II	ラリア・三倉, M.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)  
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A (選)	出口 雅 敏	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい 基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点 必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験を行いません。

教科書 佐藤久美子他著『フロレゾン』（白水社）2,100円 ISBN4-560-06036-3

参考書等 最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	すが わら たけし 菅 原 猛	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい 英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点 教科書・辞書を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書 石井洋二郎『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経営A2・3・4選	2

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 プリント配布

参考書等 そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお 塩 <small>はた</small> 旗 <small>しんいちろう</small> 伸一郎	経営A3・4選	4

- 講義のねらい
 

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール
 

「速読」篇は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。  
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。
- 履修上の留意点
 

精読教材は予習が不可欠。  
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>
- 成績評価の方法
 

平常点。
- 教科書
 

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。
- 参考書等
 

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。  
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
- その他
 

PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 <small>や</small> 屋 <small>おきむ</small> 修	経営A3・4選	2

- 講義のねらい
 

より正確な発音、基本文法の応用とより深い理解、生きた中国語へのさらなるアプローチを目ざし、会話文・掌篇小説（ショート・ショート）を素材とする。
- 講義の内容・授業スケジュール
 

全員参加形式。
- 履修上の留意点
 

予習を前提とする。
- 成績評価の方法
 

総合的な学力を判定する。
- 教科書
 

プリントを配布する。
- 参考書等
 

中辞典以上の辞書を必要とする。辞書は開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータ教場のLL機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの音声教材をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

楊達他著『聞こえる中国語初級テキスト』（南雲堂） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級ていどの会話と聞き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）  
※「スリム版」でなく旧版の方を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (選)	釜屋 修 <small>かま や おさむ</small>	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。

履修上の留意点

週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。

成績評価の方法

出席状況、各種テストにより総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』（好文出版）2,400円 CD付

参考書等

開講時に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	経営A1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭 明 <small>らんめい</small>	経営A1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社） 2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	経営A2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。

教科書

陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版） 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	ましも ゆういち 真下祐一	経営A3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 新聞記事のスペイン語、世界の出来事をスペイン語で読む。  
後期 スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえの かつひろ 上野勝広	経営A3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

Viaje al español  
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』  
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	おき 萩 野 雅 司	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々で行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	き 木 村 英 明	経営A3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経営A3・4選	2

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。  
講読した内容について自由会話を行う。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	<sup>あん</sup> 安 <sup>とく</sup> 徳 ニーナ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。  
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	<sup>あん</sup> 安 <sup>とく</sup> 徳 ニーナ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
  - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混乱から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語ⅠA(選)	べく 白 ひょん 賢 美	経営A1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB(選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。(IA(選)、IB(選)のどちらか一方のみの履修でもよい)

講義の内容・  
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭の練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座(初級)』(国書刊行会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝 鮮 語 II (選)	白 賢 美 <small>べく ひょうん み</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）』（国書刊行会）

そ の 他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。



外国語

## 4. 保健体育科目

# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉 輝〉	231
健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋 田 浩 一〉	232
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈森 本 葵〉	233
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹 田 幸 夫〉	234
健康・スポーツ実習 (卓 球)	〈秋 田 浩 一〉	235
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山 口 良 博〉	236
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江 口 淳 一〉	237
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈村 松 誠〉	238
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈森 本 葵〉	239
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	〈村 松 誠〉	240
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	241
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	242
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈秋 田 浩 一〉	242
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓 球)	〈川村正義・山口良博〉	243
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧 野 茂〉	244
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋俊介・村松 誠〉	245
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	246
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング&太極拳)	〈光 永 吉 輝〉	247
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	248
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	249
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	250
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (卓 球)	〈牧 野 茂〉	251
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	252
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	253
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	254
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	255
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴 木 淳 平〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (卓 球)	〈牧 野 茂〉	257
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	258
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	259
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	260
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三 幣 晴 三〉	261
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松 誠 他〉	262
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹田 幸夫 他〉	263
健康・スポーツ論 1 〈江 口 淳 一〉		264
健康・スポーツ論 1 〈光 永 吉 輝〉		265
健康・スポーツ論 2 〈大 石 武 士〉		266
健康・スポーツ論 2 〈村 松 誠〉		267
健康・スポーツ論 2 〈牧 野 茂〉		268

余	暇	学〈秋 田 浩 一〉	.....	269
余	暇	学〈田 中 佳 孝〉	.....	270

保健体育

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	2時限 (経営-1)		3時限 (経営-2)	
木曜日	※光永	トレーニング	※竹田	体操・トランポリン
	秋田	サッカー	秋田	卓球
	竹田	体操・トランポリン	光永	トレーニング
	森本	ジョギング	森本	ゴルフ
	江口	テニス	江口	テニス
	山口	室内球技	山口	室内球技
	村松	ハンドボール	村松	ソフトボール

※は、科目の主担当者

保健体育

# 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日				
1時限									
2時限	長濱	大		牧野	牧野				
						前期・基礎	前期・応用	前期・応用	
		バドミントン				ニュースポーツ※	卓球	バスケットボール	
		後期・基礎				後期・応用	後期・応用	バスケットボール	
バドミントン	石	ニュースポーツ※	卓球	バスケットボール					
3時限	長濱	大	鈴木	牧野	牧野				
						前期・応用	前期・基礎	前期・基礎	前期・基礎
		バドミントン				簡化太極拳※	室内球技	卓球	バスケットボール
		後期・応用				後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・基礎
バドミントン	石	簡化太極拳※	室内球技	卓球	バスケットボール				
4時限	大石		鈴木	鈴木					
						前期・応用	前期・基礎	前期・応用	
						簡化太極拳※	室内球技	バドミントン	
						後期・応用	後期・基礎	後期・応用	
簡化太極拳※	木	室内球技	木	バドミントン					

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつ <small>なが</small> よし <small>てる</small> 光 永 吉 輝	経営A1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

始めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A1必	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	もり もと まもる 森 本 葵	経営A1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、  
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

保健  
体育

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	経営A1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：シ
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	経営A1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)  
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネットショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	むら まつ まこと 村 松 誠	経営A1必	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 3 時限目：試合
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：試合
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

バット、グラブ等の用具は、貸与する。  
服装は一般的なスポーツ服装とするが、野球用のユニフォームを着用してもよい。  
シューズはスポーツシューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

雨天時は、体育館および教室内においてトレーニング、ルール解説等を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	もりもと まもる 森 本 葵	経営A1必	2

## 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

## 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

## 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

## そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	むら まつ まこと 村 松 誠	経営A1必	2

講義のねらい

ハンドボール競技の面白さを体験するため、ゲームを中心とした展開を行なう。  
パスキャッチ、シュートなどの基礎技能の習得から、2対1、2対2などのグループ戦術まで高めていく。また、ルールと審判法を理解し、グループで協力してゲームが運営できることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：コート準備とパスキャッチ
- 3 時限目：ジャンプシュート
- 4 時限目：基本的なルールとリードアップゲーム
- 5 時限目：チーム分けとミニゲーム
- 6 時限目：ランニングパスとミニゲーム
- 7 時限目：速攻2対1とミニゲーム
- 8 時限目：リターンパスとミニゲーム
- 9 時限目：1対1の突破とミニゲーム
- 10時限目：速攻法とミニゲーム
- 11時限目：ゴールキーピングとミニゲーム
- 12時限目：審判法とミニゲーム
- 13時限目：リーグ戦
- 14時限目：リーグ戦
- 15時限目：実技テストとリーグ戦

履修上の留意点

服装は動きやすいものとし、運動靴を用意すること。必ず爪を短く切っておくこと。また、金具類、ネックレス、ピアスなどは、身につけないこと。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

雨天の場合は、室内でボールを使ったトレーニングを行なう。また、ハンドボールのビデオ鑑賞や詳細なルールにより、ハンドボール競技の理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	たなが 田中 よしたか 佳孝・長濱 ながはま ともお 友雄	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10時限目：〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11時限目：〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 14時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 15時限目：〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（アタックとブロッキングの技術、ルール解説）
- 4 時限目：〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目：〃（ゲーム）
- 6 時限目：〃（ゲーム）
- 7 時限目：〃（ゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10時限目：〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11時限目：〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12時限目：〃（ゲーム）
- 13時限目：〃（ゲーム）
- 14時限目：〃（ゲーム）
- 15時限目：〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
  - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00  
午後 13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまぐち よしひろ 川村 正義・山口 良博	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)  
(後期) 12月21日(水)～25日(日)  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 野 茂 の しげる	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。  
（2）体育館シューズを用意すること。  
（3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について  
（1）実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合  
（2）実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30  
（3）実施場所：玉川体育館  
（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
（5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	経営A2・3・4年	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）  
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃
- 第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃  
午後：〃
- 第5日目 午前：〃  
午後：〃

#### 履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種日を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：(前期)7月17日(日)～21日(木)

(後期)12月21日(水)～25日(日)

7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。

(2) 実施時間：10:00～12:00 (昼食・休憩) 13:00～15:30

(3) 実施場所：玉川体育館他

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	経営A2・3・4年	2

#### 講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難かしいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- |     |    |                        |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定         |
|     | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定    |
|     | 午後 | 第一組、第二組(3式)            |
| 3日目 | 午前 | トレーニング                 |
|     | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式)        |
| 4日目 | 午前 | トレーニング                 |
|     | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定                   |
|     | 午後 | 総合(1～11式)、テスト          |

保健体育

#### 履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。  
尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

#### そ の 他

- 再クラス、集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(日)～21日(木)  
(後期)12月21日(水)～25日(日)  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
  - (2) 実施時間：午前10:00～12:00  
午後13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いた たい かし 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		経営A4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
  2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すずき じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

パレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	まき の 野 しげる 茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

- 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
- クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - スマッシュを打つことが出来る。
  - ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7時限目：シングルスゲームの練習
- 8時限目：
- 9時限目：
- 10時限目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11時限目：}
- 12時限目：
- 13時限目：
- 14時限目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 15時限目：}

履修上の留意点

- 定員は50名とする。
- 実技は本校第1体育館で行なう。
- 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- シューズは体育館専用のものを用意する。
- その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まきの 牧野 茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3時限目：フルコート2マン・パス(1)、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4時限目：フルコート2マン・パス(2)、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：2マン・ファースト・ブレイク(1)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：2マン・ファースト・ブレイク(2)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(3) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		経営A4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。  
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すずき じゅん へい 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

**講義のねらい** 室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

**講義の内容・授業スケジュール** バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

**履修上の留意点** ○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。  
○定員は50名とする。

**成績評価の方法** 出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すずき じゅん へい 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

**講義のねらい** 生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：ク
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

**履修上の留意点**

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

**成績評価の方法** 出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの野 牧 野 茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの野 しげる茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス (平行陣への移行)
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日 (水) ～25日 (日)  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限 (後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	み ぬ さ は る み 三 幣 晴 三	経営A選	1

#### 講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

#### 履修上の留意点

- (1) 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

#### 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

#### そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	経営A選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義  
1日目 9月5日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習  
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》  
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。  
2日目 9月6日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習  
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》  
3日目 9月7日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》  
4日目 9月8日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》  
5日目 9月9日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 1) 実習日程: 9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所: (1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025  
岩手県岩手郡松尾村安比高原  
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100  
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311  
FAX0195-73-5044
- 3) 定 員: 40名
- 4) 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)  
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 5) 受講料: 39,350円(左記金額には、交通費は含まれない。)  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間: 5月23日(月)~6月4日(土)
- 6) 服装・用具  
(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)  
(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。  
(3) グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ぬき お 他 竹 田 幸 夫 他	経営A選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 2月13日(月)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 2月14日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 2月15日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月16日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月17日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名  
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	え くち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A1選	2

保健体育

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを楽しむ能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、エアロビクストレーニング)
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ-学生自身による授業評価-

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。

『運動処方』(朝倉書店) 3,500円

『運動生理学20講』(朝倉書店) 2,884円

『「ゆとり」時代のライフスタイル』(日本経済新聞社) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	経営A1選	2

#### 講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病气やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体の特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目：　　　　　　　　　2) 体幹
- 4 時限目：　　　　　　　　　3) 体幹
- 5 時限目：　　　　　　　　　4) 下肢
- 6 時限目：　　　　　　　　　5) 下肢
- 7 時限目：　　　　　　　　　6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10時限目：運動の効果・骨と健康
- 11時限目：トレーニング論 1)
- 12時限目：トレーニング論 2)
- 13時限目：運動と栄養
- 14時限目：健康管理
- 15時限目：まとめ

#### 成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

#### 教科書

『保健体育概論』（カツサ出版部）  
教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

#### 参考書等

医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫減傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カツサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』(小学館) 700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むら まつ まこと 村 松 誠	経営 A 選	2

#### 講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、マスコミに溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかというしっかりした健康観をもつことは、適切な選択をするために大切なことである。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えて行く。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

#### 成績評価の方法

小テストとその他などを加味して評価する。

#### 教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂 牧 野 茂	経営A選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) 〃 ・ 〃 ・ 〃 (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』(カヅサ出版部) 1,700円  
他は、講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
余暇学（前期）	<sup>あき</sup> 秋 <sup>た</sup> 田 <sup>こう</sup> 浩 <sup>いち</sup> 一	経営A2・3・4選	2

保健  
体育

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目：      〃      の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目：      〃      の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目：      〃      の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10 時限目：フランスサッカーについて
- 11 時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12 時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13 時限目：オランダサッカーの実習
- 14 時限目：イタリア      〃
- 15 時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参考書等

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期)	た な か よ し た か 田 中 佳 孝	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：生涯スポーツ
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10 時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11 時限目：ネイチャー・スキー
- 12 時限目：「私の余暇」発表もしくはテスト
- 13 時限目：テスト予備日

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2 / 3 以上の出席をした者に対し、レポート提出（2回）とテスト（最終週）により、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

特になし

## Ⅱ 専 門 教 育 科 目

科 専  
目 門  
目 教  
育

### 経営学科フレックス A

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、  
フレックス B の頁を参照してください。(→P.547)



科  
專  
門  
教  
育  
目

## Ⅱ. 専門教育科目

経済学概説	〈明石博行〉	277
簿記	〈小田幹夫〉	278
簿記	〈岩渕昭子〉	279
簿記	〈阿部一人〉	280
簿記	〈田辺正〉	281
簿記	〈水野惠満子〉	282
簿記	〈大野奈奈〉	283
簿記	〈中川淳平〉	284
簿記	〈日野健太〉	285
簿記	〈高木克己〉	286
簿記	〈岩渕昭子〉	287
簿記	〈休講〉	
簿記	〈滝田公一〉	288
簿記	〈高井徹雄〉	289
簿記	〈飯田哲夫〉	290
簿記	〈河内谷幸子〉	291
簿記	〈加藤武信〉	291
簿記	〈地引昌弘〉	292
簿記	〈遠山正朗〉	293
簿記	〈包捷聖〉	294
簿記	〈依田幸子〉	294
簿記	〈河内谷幸子〉	295
簿記	〈加藤武信〉	296
簿記	〈地引昌弘〉	297
簿記	〈遠山正朗〉	298
簿記	〈包捷聖〉	299
簿記	〈依田幸子〉	299
簿記	〈明石博行〉	300
簿記	〈阿部一人〉	300
簿記	〈小沢利久〉	301
簿記	〈各務洋子〉	301
簿記	〈鹿嶋秀晃〉	302
簿記	〈片桐伸夫〉	302
簿記	〈兼村栄哲〉	303
簿記	〈鈴木幸毅〉	303
簿記	〈高井徹雄〉	304
簿記	〈高木克己〉	304
簿記	〈滝田公一〉	305
簿記	〈長国強〉	305
簿記	〈中川淳平〉	306
簿記	〈中村公一〉	306
簿記	〈永田智則〉	307
簿記	〈西村和夫〉	307
簿記	〈羽鳥茂〉	308
簿記	〈羽田尚子〉	308
簿記	〈日野健太〉	309

専科  
教育  
目

演習	習	I	〈藤原篤志〉	309
演習	習	I	〈宮城篤徹〉	310
演習	習	I	〈山田純平〉	310
演習	習	I	〈渡邊惠一郎〉	311
演習	習	I	〈中川淳平〉	311
演習	習	I	〈宮城篤徹〉	312
演習	習	I	〈高橋成夫〉	313
演習	習	I	〈鈴木幸毅〉	314
演習	習	I	〈日野健太〉	315
演習	習	I	〈鹿嶋秀晃〉	316
演習	習	I	〈藤原篤志〉	317
演習	習	I	〈兼村栄哲〉	318
演習	習	I	〈高田光明〉	320
演習	習	I	〈茂垣広志〉	321
演習	習	I	〈中村公一〉	322
演習	習	I	〈各務洋子〉	323
演習	習	I	〈休講〉	
演習	習	I	〈菅谷実〉	324
演習	習	I	〈休講〉	
演習	習	I	〈前田和利〉	325
演習	習	I	〈大島久幸〉	326
演習	習	I	〈休講〉	
演習	習	I	〈石名坂邦昭〉	327
演習	習	I	〈服部昌久〉	328
演習	習	I	〈石川和男〉	329
演習	習	I	〈田辺正〉	330
演習	習	I	〈渡邊惠一郎〉	330
演習	習	I	〈猿山義広〉	331
演習	習	I	〈阿部一人〉	332
演習	習	I	〈猿山義広〉	333
演習	習	I	〈高木克己〉	334
演習	習	I	〈片桐伸夫〉	335
演習	習	I	〈山田純平〉	336
演習	習	I	〈休講〉	
演習	習	I	〈休講〉	
演習	習	I	〈速水昇〉	336
演習	習	I	〈渡部智訓〉	337
演習	習	I	〈永田智則〉	338
演習	習	I	〈羽鳥茂〉	339
演習	習	I	〈佐藤昇〉	340
演習	習	I	〈呉逸良〉	341
演習	習	I	〈羽田尚子〉	342
演習	習	I	〈渡邊新夫〉	343
演習	習	I	〈飯田哲明〉	344
演習	習	I	〈宇谷秀夫〉	344
演習	習	I	〈飯田哲明〉	345
演習	習	I	〈宇谷秀夫〉	346
演習	習	I	〈西村和夫〉	347
演習	習	I	〈小沢利久〉	348

經 營 情 報 論 〈 休 講 〉					
シ ス テ ム 論	〈 宇 谷 明 秀 〉	.....	349		
統 計 原 論	〈 山 内 愼 二 〉	.....	349		
統 計 法	〈 長 国 強 〉	.....	350		
民法 I [ 総 則 ・ 物 権 法 ]	〈 須 賀 昭 德 〉	.....	350		
商法 I [ 総 則 ・ 会 社 法 ]	〈 山 田 泰 彦 〉	.....	351		
労 働 法	〈 藤 本 正 郎 〉	.....	352		
税 法	〈 奥 村 正 郎 〉	.....	353		
演 習 II	〈 明 石 博 行 〉	.....	354		
演 習 II	〈 阿 部 一 人 〉	.....	354		
演 習 II	〈 飯 田 哲 夫 〉	.....	355		
演 習 II	〈 石 名 坂 邦 昭 〉	.....	355		
演 習 II	〈 小 沢 利 久 〉	.....	356		
演 習 II	〈 各 務 洋 子 〉	.....	356		
演 習 II	〈 鹿 嶋 秀 晃 〉	.....	357		
演 習 II	〈 片 桐 伸 夫 〉	.....	358		
演 習 II	〈 兼 村 栄 哲 〉	.....	358		
演 習 II	〈 鈴 木 幸 毅 〉	.....	359		
演 習 II	〈 鈴 木 幸 毅 〉	.....	359		
演 習 II	〈 猿 山 義 広 〉	.....	360		
演 習 II	〈 高 井 徹 雄 〉	.....	361		
演 習 II	〈 高 木 克 己 〉	.....	361		
演 習 II	〈 高 田 光 明 〉	.....	362		
演 習 II	〈 滝 田 公 一 〉	.....	362		
演 習 II	〈 長 国 強 〉	.....	363		
演 習 II	〈 中 川 淳 平 〉	.....	363		
演 習 II	〈 中 村 公 一 〉	.....	364		
演 習 II	〈 永 田 智 則 〉	.....	364		
演 習 II	〈 西 村 和 夫 〉	.....	365		
演 習 II	〈 羽 鳥 茂 〉	.....	365		
演 習 II	〈 羽 田 尚 子 〉	.....	366		
演 習 II	〈 日 野 健 太 〉	.....	366		
演 習 II	〈 藤 原 篤 志 〉	.....	367		
演 習 II	〈 前 田 和 利 〉	.....	367		
演 習 II	〈 宮 城 徹 〉	.....	368		
演 習 II	〈 山 田 純 平 〉	.....	368		
演 習 II	〈 渡 邊 惠 一 郎 〉	.....	369		
民法 II [ 債 権 法 ]	〈 上 井 長 久 〉	.....	370		
商法 II [ 商 行 為 ・ 手 形 ・ 小 切 手 法 ]	〈 重 田 麻 紀 子 〉	.....	371		
外 書 講 読 ( 英 書 )	〈 長 国 強 〉	.....	371		
外 書 講 読 ( 英 書 )	〈 中 村 公 一 〉	.....	372		
外 書 講 読 ( 英 書 )	〈 前 田 和 利 〉	.....	372		
外 書 講 読 ( 独 書 )	〈 野 島 利 彰 〉	.....	373		
外 書 講 読 ( 仏 書 )	〈 遠 山 博 雄 〉	.....	373		
外 書 講 読 ( 中 国 書 )	〈 本 間 由 香 利 〉	.....	373		
外 書 講 読 ( スペイン 書 )	〈 真 下 祐 一 〉	.....	374		
外 書 講 読 ( ロシア 書 )	〈 杉 山 秀 子 〉	.....	374		
ビ ジ ネ ス 英 語	〈 町 井 靖 〉	.....	374		
特 殊 講 義 ( 前 期 )	〈 休 講 〉				

特殊講義 (後期)	〈 休 講 〉	
演習	Ⅲ 〈明石博行〉	375
演習	Ⅲ 〈阿部一人〉	375
演習	Ⅲ 〈飯田哲夫〉	375
演習	Ⅲ 〈石坂邦昭〉	376
演習	Ⅲ 〈小沢利久〉	376
演習	Ⅲ 〈各務洋子〉	377
演習	Ⅲ 〈鹿嶋秀晃〉	378
演習	Ⅲ 〈片桐伸夫〉	379
演習	Ⅲ 〈兼村榮哲〉	379
演習	Ⅲ 〈鈴木幸毅〉	380
演習	Ⅲ 〈猿山義広〉	380
演習	Ⅲ 〈高井徹雄〉	381
演習	Ⅲ 〈高田光明〉	381
演習	Ⅲ 〈高木克己〉	382
演習	Ⅲ 〈滝田公一〉	382
演習	Ⅲ 〈長国強〉	382
演習	Ⅲ 〈永田智則〉	383
演習	Ⅲ 〈中川淳平〉	383
演習	Ⅲ 〈中村公一〉	384
演習	Ⅲ 〈西村和夫〉	385
演習	Ⅲ 〈羽鳥茂〉	385
演習	Ⅲ 〈羽田尚子〉	386
演習	Ⅲ 〈日野健太〉	386
演習	Ⅲ 〈藤原篤志〉	387
演習	Ⅲ 〈前田和利〉	387
演習	Ⅲ 〈宮城徹〉	388
演習	Ⅲ 〈宮城徹〉	388
演習	Ⅲ 〈渡邊惠一郎〉	389

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	あかしひろゆき 明石博行	経営A1必	4

#### 講義のねらい

20世紀の経済学の2大学派である近代経済学派とマルクス経済学派の経済学について、入門的な講義をします。また、これらの学派から相対的に独立して発展してきた制度学派の経済学についても、両学派の経済学とくにマルクス経済学と関連させて講義をします。これらの諸学派は内部にさまざまな学派や潮流を含んでいます。いずれも21世紀には大きく変貌してゆくと思われませんが、20世紀の経済学を支配したこれらの学派の理論を学ぶことは有益です。経済学をはじめて学ぶ学生が、それぞれの経済観や理論の基本、およびそれぞれの学派の相違を理解できるようにすることをめざし、この講義を進めます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は序章と3つの編にわけて行います。第1編では近代経済学の基礎について、第2編ではマルクス経済学の基礎について、説明します。第3編では、両学派の経済観の相違をふまえて、公共経済と世界経済について説明します。さらに、第2編を中心に、制度学派の経済学についても説明します。

講義はおおよそつぎの順序で進めます。

序章 経済観と経済学

第1編 近代経済学

第1章 需要と供給

第2章 市場均衡

第3章 経済厚生と不確実性

第4章 国民経済計算の基礎

第5章 マクロ経済学の基礎理論

第6章 インフレとデフレ

第7章 マクロ経済学のミクロ的基礎

第2編 マルクス経済学

第8章 商品と貨幣

第9章 資本と企業

第10章 貸金制度

第11章 再生産と失業

第12章 資本と利潤

第13章 商業と信用

第14章 豊かさと言困

第3編 公共経済と世界経済

第15章 資本制国家と公共経済

第16章 国際貿易と国際通貨

第17章 多国籍企業と帝国主義

#### 成績評価の方法

定期試験の結果に平常点（出席および課題への対応）を加味し、総合的に評価をします。

#### 教科書

塩澤修平『基礎コース・経済学』（新世社）2,000円＋税  
名和隆央『経済学入門コース－経済学の不思議に答える』（緑風出版）1,900円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	小 田 幹 雄 <small>お だ み き お 雄</small>	経営A1必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教 科 書

中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円  
羽瀨信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—中級編』（共栄出版）2,000円程度

参 考 書 等

鵜飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	岩 瀨 昭 子 <small>いわ ぶち しょう こ</small>	経営A1必	4

講義のねらい

簿記とは、企業の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日、コンピュータによる会計処理が増えておりますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成まで学習します。

講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

履修上の留意点

簿記の学習は、記憶することよりもペンと電卓を片手に反復学習によって修得していくものと思います。可能な限り出席を心掛けて、経営学部の学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点(出席・課題・小テスト)を加味して、総合評価により行います。

教科書

大橋信定編著『三訂版簿記基礎講座』(創成社) 1,500円

その他

必要に応じて紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	あべかずひと 阿部一人	経営A1必	4

講義のねらい

簿記についての基礎的な知識と技術の習得を目的とする。本講義は、複式簿記の基礎から仕訳転記、試算表ならびに精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書および貸借対照表作成までの一連の手続の説明と記帳練習を重ねながら進める。

講義の内容・授業スケジュール

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 企業の経営と簿記    | (13) その他の債権・債務の記帳     |
| (2) 簿記の目的と種類    | (14) 手形の記帳            |
| (3) 簿記の基本要素     | (15) 有価証券の記帳          |
| (4) 取引と勘定       | (16) 固定資産の記帳          |
| (5) 仕訳と仕訳帳      | (17) 資本金の記帳           |
| (6) 転記と総勘定元帳    | (18) 決算整理と棚卸表         |
| (7) 試算表         | (19) 期末商品棚卸高と商品売買益の算定 |
| (8) 精算表         | (20) 損益整理             |
| (9) 簡単な決算       | (21) 精算表              |
| (10) 現金・預金の記帳   | (22) 元帳の締切            |
| (11) 商品売買の記帳    | (23) 損益計算書と貸借対照表の作成   |
| (12) 売掛金・買掛金の記帳 | (24) 帳簿・伝票            |

履修上の留意点

簿記学の実際的な側面を考慮すると、実践的能力を高めることも必要です。そこで、記帳練習を随時行って、簿記の知識と技術の習得をはかります。“継続は力なり”まさにその典型が簿記学です。簿記学は、積み重ねの学問でありますから、特に出席することが肝要です。(途中で欠席すると、その後の講義の理解が困難になります。)

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法等の詳細について説明するので、受講者はかならず出席すること。

教科書

中原章吉編著『複式簿記の基礎構造』2,000円&ワークブック1,400円

参考書等

講義において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	田 <sup>なべ</sup> 辺 <sup>ただし</sup> 正	経営A1必	4

#### 講義のねらい

この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 簿記の基礎概念
2. 簿記一巡
3. 現金預金取引
4. 小口現金
5. 商品売買取引
6. その他の債権債務
7. 手形取引
8. 有価証券
9. 固定資産
10. 資本
11. 決算

#### 履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

#### 成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

#### 教科書

加古宜土、渡部祐亘編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

科  
専  
門  
教  
育  
目  
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	みずの 水野 けいこ 恵子	経営A1必	4

講義のねらい

この講義は、大学で初めて「簿記」を学習しようとする学生を対象に日商3級レベルの内容について講義を行います。

簿記は、単に頭の中で学習するのみでは理解できず、練習問題を数多く解くことにより簿記の力をつけてもらうのがねらいです。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

1. 簿記の目的と損益計算書・貸借対照表との関係
2. 取引と仕訳および転記
3. 仕訳帳と総勘定元帳
4. 簿記一巡の流れ（Ⅰ）－試算表－
5. 簿記一巡の流れ（Ⅱ）－精算表－
6. 決算－決算手続の流れ・総勘定元帳の締切－

後期

1. 現金預金・手形の記帳方法
2. 商品売買取引と記帳方法
3. 有価証券、その他の債権・債務の記帳方法
4. その他の勘定の記帳方法
5. 主要簿と補助簿
6. 試算表と伝票
7. 決算整理
8. 損益計算書および貸借対照表の作成

履修上の留意点

コツコツ努力してほしい。

成績評価の方法

出席状況、定期試験等総合的に評価します。なお、出席状況、学習意欲を重視します。

教 科 書

中村義彦編著『基本簿記演習』三訂版（プレスウエーブ）1,700円  
ISBN4-944094-01-9 C3034  
『日商簿記検定テキスト基本問題集三訂版』（実教出版）619円  
ISBN4-407-04623-6 C2034

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	大野満奈 <small>おおのまんな</small>	経営A1必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売上の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

専門教育  
科目

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営A1必	4

講義のねらい

経営学全般を学ぶうえで、必須となる基礎概念の理解に努める。前期では現代社会におけるさまざまな組織体のうち企業、なかでも株式会社の仕組みと行動についての考察が中心となる。後期では、国際化・情報化・経済の成熟化といった、企業を取りまく経済社会の状況の変化に応じて、企業経営はこれまでどのように対処してきたのか、また今後どのように進化していくのか、検討していくことにしたい。そして1年間の講義を通じ、企業には多様な参加者が関わっており、企業が維持・成長していくためには多くの問題解決技法が必要であることを理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 企業とは何か
2. 株式会社の仕組みと特徴
3. コーポレート・ガバナンス（日米独の比較）
4. 経営とは何か
5. 社会科学における経営学の位置づけ
6. 代表的な経営学説
7. 経営戦略
8. 組織のメカニズム
9. 日本の経営の特徴
10. 現代社会と企業経営

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

講義後に感想を書いてもらうこともあるので、毎回の講義に際しては、目的意識をもって取り組んでほしい。

また、日頃からニュース（時事問題）をチェックし、ビジネス分野ばかりでなく、広く社会現象全般に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

主として二度実施される試験結果を中心に評定する（前期30%、後期70%）。なお、両試験とも三分の二以上講義に出席していないと受験できないので注意すること。講義中などに行われる小レポートについては、内容によって、評定に加えることもある。

教 科 書

藤芳誠一ほか『日本の経営革命』（文泉堂）2001年

参 考 書 等

開講後に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学	ひの けん た 日野 健太	経営A1必	4

#### 講義のねらい

この講義は、経営学部の1年生として、今後経営学を勉強していくための基礎知識を身につけることを目的とする。経営学の対象は大まかにいって、企業と経営の二つである。まず、学校や病院、官庁と異なる企業の性格について理解しなければならない。一方、病院の経営、官庁の経営、大学の経営と、経営は、あらゆるところに見ることが出来る。いわば組織体の運営の仕組みとしての経営についても理解を深める必要がある。

具体的なイメージを持てるように事例を挙げつつ講義を進めるように配慮するが、受講者も二つのことを心掛けて欲しい。

1. 関心のある企業を見つけ、その企業の成り立ちや経営について考えてみる（サッカーや野球のファンで、ひいきの選手やチームがない人がいるだろうか?）。

2. 身の回りの「経営」に目を向ける（経営の神様と称されるある経営者は、部下に、「きみ、家庭を経営しとるか?」と尋ねたそうだ。）。

つまり、受講者も自分の見聞・体験する事例と講義の内容を結びつけて考える習慣をつけてほしい。そうなれば、経営学は実に興味深い科目となるであろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

大まかには、以下のような順序で進める予定。前期、後期の初回の授業で、各回ごとの内容について述べた詳細なシラバスを配布する。必要に応じて順番を入れ替えることがある。

1. 企業論 企業形態 株主と取締役会 企業の目的
2. 経営戦略論 戦略論の視座 ドメインの定義 経営資源
3. 企業と社会 企業倫理 ステイクホルダーアプローチ 環境問題
4. 組織における人間行動 科学的管理法 人間関係論 モティベーション
5. 日本の経営の特質 労務管理上の特徴 リーン生産方式
6. 企業の国際化 企業の多国籍化 文化的コンフリクト
7. 経営学のパラダイム 経営学の歴史 社会科学の認識論

#### 履修上の留意点

出席をとる。講義より大事なことがあると自分で判断すれば、欠席してもかまわないが、講義に出席して勉学に励むことは、受講生の権利である。ゆえに「何回以上休むと不可ですか?」という質問は成り立たない。また、同じ理由で、「講義で私語を慎むように。」という注意を教員がすること自体あり得ない。

#### 成績評価の方法

大まかには、前期最終回に行う中間テスト30点（持ち込み可）、夏期レポート10点、試験期間中に行う期末試験60点（持ち込み不可）。さらに授業中に行う小テストの結果、出席状況などを参考にして最終的な評価をする。最終的に60点以上が単位を認定される。つまり、中間テストを受験しないということは、多くの場合致命的である。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

開講時に指示する。

#### 専門教育 科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学	高木 克己	14以降入学生/経営A1必 13以前入学生/経営A2必	4

#### 講義のねらい

今日、企業活動の国際化に伴い、会計制度も大きく変わろうとしている。その中で、我々は、個人又は組織体としていろいろな経済活動を行なっている。このような経済活動を営む主体を経済主体というが、会計の役割は、この経済主体が行なう経済活動及びこれに派生して起こる経済事象を、主として貨幣額で測定・記録・報告をすることにある。会計学は、通常、株式会社の会計を研究対象とする学問である。

本講義では、簿記学を学ぶ上でも参考になるように、企業会計の仕組みを明らかにしていくことにする。特に、企業会計に大きな影響を及ぼしている国際会計基準(国際財務報告基準)、商法、証券取引法、法人税法等の規定との関係、あるいは、近時、次々と公表されている会計処理基準についても、できるだけやさしく説明しながら、その根拠、背景を明らかにしていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 会計の意義・役割等
2. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書
3. 企業会計の理論構造
  - (1) 会計公準
  - (2) 企業会計原則
  - (3) 国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
  - (1) 商法による会計規定
  - (2) 証券取引法による会計規定
  - (3) 法人税法による会計規定
5. 資産会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 評価基準
6. 負債会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 引当金、社債等
7. 資本会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 利益剰余金、資本剰余金、自己株式
8. 損益会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 損益の認識基準
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

#### 履修上の留意点

簿記学での学習と常に平行しながら、受講するとより理解が深まるとされる。この分野の勉強をより深めるには、2年次以降履修可能な財務会計論を履修するとよい。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。

#### 教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学	岩 潤 昭 子 <small>いわ ぶち しょう こ</small>	14以降入学生/経営A1必	4
		13以前入学生/経営A2必	

#### 講義のねらい

会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、企業の経営成績および財政状態を明らかにし、企業の利害関係者に会計情報として提供することにあります。簿記学は、主として帳簿に記入するルールを学習するのに対して、会計学は理論的なフレームワークなどを学習しますが、本講義では、経済社会との動きとも関連して学習します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション、総論
2. 会計の意義・役割
3. 企業会計の理論構造  
会計公準、企業会計原則、国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
5. 資産会計  
意義と分類、評価
6. 負債会計  
意義と分類、評価
7. 資本金会計  
意義と分類
8. 損益会計  
意義と分類、認識基準等
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

科 専  
門 教  
目 育

#### 履修上の留意点

簿記学と平行しながら、受講すると理解が深まります。

#### 成績評価の方法

出席・授業態度・期末試験などの総合評価

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

必要に応じて適宜指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
近代経済学	滝田公一 <small>たき た こういち</small>	経営A2選必	4

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的分析を取り扱います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 企業の理論
- 第3回 産業の分類と集中度
- 第3回 完全競争と厚生経済学
- 第5回 独占
- 第6回 ゲームの理論Ⅰ
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論Ⅱ
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第11回 垂直的統合と垂直的制約
- 第12回 水平合併
- 第13回 産業規制の経済理論
- 第14回 自然独占

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

経済学概説の知識、特に、ミクロ経済学の知識があると役に立ちます。

成績評価の方法

学年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に、指定しません。

参考書等

Church and Ware, *Industrial Organization*, McGraw-Hill, 2000.  
 Carlton and Perloff, *Modern Industrial Organization*, HarperCollins, 1994  
 ロジャー・クラーク、現代産業組織論、多賀出版、1989  
 新庄浩二ほか、産業組織論、有斐閣ブックス、1995

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	高井 徹雄 <small>たか い てつ お</small>	経営A 2選必	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術の他に、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（狭義の経営工学）・OR（オペレーションズ・リサーチ）をはじめとする経営管理技術の導入を図り、実践することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し遂げた。この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション（1回）：経営工学の概略と歴史
2. 生産管理とIE技法（2回）：（1）生産方式 （2）生産計画
3. ORによる計画と決定（3回）：（1）数理計画法 （2）待ち行列理論 （3）シミュレーション
4. 工程管理と作業の平準化（3回）：（1）工程管理と工程分析 （2）日程計画  
（3）ラインバランス
5. 在庫管理と品質管理（2回）：（1）在庫管理の必要性 （2）QCとTQC
6. 統計的手法（2回）：（1）需要予測 （2）回帰分析
7. FAとCIM（3回）：（1）FAとCIM （2）計測と自動制御 （3）CAD/CAMとFMS
8. システムの信頼性と性能評価（2回）：（1）信頼性と稼働率 （2）システムの構成と性能評価
9. 経済性工学と生産性（3回）：（1）原価管理 （2）経済性分析 （3）生産性分析

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は特に必要ないが、適宜演習を行うので毎回出席すること。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験により評価する。授業中の演習課題を平常点として加味する。

教科書

開講時に指定する。その他、適宜プリントを配って補う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営数学	飯田哲夫	経営A・経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数論的方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎	河内谷 幸子 <small>かわちや まちこ</small>	経営A1・2・3・4選	2

- 講義のねらい** この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。
- 講義の内容・授業スケジュール** 毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者をも前提として、パソコンの電源の入れ方からはじめます。その後、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、情報倫理などを実習していきます。
- 履修上の留意点** コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。
- 成績評価の方法** コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。
- 教科書** 毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。
- 参考書等** その都度授業で指示します。
- その他** 1人1台コンピュータを使った実習形式です。  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎	加藤 武信 <small>かとう たけのぶ</small>	経営A1・2・3・4選	2

- 講義のねらい** 情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使う、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- コンピュータの仕組みと Windows の基本操作  
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
  - ワープロソフト Word による文書作成  
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
  - 表計算ソフト Excel による作表・作図（基本レベル）  
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成  
基本関数、論理関数、データベースの活用
  - インターネットと電子メールの活用  
Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など
- 履修上の留意点** パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
- 成績評価の方法** 出席、レポートおよびテストにより評価する。
- 教科書** 加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）
- その他** 授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎	じびきまさひろ 地引昌弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・イントロダクション  
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について（プロログ）
- ・コンピュータの構成と基本操作  
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信  
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。

また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

その他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎	と お や ま ま さ お 遠 山 正 朗	経営A1・2・3・4選	2

#### 講義のねらい

本講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力を身に付けてもらうことです。その活用能力とは、コンピュータを単体で活用する能力、コンピュータをネットワーク上で活用する能力の2つに大別できますが、それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方の導入まで、段階的に学習していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りです。
- (1) コンピュータの基本的な使い方
  - (2) Windowsの基本操作
  - (3～4) ワードプロセッサソフトの基本操作
  - (5～6) ワードプロセッサソフトによる文書作成
  - (7～8) 表計算ソフトの基本操作
  - (9～10) 表計算ソフトによるデータ処理
  - (11) インターネットの基礎
  - (12～13) インターネットの活用による情報の収集・処理

科 専  
門 教  
育 目 録

#### 履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、毎回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

#### 成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%  
レポート50%

#### 教科書

特に指定しません。必要に応じてレジユメ等を配布します。

#### 参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

#### その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	ほ う 包 し ょう 捷	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

ネットワーク環境にあるコンピュータの基本的扱い方を、実習を中心に学び、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義の内容：（１）コンピュータの基本操作（電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方）；（２）日本語入力、Wordによる文書の作成；（３）インターネットと電子メールの活用；（４）Excelによる基本的なデータの処理；（５）ホームページ作成入門

履修上の留意点

1回休むと、次回の実習内容が分からなくなるので、基本的には毎回出席すること。

成績評価の方法

毎回の授業で、出席の確認として、課題を提出していただく。出席状況、課題の提出状況及び完成度から評価を行う。

教 科 書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』（サイエンス社）2,150円

参 考 書 等

必要に応じて参考図書を紹介する。

そ の 他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
 [クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	よ だ 依 田 き よ し 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（１）PCの操作（Windowsの基本操作）（２）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（３）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（４）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）

履修上の留意点

本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）50%、レポート50%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。

教 科 書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年1,995円

そ の 他

[クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 I	かわち や まち こ 河内谷 幸 子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、自分のホームページ作り、プレゼンテーションソフトの使い方などを実習します。

履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教 科 書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 書 等

その都度授業で指示します。

そ の 他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。  
 [クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 専  
門 教  
育 目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 I	かとう たけのぶ 加藤 武 信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理  
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化  
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理  
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

参 考 書 等

授業の中で示す。

そ の 他

授業の方法：パソコン実習

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 I	じ び き ま さ ひ ろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などと対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・表計算の基本  
経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトであるMS-EXCELを利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。
- ・オフィス統合ツールの基本  
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。  
最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。
- ・コンピュータの応用  
コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OSやネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。

また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用 I	と お や ま ま さ お 遠 山 正 朗	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義の目的は、前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力、すなわち、コンピュータを単体で活用する能力と、コンピュータをネットワーク上で活用する能力を身に付けてもらうことです。それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方の確認から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方、そして処理した情報の発信の仕方まで、段階的に学習していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りです。
- (1～2) プレゼンテーションソフトの基本操作
  - (3～4) プレゼンテーションソフトによる資料作成
  - (5～6) 企業に関する情報の収集・処理
  - (7～8) インターネットの活用による企業の情報の収集・処理
  - (9～10) 表計算ソフトによるデータの応用的処理
  - (11) 情報発信に向けた基本的言語の理解
  - (12～13) 情報発信のためのホームページ作成

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%  
レポート50%

教科書

特に指定しません。必要に応じてレジュメ等を配布します。

参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 I	ぼう 包                      しゅう 捷	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生活及びビジネスの場面で必要不可欠のコンピュータの活用能力を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義の内容：（１）Excelによるデータの活用（統計分析、データ抽出、グラフ作成）；（２）プレゼンテーションの作成；（３）各種ソフトウェアの連携利用；（４）インターネットとWWWの仕組み；（５）Webサイトの作成

履修上の留意点

1回休むと、次回の実習内容が分からなくなるので、基本的には毎回出席すること。

成績評価の方法

毎回の授業で、出席の確認として、課題を提出していただく。出席状況、課題の提出状況及び完成度から評価を行う。

教 科 書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ〔第2版〕』（サイエンス社）2,150円

参 考 書 等

必要に応じて参考図書を紹介する。

そ の 他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 I	よ だ                      きよし 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は（１）表計算（エクセル）（操作法、表計算、グラフ）（２）www-ワープロ-エクセルの連携（アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析）（３）HPの作成（HTML言語でHPを作成）（４）パワーポイント入門

履修上の留意点

本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）50%、レポート50%。毎回の課題はメールで提出する。

教 科 書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ〔第3版〕』（サイエンス社）2004年1,995円

そ の 他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習では、WORDを使った情報整理能力と英語の読解力の育成を図りつつ、経済社会学の基礎的学習に取り組みます。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、WORDの基礎的な操作方法、およびノートとレポートの作り方の基本について学習し、課題図書の内容とレポートを作成します。後期には、作成したノートとレポートを利用し、課題図書の学習に取り組みます。課題図書の学習にさいしては、報告レジュメを使った報告の仕方について学び、さまざまな角度から討論をするなかで参加者のディベート能力を磨いてゆきます。夏には3年生との合同合宿を行います。なお、2年次には、高校の政治・経済レベルから、経済社会学の基礎理論をあわせて学びます。

履修上の留意点

演習参加者の問題意識をふまえて3、4人の班を編成し、班ごとの補習を行います。補習では、インターネットを通じて入手したFinancial Timesの最新記事を読むことにより、英語の読解力の育成を図ります。また、補習も含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。

教 科 書

WORDの学習のために『超図解WORD2002(基礎編)』(エクスメディア、950円)を使用し、その他の課題図書は演習参加者の問題意識を聞いたうえで決定します。また、2、3年次の学習用テキストとして、『ノートの作り方』と『レポートの作り方』を配布し、使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に(すでに3級に合格している者は2級にむけて)これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ(報告要旨)にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教 科 書

開講後、指示する。

参 考 書 等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小沢利久	経営A2選	4

#### 講義のねらい

人は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシーについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数学モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などの経営科学の基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）を Excel 上で行うためのやや高度な Excel の使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるための企業紹介の発表会などを行います。

#### 履修上の留意点

演習については、演習Ⅱ（3年生）、演習Ⅲ（4年生）と継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅱ及び演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

専門教育  
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	各務洋子	経営A2選	4

#### 講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、（1）高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。

（2）多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。（3）生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、経営環境、経営戦略、経営者の役割など、経営学の基本を研究する。テキストを精読し、担当者がレジュメを作成し、報告。質問者数人を中心に議論する。理論研究と並行して、現実の企業研修に利用されているビジネス・シミュレーション・ゲーム（企業経営の模擬実験）をチームに分かれて行う。会社の創立から、株主総会の開催（ゲームの最終段階）、経営幹部反省会（コンパ）まで、企業経営の一連の流れを体感し、意思決定の難しさ、チームワークの重要性を実感してもらう。後期の業界研究では、チームに分かれ、実際の企業訪問、インタビューを通じた生の情報を収集。データの分析方法、グループでの効果的にプレゼンテーションの力を養う。

#### 成績評価の方法

ほぼ毎週の小レポート。年度末のグループワーク：ゼミ論（業界構造分析）提出。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

#### 教科書

伊丹敬之・加護野忠男著「ゼミナール経営学入門」日本経済新聞社他、年に数冊。

#### その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かしまひであき 鹿嶋秀晃	経営A2選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んできます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教 科 書

参考までに以下は昨年のテキスト例。宮内健『働き方働かせ方』、鹿嶋敬『男女共同参画の時代』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、森一夫『日本の経営』、大久保幸夫『新卒無業』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介。

そ の 他

履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かたぎりのがお 片桐伸夫	経営A2選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

2年次（演習Ⅰ）では、6月は日商簿記検定2級（or1級）、11月は2級（or1級）にチャレンジしてもらいます。

そ の 他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接（志望理由書（500字程度）事前提出）とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	兼村栄哲	経営A2選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の6つを主な内容としている。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に1・2回、4～5人のグループで、マーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらおう。
- (3) 4～5人のグループで業界研究をしてもらい、A4版で100枚以上のレポートにまとめよう。また、その概略を冬合宿で発表してもらおう(1泊2日の予定)。
- (4) 夏休みに工場見学を予定している(2泊3日の予定)。工場見学後に、その内容についてのレポートを課したり、試験をおこなう。
- (5) 駒澤大学内で開催される「G-Planning Contest」に参加してもらおう。
- (6) 電通主催の学生懸賞論文を提出してもらおう。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を図ること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず、その旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

専門教育  
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	鈴木幸毅	経営A2選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。

〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業の概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任(増補版)』中央経済社(平成6年)  
同 『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会(平成11年)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	高 井 徹 雄	経営 A 2 選	4

講義のねらい

IT (情報技術) が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- (1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- (2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- (3) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力
- (4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意志決定の問題に、科学的・システマ的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

- 4～7月：情報リテラシ……文書、HTML 文書作成、スプレッドシート基礎・応用  
 6月：ソフトシステム方法論……演習Ⅱと合同ゼミ合宿、SSM で社会的問題を扱う  
 9～12月：計算機言語……スプレッドシートマクロ、Delphi プログラミング

履修上の留意点

合宿などの課外活動も含め、主体的に参加されることを期待します。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

専 門 教 育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	高 木 克 己	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。(すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。)

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	滝 田 公 一 <small>たき た こう いち</small>	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。  
 [1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』（有斐閣ブックス）1998（2,500円）  
 文献 [1] は、「企業とは何か？それはどのように経営されているのか？」と言う問題を幾つかの現実の事例（例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など）をとうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告（例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきませんが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましよう、など）をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習 I の狙いの一つです。  
 また、文献 [1] とあわせて、代表的な表計算ソフトである Excel を使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	長 国 強 <small>なが こ きょう</small>	経営 A 2 選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I（2年生）：WORD と EXCEL…コンピュータ初心生のために  
 初心生にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を学んだ後、コンピュータ上の代表的なワープロソフト-WORD と表計算ソフト-EXCEL をマスターできるよう、実際の文章や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

演習 I の選抜方法は自己紹介文（A4、1枚）と面接によって行う。  
 演習 I は学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的にかつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営 A 2 選	4

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なか むら こう いち 中 村 公 一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I (2年生)

前期；経営戦略論に関する入門書の購読＋資料などの調査方法、企業研究・分析  
後期；現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践  
合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なが た とも のり 永 田 智 則	経営 A 2 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。  
近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。  
当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の關係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習 I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるよう心がける。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科 専  
門 教  
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	にし むら かず お 西 村 和 夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）  
面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。  
“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習 I

- ・タッチタイプ
- ・書誌情報の検索のしかたと検索演習 欄 リポートや論文の作成に役立つ。
- ・言語によるプログラミング
- ・問題の発見と解決
- ・コンピュータの基礎知識
- ・論文の読み方と発表のしかた（1）

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに  
演習 I：タッチタイプ、検索課題、レポート

参考書等

- [1] R.Graham,D.Knuth and O.Patashnik, *Concrete Mathematics*, Addison - Wesley, 1989.  
[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	羽 鳥 茂 <small>は とり しげる</small>	経営 A 2 選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002  
1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	羽 田 尚 子 <small>はねだ しやうこ</small>	経営 A 2 選	4

講義のねらい

演習 I、II、IIIを通じ、自分の興味あるテーマをデータを使って解析し、その結果から新たな発見を導けるようになるのがこの演習の目的です。演習 I では分析に使うソフトウェアの使い方を覚えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

ソフトウェアを使った実習が中心です。データの扱い方、Excel やテキストエディタの基礎的な使い方を覚えた後、統計ソフトウェア TSP、DEA Solver を使った分析手法の実習を行います。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習し、ソフトウェアの使い方に慣れてもらいます。結果と考察はレポートにまとめ、定期的に提出してもらいます。

履修上の留意点

演習 I、II、IIIと継続して受講することを前提としています。無断欠席は厳禁です。

成績評価の方法

出席状況、課題の提出状況、理解度により総合的に評価します。

教 科 書

最初の授業で紹介します。適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

箕谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（多賀出版）、白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』

そ の 他

「計量経済学」を同時に履修すると、理解度が上がると思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひの けん た 日 野 健 太	経営 A 2 選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことではできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといつてよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。  
演習 I では、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。  
必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。  
学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教 科 書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習 I で読破した本は、以下の2冊である。  
伊丹敬之『経営戦略の論理』  
佐藤博樹・玄田有史『成長と人材』

参 考 書 等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『市場占有率』は、ある市場でどんな企業が強いのか知りたいときに役立つ。

そ の 他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。  
無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふじ かわ あつ し 藤 原 篤 志	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

2年生（演習 I）では、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みやぎ 徹	経営A2選	4

講義のねらい

演習 I (2年)

ゼミ生は、ゼミナールという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなか一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響をあたえあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのだからなければならないのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの2年次と3年次のゼミ生は、それぞれ年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで3年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組として大いに役立つと思われる、諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、2年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」であると同時に、3年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献(邦訳書)を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	やま だ じゅん べい 山 田 純 平	経営A2選	4

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する。後期は、国際的な会計基準の動向を批判的に検討するために、さらに専門的なテキストを読む。あるいは、日本において会計上注目されるケースをとりあげて、会計の立場から検討を試みる。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営A2選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。  
2年次……私の財務会計論の講義を受講しながら、日商簿記検定試験2級（工業簿記および商業簿記）を学修する。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 史	なか がわ じゅん ぺい 中 川 淳 平	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

配布するプリントに適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営A・経営B2・3・4履	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2005年度「アメリカ経営学」授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

#### 履修上の留意点

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）

8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A.Picot u.a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ経営学	高橋成夫 <small>たか はし しげ お</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
  - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
  - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
  - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
  - (1) 意思決定志向的経営経済学
  - (2) システム志向的経営経済学
  - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）  
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科 専  
門 教  
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	鈴木幸毅	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
  - (1) テイラーの科学的管理論
  - (2) 管理過程論 (職能論)
  - (3) 管理構造論 (組織論)
- 2 新古典的理論
  - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
  - (2) 行動科学的管理論
  - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
  - (1) バーナード革命
  - (2) 組織論的管理論
  - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
  - (1) 環境適応的管理論
  - (2) 戦略的管理論
  - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

成績評価の方法

定期テスト結果に、夏期課題レポートの成績を加味して評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』(税務経理協会) 2001年4月(前期)  
後期は、別の教科書を使う。

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』(税務経理協会) 1998年  
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』(税務経理協会) 2001年6月

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営組織論	ひのの 野 健 太	経営A・経営B2・3・4履	4

#### 講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うマイクロ組織論に大別される。ここでは、マイクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

科 専  
門 教  
目 育

#### 履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

#### 成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

#### 教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

#### 参 考 書 等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）

田尾『モチベーション入門』（日経文庫）

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	かしまひてあき 鹿嶋秀晃	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生産管理論	ふじ わら あつ し 藤原篤志	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

生産管理は製造企業における一経営活動である生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。そしてそれは機能別・職能別に様々な管理・活動から構成されている。

本講義では様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説する。また企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げて解説したい。

また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

後期では、まず生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説する。その他、生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う予定である。その他、時間があれば、新たな生産方式（セル生産方式やモジュール生産方式）についても取り上げる。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

科 専  
門 教  
育 目 録

#### 履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

#### 成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

山下高之『体系生産管理論』（中央経済社）1990年  
その他、講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	かね むら さい てつ 兼 村 栄 哲	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

専  
門  
教  
育  
目

講義の内容・  
授業スケジュール

[オリエンテーション]

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
  - ・経済的懸隔の意義と内容
  - ・マーケティングの2義性

[マクロ・マーケティング論]

- 1) 流通機能
  - ・流通機能の意義と領域
  - ・流通フロー
- 2) 流通機構
  - ・流通機関の意義と内容
  - ・卸売業者の意義と分類
  - ・小売業者の意義と分類
  - ・流通の客体
  - ・流通機構を取り巻く環境
  - ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
  - ・商業者の存立根拠
  - ・流通における商業者の地位の後退
  - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

[ミクロ・マーケティング論]

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
  - ・経営戦略
  - ・マーケティングの役割
  - ・マーケティング・コンセプト
  - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
  - ・マーケティング管理過程
  - ・環境分析
  - ・市場細分化
  - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
  - ・市場の2義性
  - ・消費財市場と産業財市場の比較
  - ・市場構造
- 4) 製品政策の領域
  - ・製品の意義
  - ・製品ミックス
  - ・新製品の意義
  - ・新製品開発プロセス
  - ・製品ライフ・サイクル
  - ・製品廃棄と計画的陳腐化
  - ・ブランドの意義と役割
  - ・ブランドの分類
- 5) 価格政策の領域
  - ・価格の設定方法
  - ・新製品導入時の価格設定方法
  - ・価格の管理方法
- 6) チャネル政策の領域
  - ・チャネル・タイプ
  - ・チャネルの構築方法
  - ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション政策の領域
  - ・広告活動
  - ・人的販売活動
  - ・販売促進活動
  - ・パブリシティ活動
- 8) 市場調査活動

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教 科 書

開講時に指定する。

## 参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年  
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年  
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（改訂版）（同文館）2003年  
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

## その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論－とくに、「2）流通機構 ・ 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論－とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 ・ 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学－とくに、「3）市場概念 ・ 市場の2義性」、「同 ・ 市場構造」、  
「5）価格政策の領域 ・ 価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計－とくに、「8）市場調査活動」において。

科専  
門  
教  
育  
目



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高田光明	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	なかむらこういち 中村公一	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

1. 経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学説的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）
2. 企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略・社内ベンチャー、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グローバル戦略など）
3. 企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；バリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

#### 履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

留意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

#### 教科書

授業中にレジユメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

#### 参考書等

- ・中村公一『M&A マネジメントと競争優位』（白桃書房）
- ・経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝池『経営戦略』（有斐閣）が役に立つだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
企業形態論	かがみ ようこ 各務洋子	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、歴史的発展の過程、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質を学び、現代社会における企業行動の理解を深める。企業に関する時事ニュースも同時に取り上げ、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

取り上げるテーマは以下の通りである。

1. 企業論と企業形態論：企業概念（企業理論への道程）
  - ・企業法律形態（個人企業、組合企業、会社企業）
  - ・企業形態の本質的意味・企業の資本調達メカニズム
2. 単独出資者の企業：経済形態としての個人企業
  - ・法律形態としての個人企業・個人企業の実態
3. 少数出資者の企業：少数集団企業の特質（人的集団企業と混合的集団企業）
  - ・合名会社と合資会社の制度と本質・有限会社の制度と本質
4. 出資者多数の企業：株式会社
  - ・株式会社制度の特質・株式会社制度の歴史的変遷・株式会社の実態
  - ・株式会社とガバナンス（コーポレート・ガバナンスの意味、ガバナンス論争の背景、ガバナンス制度導入の実態—執行役員制度、持株会社制度等）
5. 株式公開会社と資本市場：株式公開の意味、企業成長と市場評価
6. 株式会社のトップ・マネジメントの制度と実態：日本のトップ・マネジメント組織
  - ・株主総会・取締役会・監査役会・執行役員と取締役会改革・諸外国のトップ・マネジメント制度とその実態
7. 中小企業の企業形態：中小企業の特質
  - ・中小企業の類型化・下請け企業・ベンチャー企業、地域における中小企業集積・中小企業の組織化・組合制度の現状と課題
8. 企業結合の諸形態：市場経済における企業結合の必要性
  - ・企業の境界と取引費用・企業結合形態の多様性・企業結合形態の国際比較・M&Aと戦略的提携
9. 企業の国際化と多国籍企業：企業の国際化の背景と推移
  - ・多国籍企業の戦略と組織・国際化と経営課題
10. 公企業と公的サービスの供給方法の多様化：公企業の本質
  - ・公企業の存在意義と固有の属性・公企業の経営原則・公企業の経営形態・公的サービスの供給方法の多様化
11. 公企業の民営化：民営化の概念
  - ・世界的潮流としての民営化とその背景、目的
  - ・日本の公企業民営化

#### 科専 門教 育目

#### 成績評価の方法

年2回の定期試験と、講義の終わりに小レポート（複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）、前期試験（30%）、後期試験（40%）によって総合評価する。

#### 教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年  
その他、参考文献は適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	すが や みのる 菅 谷 実	経営A・経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)  
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)  
〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)  
〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPO の役割 (1)
15. まとめ (1)

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教 科 書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参 考 書 等

講義の必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 史	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
  - II. 企業経営発達史
    - 1. 企業経営の生成  
商人資本の経営、マニファクチュア経営
    - 2. 企業経営の確立  
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
    - 3. 企業経営の発展  
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
    - 4. 企業経営の変容  
大企業体制の動揺と新傾向
- 以上のうち、前期において企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おおしまひさゆき 大島久幸	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場(1) 12. 専門経営者の登場(2) 13. 前期のまとめ
- 【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』(新曜社)1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』(有斐閣)1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』(税務経理協会)2002年。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	<small>いしなざのくにあき</small> 石名坂 邦 昭	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学のアプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 経 営 論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と不良債権問題
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教 科 書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財外国為替貿易研究会)2001年 2,700円

参 考 書 等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社)2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社)2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社)2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社)2003年 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業経営論	いし かわ かず お 石 川 和 男	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（事業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）事業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）事業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に事業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能Ⅰ（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能Ⅱ（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 小売マーケティングの事例
- 11 卸売とその営業形態
- 12 卸売業の構造と変化
- 13 卸売マーケティング
- 14 卸売マーケティングの事例
- 15 予算管理と販売管理
- 16 商品回転率と価格政策
- 17 仕入管理と売買契約
- 18 在庫管理
- 19 消費者行動の変化
- 20 商業立地と商業集積
- 21 商業・流通を取り巻く法的環境
- 22 流通政策Ⅰ（競争政策と振興政策）
- 23 流通政策Ⅱ（調整政策）
- 24 中小零細事業者問題
- 25 中小零細事業者の将来
- 26 日本の商業環境と商慣行Ⅰ
- 27 日本の商業環境と商慣行Ⅱ
- 28 これまでの講義のまとめ

#### 履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
- 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
- 3 他人との会話などを授業中はしない
- 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
- 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）

#### 成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点）約30%、中間レポートまたは中間試験約30%、期末試験約40%

#### 教科書

特に指定しない

#### 参考書等

石川和男『基礎からの商業と流通』（中央経済社）2004年  
鈴木安昭『新・流通と商業（第3版）』（有斐閣）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級簿記	たなべ ただし 田辺 正	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現金預金取引
2. 銀行勘定調整表
3. 有価証券
4. 手形取引
5. 引当金
6. 特殊商品売買取引
7. 固定資産
8. リース
9. 社債
10. 本店支店会計
11. 合併
12. 連結会計

履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著「財務会計講義」（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	猿山義広 <small>さる やま よし ひろ</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方や計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画における CVP 分析 I
- 第5回 短期利益計画における CVP 分析 II
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量 (EOQ) の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算 (ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バランスド・スコアカード (BSC)
- 第17回 業務的意思決定 I
- 第18回 業務的意思決定 II
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定 I
- 第21回 設備投資の意思決定 II
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

科専門  
目教育

#### 履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

#### 成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

#### 教科書

テキストは開講時に指示する。  
例題および練習問題は授業中に配布する。

#### 参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。  
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

#### その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	阿部 一人	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
 もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

専門教育目

講義の内容・授業スケジュール

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1) | 10. 監査人               |
| (1) 監査の必要 (2) 監査の意義    | 11. 監査証拠              |
| (3) 監査の対象              | 12. 監査計画              |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2)      | 13. 内部統制              |
| (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷  | 14. 試算                |
| (3) 監査の効用              | 15. 監査技術と監査手続         |
| 3. 監査の機能               | 16. 監査調書              |
| 4. 会計上の誤謬と不正           | 17. 監査報告書             |
| 5. 監査の種類               | 18. 連結財務諸表の監査         |
| 6. 会計監査と財務諸表監査         | 19. 中間財務諸表の監査         |
| 7. 我国の監査制度             | 20. システム監査            |
| (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査   | 21. 国際監査基準            |
| (3) その他の監査制度           | 22. 現代監査論の動向          |
| 8. 監査基準 (1)            | (1) 監査概念の拡大化          |
| (1) 必要性 (2) 生成と展開      | (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2)            |                       |
| (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準 |                       |
| (4) 実施基準 (5) 報告基準      |                       |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
 山根忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原 価 計 算 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営A・経営B2・3・4選	4

### 講義のねらい

この講義の目的は原価計算の基本的な考え方と各種試験における原価計算問題の解き方を理解してもらうことにある。講義科目としての「原価計算論」は財務会計と管理会計に共通する基礎科目であり、会計学分野の演習を受講する学生であれば、できるだけ早期に履修しておくことが望ましい。また近年、製造原価の問題はコスト・リーダーシップの問題として経営戦略においても重視されるようになってきていることから、経営学分野の演習を受講する学生にとっても有意義な講義になると思われる。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義は日商簿記検定2級工業簿記で取り扱われている原価計算の内容を基本とするが、原価計算制度に関しては1級原価計算で取り扱われる題材も含むものとする。小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 原価の概念と原価計算の基礎
- 第2回 原価計算と工業簿記Ⅰ
- 第3回 原価計算と工業簿記Ⅱ
- 第4回 材料費の計算Ⅰ
- 第5回 材料費の計算Ⅱ
- 第6回 労務費の計算Ⅰ
- 第7回 労務費の計算Ⅱ
- 第8回 経費の計算
- 第9回 製造間接費の計算Ⅰ
- 第10回 製造間接費の計算Ⅱ
- 第11回 部門費の計算Ⅰ
- 第12回 部門費の計算Ⅱ
- 第13回 個別原価計算Ⅰ
- 第14回 個別原価計算Ⅱ
- 第15回 単純総合原価計算Ⅰ
- 第16回 単純総合原価計算Ⅱ
- 第17回 等級別総合原価計算
- 第18回 組別総合原価計算
- 第19回 工程別総合原価計算
- 第20回 副産物の処理
- 第21回 標準原価計算Ⅰ
- 第22回 標準原価計算Ⅱ
- 第23回 直接原価計算Ⅰ
- 第24回 直接原価計算Ⅱ

### 科 専 門 教 育 目

### 履修上の留意点

講義では当然、理論的背景も述べるが、その重点は原価計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。講義の進度は比較的速い。また、うんざりするほどではないが、練習問題をかなり大量に解くので、授業中は集中力が持続するよう努めてほしい。

### 成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

### 教 科 書

講義は大蔵省企業会計審議会『原価計算基準』(1962)に従って進める。また、初心者には次のテキストを購入しておくこと(すでに日商簿記2級を取得している者は、その必要はない)。  
岡本清・廣本敏郎『段階式日商簿記2級工業簿記』税務経理協会。  
例題および練習問題は授業中に配布する。

### 参 考 書 等

これさえあれば困らないという本を1冊だけ挙げておく。  
岡本清『原価計算〔六訂版〕』国元書房。

### そ の 他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たかき かつみ 高 木 克 己	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片桐伸夫	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国際会計論	山田純平 <small>やま た じゅん ぺい</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

近年、企業活動の国際化に伴い、会計の分野においても急速な国際化が進みつつある。このような状況をふまえ、本講義では、①会計で国際的視点が必要とされる理由、②国際的な会計基準の動向とその背景となる考え方、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 企業活動の国際化と会計（会計に影響を与える要因、会計の役割と様々な会計モデル）
- 2 国際的な会計基準の動向（金融商品、業績報告、企業結合、概念フレームワーク、基準設定主体など）
- 3 多国籍企業の財務諸表分析

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とする。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説する。

成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

教科書

ミューラー他（野村健太郎他監訳）『国際会計入門《第4版》』（中央経済社）1999年

参考書等

教科書の内容は少し古くなっているため、授業中に補足資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水昇 <small>はや み のぼる</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	わた なべ 渡 部 訓	経営A・経営B2・3・4履	4

#### 講義のねらい

本講義は、担当技官の日本銀行、BIS、預金保険機構における金融実務経験を踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

講義の狙いとしては、①金融の基礎からスタートして、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引に亘る幅広い応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを構築するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関する BIS 規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリタイゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェイスを図ることを目標としています。

- （前期）下掲の教科書を中心に、上記①の金融の基礎および応用分野を理解する前提となる理論的なフレームワーク習得に向けた説明を行います。
- （後期）前期の後半部分を説明した後、上記②に関する問題提起と問題解決に向けた議論を行います。

#### 履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

#### 成績評価の方法

前期末に中間レポートの提出を課すほか、後期末に筆記試験を行います。

#### 教科書

黒田見生著『入門金融（第3版）』（東洋経済新報社） 2,300円

#### 参考書等

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行その機能と業務（増補版）』

#### その他

毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	なが た とも のり 永 田 智 則	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁でいることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は現実生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

仙頭佳樹著『最もやさしい国際経済学』（多賀出版）2,800円

参考書等

随時必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は 羽 鳥 茂 <sup>とりしげる</sup>	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

#### 成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

#### 教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

#### 参 考 書 等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

#### そ の 他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	佐 藤 昇 <small>さとうのぼる</small>	経営A・経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて遠くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤昇ほか著『入門 現代の証券市場 (第2版)』(東洋経済新報社) 2,800円

参 考 書 等

授業中に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	呉 逸 良	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。  
 (1・2) 統計学の基礎知識 (I)  
 (3) 統計学の基礎知識 (II)  
 (4～8) 単純回帰モデル  
 (9～11) 重回帰モデル  
 (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I)  
 (後期) TSP を利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSP の扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSP を用いて演習を行う。  
 (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)  
 (15・16) TSP の基礎および練習  
 (17・18) Chow Test と予測  
 (19・20) ダミー変数  
 (21～23) 系列相関  
 (24～) 復習・授業中試験

科専門  
教育  
目録

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)

参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)  
 蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)  
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエービー出版)  
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)  
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)  
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel と TSP 入門』(多賀出版)  
 縄田和満『TSP による計量経済分析入門』(朝倉書店)  
 和合肇、伴金美『TSP による経済データの分析』(東京大学出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イノベーション論	はねだしょうこ 羽田尚子	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義ではイノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるのか、どのような主体が関わっているのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといったイノベーションを理解するうえで重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発や改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。

講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。

- ・イノベーションとは何か、その特質や役割
- ・企業戦略におけるイノベーションの役割
- ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策
- ・ベンチャー企業とイノベーション
- ・イノベーションにおける大学の役割、TLO 事業
- ・ナショナルイノベーションシステム
- ・日本のイノベーションシステムの課題と展望

履修上の留意点

一次関数、二次関数、連立方程式などの初歩的な数学を使う（その都度解説は入れる）。

経済学の基本的な知識があると望ましい。

第一回目の講義で、数学の QUIZ および講義内容に関する簡単なアンケートを実施する。これらは受講生の理解度を把握し、講義内容に反映させる目的で実施するので、評価には関係しない。

成績評価の方法

試験（前期末、後期末の2回）と宿題（計算や小レポート：前期後期計8回）を実施する。試験60%、宿題40%により評価する。

教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2,800円

参考書等

小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）  
後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

その他

前期期末試験を受けなかった者は、評価対象外とするので注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	わたなべ あらた 渡 辺 新	経営A・経営B2・3・4選	4

### 講義のねらい

経済史には、大別して二つのタイプがある。第1は、原始古代から現代に至る経済史の諸段階について、それぞれの時代の解明に独自の意義を認め、諸時代を取り扱っていくタイプである。第2は、その主要な対象を資本主義の歴史に置き、その理解に必要な限りでごく簡単に前近代にもさかのぼるといふタイプである。この講義では、前期に第1のタイプを行う。この日本列島に、私たち人類が住み始めてから数万年の歴史が経過しているが、人びとが生活し、社会を形成し、国家を構成している以上、そこには社会経済的な営みは行われている。資本主義経済に先行する社会ではどのような経済構造であったのか、また私たちが住む資本主義経済をどのように生み出してきたのか、それを解明するのが前期の講義内容ならびに目的である。しかし、経済学の主たる対象が現代経済（資本主義経済）にあるのだから、経済史もその認識を深めるために資本主義の歴史を扱わなければならない。そこで、後期は日本資本主義の発達史を検討する。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。後期の講義では、日本の資本主義経済を歴史的にみていくことによって現代日本の歴史的位を考えていきたい。そして、前・後期の講義を通じ、経済史の基礎知識、歴史的な考え方を学べるようにしていきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 【前期の主要講義内容】

- (1) 狩猟採集経済と農業生産の始まり
- (2) 律令国家の社会経済システム
- (3) 戦国大名の経済政策と太閤検地
- (4) 幕藩制国家の社会経済構造
- (5) 明治維新の社会経済構造

#### 【後期の主要講義内容】

- (1) 日本の産業革命
- (2) 政商と財閥
- (3) 地主制の構造
- (4) 大正デモクラシーの社会経済構造
- (5) 昭和恐慌と高橋財政
- (6) 十五年戦争下の日本経済
- (7) 敗戦と戦後改革
- (8) 高度経済成長の歴史構造

### 履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

### 成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

### 教科書

特に指定しない。

### 参考書等

そのつど指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅱ	飯田 哲夫	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

情報技術の発展に伴い、企業は大量の情報・データを蓄積してきており、企業経営においてそれらを如何に有効に活用するかが、ますます重要となっている。そして、蓄積された大量のデータから有用な情報を取り出すために、コンピュータを用いた情報処理およびデータ分析がなされている。本講義では、Excelを用いたデータ分析の方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を予定している。順序は入れ替わることもある。

1. データ整理（各種グラフの作成）
2. ピボットテーブル
3. 統計関数、財務関数、論理関数
4. 回帰分析
5. ゴールシーク、ソルバー

履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Ⅰを履修していることを前提として授業を行う。授業は演習中心で行う。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況により評価する。

教科書

必要に応じて指定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅱ	宇谷 明秀	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義（6～7回）  
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習（5～6回）  
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておくが良い。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅲ	飯田哲夫	経営A2・3・4選	2

#### 講義のねらい

アプリケーションソフトの基本的な機能だけでは実行できない、または実行し難い、操作をコンピュータに実行させるとき、プログラムを書いて対応することができれば便利である。本講義では、Excel上のVBAを用いてプログラミングの初歩を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を予定している。順序は多少入れ替わることもある。

1. VBA 概要
2. プログラミング入門 (変数、配列、関数、オブジェクトなど)
3. プログラムの基本構造 (繰り返し、条件分岐など)
4. VBA 実践 (セル操作、シート操作、グラフ操作など)
5. ユーザーフォーム

#### 履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Ⅰを履修していること、それから、Excelの基本的知識を前提として授業を行う。授業は演習中心で行う。

#### 成績評価の方法

レポートおよび出席状況により評価する。

#### 教科書

必要に応じて指定する。

#### 参考書等

必要に応じて紹介する。

#### その他

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録をしてください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科専  
門  
教  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 応 用 Ⅲ	宇 谷 明 秀 <small>う たに あき ひで</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義（3～4回）  
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。
2. プログラミング技術の講義（4～5回）  
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発（3～4回）  
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておく和良好的。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教 科 書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

科専  
門教  
育  
目

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

[関連科目] → 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 科 学	小 沢 利 久 <small>お ざわ とし ひさ</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な問題を解決し、合理的な意思決定を支援するための科学的な方法の提供を目的とした学問分野であり、対象を数学モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴がある。この講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について簡単な例を通して学んでいく。また、必要に応じてコンピューターを用いた分析の実演を行う。ただし、コンピューターを用いた実習は行わない。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、最適化のための手法（線形計画法、ネットワーク計画法）と意思決定のための手法（AHP、DEA、ゲームの理論）を扱う。最適化問題の例としては生産計画問題があるが、これは限られた資源量の下で利益を最大化する方法を求める問題である。ゲームの理論では、競争下における最適な戦略について考えていく。後期は、不確実性を伴う状況下での意思決定と問題解決手法を扱う。例えば、オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んだ分析法を示す。待ち行列理論では、不規則に発生するサービス要求を処理するためのコンピューターシステムなどを解析する。以下は今年度の講義予定である。

前期

1. 線形計画法：定式化、図による解法、感度分析、Excel ソルバーを用いた解法
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. 意思決定の手法：階層的意決定法（AHP）、データ包絡分析法（DEA）
4. ゲームの理論：ナッシュ均衡、有限ゼロ和2人ゲーム

後期

5. リスクの下での意思決定：効用関数とリスク、情報の価値
6. オプションの価格付け理論：コールオプション、1期間モデル、裁定定理、ブラック・ショールズのオプション評価式
7. 在庫問題：経済的発注量、発注点方式、定期発注方式
8. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/S モデル

履修上の留意点

- ・適宜プリントを配付する。ただし、プリントだけで内容を理解することは困難である。
- ・理解を深めるために適宜演習を行う。
- ・経営数学と経営科学概論を先または同時に履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教 科 書

必要に応じて指定する。

参 考 書 等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）  
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I、II』（朝倉書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
システム論	宇谷明秀	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピュータシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

科専門教育  
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	山内慎二	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回  
 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回  
 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回  
 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回  
 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回  
 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回  
 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回  
 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回  
 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回  
 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001 1,500円（税別）

参考書等

数値表としての参考書：  
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）  
 P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,650円（税別）

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合もあります。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ 長 国 強 <small>きょう</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法 I (総則・物権法)	す 須 賀 昭 徳 <small>あき のり</small>	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、ひとつの基本的となる知識をもてるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

- ①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

- ①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第3版）（有斐閣）2,000円

参考書等

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法Ⅰ（総則・会社法）	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

商法という法領域の特質を概観した後、近時、改正が激しい株式会社法を中心に講義します。株式会社、企業活動をする上で、もっとも洗練された会社組織として広く経済社会に定着しています。株式会社がどのような組織として制度化され、そこにはどのような問題が生じているのか、株式会社法の基本的な内容を概観する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

まず、商法の意義とその特色を民法の対比で簡略に見た後、1 会社法総論（会社の意義、種類、会社の法的特質と固有の問題）を見ます。ここでは、特に株式会社の特徴を押さえたいと思います。ついで、2 株式会社の設立（株式会社を作るには、どのような手続が必要とされ、そこにどのような法的問題があるか）、3 株式制度（株式の意義、種類、単位、株式の譲渡）に入ります（途中で、夏季休暇に入るでしょう）。そして、株式会社の組織—株主総会、取締役・取締役会・代表取締役、監査役、委員会等設置会社を見ることにします。

履修上の留意点

平成17年版六法を必ず持参して、授業に臨んでください。また、言うまでもないことですが、授業中の私語は厳禁です。なお、原則として、毎回出席を取る予定です。

成績評価の方法

期末試験のペーパー試験の結果で評価します。出席を取る場合には、出席状況も考慮します。

科専  
門  
教  
育  
目  
録



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	藤 本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経営A・経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教 科 書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参 考 書 等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

そ の 他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税 法	おくむらまさろう 奥村正郎	経営A・経営B2・3・4選	4

#### 講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下のようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャウプ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

科 専  
門 教  
育

#### 履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

#### 成績評価の方法

出席、小テスト、期末試験により評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

速水昇他著 仮題『政府の役割と租税』（学文社）

#### 参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

#### その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	あかしひろゆき 明石博行	経営A3選	4

講義のねらい

本演習では、3年次の共通研究テーマである多国籍企業の研究を中心に、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析における EXCEL を利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。そのうえで、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしぼってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、EXCEL および PowerPoint の操作能力を育成しつつ、2年次とは異なる方法による課題図書ノート、および決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書ノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、多国籍企業にかんする学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、時事問題の報告と討論が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点

班ごとの補習を行いながら、班による学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせることでゆきます。補習では、Financial Times の最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書

多国籍企業にかんする課題図書とともに、EXCEL の学習のために『超図解 EXCEL2002 (基礎編)』(エクスメディア)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEI NET・景気ウォッチの活用法』と『決算書分析の基本』を配布し、使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	あべかずひと 阿部一人	経営A3選	4

講義のねらい

演習Ⅰに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、卒業論文としてまとめたテーマを選定し、研究計画書(テーマ、理由、枚数など)を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

広瀬義州著『財務会計』(白桃書房) 3,500円

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯田哲夫	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。

その際、コンピュータの利用は必須となります。

この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

最初の授業のときに紹介します。

専  
門  
教  
育  
目  
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	石名坂邦昭	経営A3選	4

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでほしい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	小 沢 利 久	経営 A 3 選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数学モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表して解析していくための手法について学ぶとともに、VBAによるプログラミングなどより高度な Excel の使い方について学んでいきます。具体的な内容としては、多変量解析などによるデータ分析やコンピューターシミュレーションを扱う予定です。また、プレゼンテーション能力を高めるためのビジネス企画発表会などを行います。

履修上の留意点

演習については、演習Ⅲ（4年生）を継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前または並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	各 務 洋 子	経営 A 3 選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1) 高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2) 多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3) 生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、演習で学んだ経営学の基本を中心に、企業理論を深める。テキストを精読、レジュメを作成し、報告する。更に、学習した内容を、自分の言葉で表現し直し、議論を通して深く理解することを実現するために、毎週、理論の重要なポイントをテーマとしてとりあげ、30分ディベートを実施。この独自のプログラムは、毎年夏合宿で、徹底的に身体で身に付け、演習Ⅱ&演習Ⅲでツールとして利用している。また個人研究を開始する。経営学や企業に関連した個人の興味・関心を探究することから始める。演習終了時には、取り上げたテーマについての専門家になることを目指す。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書

ゼミ内で適宜指示する。

そ の 他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	鹿嶋秀晃 <small>かしま ひであき</small>	経営A3選	4

#### 講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

#### 履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

#### 成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

#### 教科書

参考までに以下は昨年テキスト例。宮内健『働き方働かせ方』、鹿嶋敬『男女共同参画の時代』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、森一夫『日本の経営』、大久保幸夫『新卒無業』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。

#### 参考書等

演習時に適宜紹介。

#### その他

履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

専  
門  
教  
育  
目  
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かたぎり のぶ お夫 片桐伸夫	経営A3選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
  - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

3年次(演習Ⅱ)では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接[志望理由書(500字程度)事前提出]とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度)によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かねむら い てつ 兼村栄哲	経営A3選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の5つを主な内容としている。

- (1) マーケティング論に関する専門的なテキストを全員で輪読し、専門的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に2回、4~5人のグループで業界研究をしてもらい、それぞれについてA4版で10枚以上のレポートにまとめてもらう。また、その概略を冬合宿で発表してもらう(2泊3日の予定)。
- (3) 夏休みに工場見学を予定している(2泊3日の予定)。工場見学後に、その内容についてのレポートを課したり、あるいは試験をおこなう。
- (4) 駒澤大学内で開催される「G-Planning Contest」に参加してもらう。
- (5) 電通主催の学生懸賞論文を提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を図ること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず、その旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	鈴木幸毅	経営A3選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。

〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任(増補版)』中央経済社(平成6年)  
同『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会(平成11年)

その他

金曜日・1時限

専門教育  
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	鈴木幸毅	経営A3選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者(商人)の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は(毎朝夕)は必読とする。

毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で(国際的センスで)現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

金曜日・3時限



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営 A 3 選	4

#### 講義のねらい

この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めていてもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の内容は以下に示すとおりである。1つの項目について2～3人で分担して報告してもらおう。なお、必要に応じて、適宜計算問題を解いてもらう。

- 1 経営者と管理会計
- 2 企業価値創造のための管理会計
- 3 事業部制の管理会計
- 4 キャッシュ・フロー経営
- 5 経営戦略の管理会計への役立ち
- 6 中長期経営計画と予算管理
- 7 バランスト・スコアカード
- 8 損益分岐点分析と直接原価計算
- 9 標準原価計算とコスト・コントロール
- 10 コスト・マネジメント
- 11 原価企画と戦略的コストマネジメント
- 12 ABCによる経営効率の向上
- 13 物流費、販売促進費、本社費の管理
- 14 経営意思決定のための会計
- 15 戦略的・戦術的価格決定
- 16 戦略的意思決定と設備投資意思決定
- 17 企業再編と分権化の管理会計
- 18 ITのための管理会計
- 19 研究開発費の管理会計
- 20 海外事業のための管理会計

#### 履修上の留意点

演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、ワープロだけでなく、プレゼンテーション用のツールなども活用すること。

#### 成績評価の方法

割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

#### 教科書

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。  
計算問題については授業中に配布する。

#### 参考書等

項目ごとに指示する。

#### その他

演習は真面目に取り組めば生涯を通じての財産になる。1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識を身につけるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	高井 徹雄 <small>たか い てつ お</small>	経営A3選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

3年次ゼミでは、毎週の演習を通じて、また、ゼミ合宿においてはグループのリーダー役として、養ってきた能力を実践的に発揮していただく場を用意します。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めて行きます。

- 4-10月：輪読…メンバーの要望もお聞きして適切な文献を1冊選び、全員で輪読会
- 6月：ソフトシステム方法論…演習Ⅰと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
- 11-12月：ゼミ論テーマの作成

科 専  
門 教  
目 育

履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

教科書

ゼミ在籍者とも相談の上、輪読用の教科書を開講後に指定します。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	高木 克己 <small>たか き かつ み</small>	経営A3選	4

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選択したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	高田光明 <small>たか だ みつ あき</small>	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、機械、建物、原材料などの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして、調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。当演習の目的は、資本の運用面にも配慮しつつ、このテーマでの研究を通して、企業の財務活動がどのような原理・原則にもとづいて行われるべきか考察することにある。

大学でみなさんが教育を受ける目的は、自己学習能力を身に付けられるような学び方を通して、論理的思考能力を培うことにある。そこで大学では、授業をきっかけにして、関心のある分野を自発的に学習し、自ら考えながら学ぶという姿勢が肝心である。そうすれば、卒業後に、仕事上の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学んでいける自己学習能力を身に付けられるようになる。そして、そのような能力を身に付けられるようにと学ぶ過程で、物事を自分なりに筋道立てて考える力が育ってくるはずである。演習では、通常の授業よりも深く掘り下げた学び方をしてもらおう。そのため、主体的・自発的に学ぶことが何よりも求められる。したがって、この大学教育目的を達成するための経験を積める場所として最適なのが、演習の授業であるといえる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的進め方としては、まず、基礎的知識の体系的理解を図るために、企業財務に関する入門書レベルの文献の共同研究から始める予定である。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって、企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	滝田公一 <small>たき た こういち</small>	経営A3選	4

講義のねらい

本年度は、文献[1]のほかに、代表的なデータ処理ソフトである SPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトである SAS がどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSS は、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国の National Opinion Research Center によってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査 General Social Survey を分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSP といった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing model や、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ながこ 国強 <small>きょう</small>	経営A3選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析WORDとEXCELの入門を既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信できることにあると思う。演習Ⅱの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるはずの市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく分析する。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅱの新規募集はいたしません。演習Ⅱは毎回の実習アイテに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的にかつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なが がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらおう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社、3,200円）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なかむらこういち 中村公一	経営A3選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

専  
門  
教  
育  
目

講義の内容・  
授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）

前期；経営戦略論に関する文献購読

後期；ケーススタディ中心（各ゼミ生が興味のあるものを選択）、ケース分析レポート

合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ながたどもちのり 永田智則	経営A3選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

「演習Ⅱ」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	にしむらかずお 西村和夫	経営A3選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習Ⅱ

- ・論文の読み方と発表のしかた(2) スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics”[1]の第1章を輪講する(レジュメと書画カメラを使う)。欄“再帰的な考え方”を理解する。
- ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。
- ・仕様書の書きかた
- ・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿(年1度)・イベント(年1～2度)。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに  
演習2：輪講のレジュメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書

参考書等

- [1] R.Graham,D.Knuth and O.Patashnik,Concrete Mathematics,Addison-Wesley,1989.  
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992。

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はとりしげる 羽鳥茂	経営A3選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験(ERE)に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

古川顕『テキストブック・現代の金融(第2版)』(東洋経済新報社)2002年 2,500円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験-ポイント解説と演習-』、日本評論社、2002年 1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はね だ しやう こ 羽 田 尚 子	経営 A 3 選	4

講義のねらい

自分の興味あるテーマを、データを使って分析し、得られた結果から新たな発見を得ることが目的です。パソコンを使った実習が中心になります。

講義の内容・授業スケジュール

前期はソフトウェアを使った実習が中心。データの扱い方、Excelやテキストエディタの簡単な使い方を覚えた後、データ解析ソフト TSP による回帰分析の実習を行います。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習してもらいます。結果と考察はレポートにまとめて定期的に提出してください。後期は各自興味ある分析テーマを見つけ、そのテーマを分析するためにはどのようなデータを選ばよいか検討し、レポートにまとめて提出してもらいます。

履修上の留意点

分析テーマは、産業や企業に関するものとします(企業の研究開発活動や技術マネジメント、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するものなら尚望ましい)。

成績評価の方法

出席状況、課題の提出、理解度により総合的に評価します。無断欠席は厳禁です。

教科書

適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひ の けん た 日 野 健 太	経営 A 3 選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといつてよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に引き上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。

演習Ⅱでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。また、後期を中心に、それぞれの関心の所在について報告してもらう。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

学年末には、1万字のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート(原稿用紙2枚以下)を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習Ⅱで読破したのは、以下の2冊である。  
新原浩明『日本の優秀企業研究』  
R.B. チャルディーニ『影響力の武器』

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『市場占有率』は、ある市場でどんな企業が強いのか知りたいときに役立つ。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ふじ かわ あつ し 藤 原 篤 志	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・  
授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営 A 3 選	4

講義のねらい

明治期から現在に至るまでの間、それぞれの段階でどのような産業企業がどのような企業家達によって作りだされたのか、そして成功した企業がなぜ存続・成長（ないしは停滞・挫折）したのか。本演習では「企業（経営）は人なり」という視点から検討していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習Ⅱ前期では日本経営史のうえでイノベティブな行動をとった代表的企業経営者の足跡を検証する。後期においては、老舗企業の事例研究をとおして、リビング・カンパニー（長寿企業）の性格的特徴を見出していく。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行ない、論文作成の指導を行なう。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点（出席と授業態度）とレポート提出（2回）による。

教 科 書

演習Ⅱ前期——佐々木聡編『日本の企業家群像Ⅰ・Ⅱ』（丸善）  
その他については後日紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前の要旨・資料の配布が求められる。  
なお、ビデオを使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みやぎ 徹	経営A3選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）

3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏（邦訳書）と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」（特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論＝状況的アプローチ）と「新しい制度学派」の双方の組織（＝企業）についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 齊藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	やま だ じゅん ぺい 山 田 純 平	経営A3選	4

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する。後期は、国際的な会計基準の動向を批判的に検討するために、さらに専門的なテキストを読む。あるいは、日本において会計上注目されるケースをとりあげて、会計の立場から検討を試みる。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営A3選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体(家計、企業、官公庁その他)の経済状況を計数(貨幣)的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。  
 3年次……資金会計の基礎理論およびキャッシュ・フロー会計と経営との関係について学修する。これには、3～4人を1チームとして編成し、レジュメを作成して発表し、質疑応答してもらう。  
 (この間、日本学生経済ゼミナル大会へ出場のための論文を学生が自主的に作成する。)

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナル大会(11月関東、12月全国)に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科 専  
門 教  
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法Ⅱ（債権法）	うえい たけひさ 上井長久	経営A3・4選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

専科  
専門  
教育  
目

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- (2) 債権の目的・内容（第2回）
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- (4) 債務不履行責任（第4、5回）
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）
- (6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）
- (8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- (9) 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- (10) 債権の消滅（第12、13回）
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- (12) 契約の成立（第15回）
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権（第16回）
- (14) 危険負担、（第17回）
- (15) 第三者のためにする契約（第18回）
- (16) 契約の解除（第19回）
- (17) 贈与、売買、交換（第20回）
- (18) 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- (20) 事務管理、不当利得（第23回）
- (21) 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法Ⅰ」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2 債権法』（一粒社）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法Ⅱ (商行為、手形・小切手法)	しげ た ま き こ 重田麻紀子	経営A3・4選	4

講義のねらい

有価証券の基本を把握したうえで、有価証券の最も代表的なものである手形・小切手について、その実際の運用に留意しながら、手形法および小切手法に関する法的な考え方を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

昨今、企業間における決済の手段として電子決済などが急速に進みつつあるが、手形や小切手もわが国の経済社会に深く根付いた決済手段として重要である。この手形・小切手の振出(権利の発生)、裏書(権利の移転)、支払(権利の行使)などについて規律しているのが手形法および小切手法である。本講義では、約束手形を中心として、その理論面と実際面をバランスよく説明する。手形・小切手は企業活動に携わる機会がない学生の皆さんにとっては身近なものではないと思うので、できる限り具体的な事例を用いるように努める。

大まかなスケジュールとしては、手形・小切手制度のしくみと経済的機能、有価証券の本質・諸類型の説明から始めて、約束手形の振出、裏書、支払、支払拒絶と遡求、約束手形上の権利の消滅、約束手形の喪失、の順に進めていく。なお、時間があれば、手形・小切手以外の決済システムについても略述したい。

成績評価の方法

学期末の定期試験により評価する。

教科書

開講時に紹介する。

参考書等

開講時に紹介する。

科専  
門教  
育目

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読(英書)	なが こ きょう 長 国 強	経営A3・4選	4

講義の内容・授業スケジュール

近年の英字新聞(New York Times, Washington Post, Wall Street Journal)や有力週刊誌(Time, Newsweek, Business Week)などにおける経済・経営記事をゼミ形式で解説する。

履修上の留意点

全年度合計6回のレポート提出を求める。

成績評価の方法

平常点。レポートの成績:50%;授業への出席:50%。

教科書

使用しない。講義内容を必要に応じて配布する。

参考書等

特に指定しない。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英書)	なかむらこういち 中村公一	経営A3・4選	4

講義のねらい	海外の基本的なテキストを使用し、近年の企業の活動や経営戦略、企業を取り巻く環境変化をテーマにした英文の購読を行う。外書購読の授業であるが、経営学関連の基本知識や事例などの説明も随時行っていく。英文を通して経営学を勉強することを重視して進める。
講義の内容・授業スケジュール	毎回の授業は、事前にプリントを配布し、和訳して報告してもらう。また、英文の和訳以外に、該当箇所に関連した専門用語や専門概念、事例などを調べてもらい、その発表もとり入れる。
履修上の留意点	毎回事前に課題を出題するので、その予習を行うための勉強時間が必要となる。受講者からの発表やディスカッションも採り入れるために、積極的な学習姿勢が要求される。
成績評価の方法	受講生が小人数の場合は、授業への出席と発表内容、課題についてのレポートなどによって評価する。受講生が多い場合は、筆記試験も採り入れる。
教科書	特定のテキストは決めずに、毎回プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英書)	まえだかずとし 前田和利	経営A3・4選	4

講義のねらい	日本経営史に関する英語文献をとおして英文読解力を養成するとともに、日本の企業経営のあり方を考える。
講義の内容・授業スケジュール	経営史学会が刊行している海外向け年報のなかから日本の流通システムと自動車産業をとりあげる。
履修上の留意点	輪読形式をとるので、事前に割り当てられた各担当者は必ず発表することが義務づけられます。
成績評価の方法	平常点（出席・発表）を重視するが、学年末に簡単な試験を行う。
教科書	上述の関連文献をコピーし、配布する。
参考書等	適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (独 書)	野 島 利 彰 <small>の じま とし あま</small>	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

経営・経済に関する長文を新聞、雑誌、専門書等から抜粋して読みます。専門分野を外国語で読むには、語学力だけではなく、専門的知識がかなり必要です。専門を外国語で読むことは自分の専門知識を確かめることとなります。

講義の内容・授業スケジュール

論文的な文章を読み解くことが授業の中心となります。毎回予定範囲を決め、それを受講生に訳読してもらいます。

履修上の留意点

受講生が少数であることが予想されますので、常に自分で予定範囲全部を負担できるよう予習をしてください。

成績評価の方法

どれだけ予習に努力したかで評価します。

教科書

その都度、プリントを配布します。

その他

中級以上の辞書を使用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (仏 書)	遠 山 博 雄 <small>と お や ま ひろ お</small>	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた時事関係のテキストを読みます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは文法事項などフランス語の基本を確認しながら、ゆっくり読解していきます。慣れたら少しテンポをあげます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

平常点での評価が原則ですが、必要があれば年度末に筆記試験を行います。

教科書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (中 国 書)	本 間 由 香 利 <small>ほん ま かり</small>	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

今までに学んだ中国語の知識を整理し、文章を読みながら語彙を増やす。かつ現在の中国社会に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

プリントを翻訳した内容と日本の事情などを比較し、各自が感想を述べる。

成績評価の方法

授業の出席状況と前期・後期のテストにより評価する。

教科書

プリントを配布。中国の新聞やインターネット、雑誌などから適宜選ぶが、みな希望や関心を考慮する予定である。

参考書等

中日辞典 (毎回持参すること)

その他

プリントの音読は参加者が順番に行い、担当者が日本語に翻訳してくる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (スペイン書)	ま しろ ゆう いち 真 下 祐 一	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

カタルーニャの経済学者 Eduardo Punset の『Manual para sobrevivir en el siglo XXI』を読む予定です。

履修上の留意点

スペイン語の基礎文法をしっかりとマスターしておくこと。予習・復習は欠かせません。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教 科 書

テキストの入手方法については初回の授業で伝えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (ロシア書)	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられてるオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。

成績評価の方法

出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。

教 科 書

プリント配布。  
ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビ ジ ネ ス 英 語	まち い やすし 町 井 靖	経営A・経営B3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習(英文解釈)、復習(英作文)が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教 科 書

町井靖著『ビジネス英語』(創成社)1,600円(本体価格)

参 考 書 等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	明石博行	経営A4選	4

講義のねらい

本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、PowerPointの操作能力、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、班ごとの取り組みを中心に、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、PowerPointを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはPowerPointを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウオッチの活用法』と『決算書分析の基本』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	阿部一人	経営A4選	4

講義のねらい

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	飯田哲夫	経営A4選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必要となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿って論文を作成します。

履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

成績評価の方法

論文の内容とそのプレゼンテーションにより評価します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いしなざか くに あき 石名坂 邦 昭	経営A 4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。

成績評価の方法

論文をもって評価する。

参 考 書 等

論題に必要な資料を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	お ざわ とし ひさ 小 沢 利 久	経営A 4選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシーについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数学モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・  
授業スケジュール

経営科学の分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめてもらいます。そのために、前期は興味のある対象を選び、順番にその調査結果を発表してもらいます。後期は、前期の調査結果をもとに論文にまとめるべき問題を設定し、自分なりの答えを論文としてまとめてもらいます。最後に、論文発表会を行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前に履修することを勧めます。

成績評価の方法

論文の提出を必須とし、その内容に、出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かがみ ようこ 各務洋子	経営A4選	4

#### 講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1) 高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2) 多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3) 生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅱと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅰ&Ⅱの履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

#### 専門教育 科目

#### 成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

#### 教科書

ゼミ内で適宜指示する。

#### その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かしまひであき 鹿嶋秀晃	経営A4選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

専  
門  
教  
育  
目

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンバ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

参考までに以下は昨年のテキスト例。宮内健『働き方働かせ方』、鹿嶋敬『男女共同参画の時代』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、森一夫『日本の経営』、大久保幸夫『新卒無業』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	片桐伸夫 <small>かた ぼり のぶ おと</small>	経営A4選	4

#### 講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
  - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、
- といった内容です。

#### 履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。  
4年次(演習Ⅲ)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

#### その他

プレゼミや合宿も行います。  
ゼミ入室の決定方法は面接[志望理由書(500字程度)事前提出]とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度)によります。  
なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科専門教育  
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	兼村栄哲 <small>かね むら せい てつ</small>	経営A4選	4

#### 講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

各自の問題意識にしたがって、卒業論文を作成してもらおう。当論文は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字(40×30行)で25枚以上とする。

#### 履修上の留意点

- 以下の4点を強く要望する。
- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
  - (2) お互いの親睦を深めること
  - (3) 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない受講生については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。
  - (4) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

#### 成績評価の方法

授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。

#### 参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	鈴木幸毅	経営A4選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。  
 〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著「環境問題と企業責任〈増補版〉」中央経済社(平成6年)  
 同「環境経営学の確立に向けて」税務経理協会(平成11年)

専科  
 専門  
 教育  
 科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	猿山義広	経営A4選	4

講義のねらい

この講義では、前年度に学んだ現代の管理会計理論に対する理解がより深まるように、相当数の演習問題を解いてもらう。また、自らが決めたテーマについて400字詰め原稿用紙30～50枚程度のレポートを作成してもらう。大学での勉強の集大成となるような力作を期待する。

講義の内容・授業スケジュール

演習問題は以下に示すような項目に分けられる。

- 1 標準原価計算
- 2 直接原価計算
- 3 CVP分析
- 4 セールス・ミックスの決定
- 5 事業部の業績測定
- 6 予算編成
- 7 予算実績差異分析
- 8 差額原価収益分析
- 9 設備投資の意思決定
- 10 戦略的管理会計

履修上の留意点

演習問題を解くにあたっては知識以上に集中力と粘り強さが重要になる。ちょっとだけ問題を見て、難しそうだからとって、簡単にあきらめてはいけない。

成績評価の方法

授業への取り組み、出席状況、レポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書

前年度に引き続き、櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』(同文館出版)を用いる。  
 演習問題については授業中に配布する。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

卒業後、胸を張って「私は学生時代、管理会計論の演習を受講しました」といえるだけの成果が上げられるよう、限られた時間の中で一生懸命に勉強してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	高 井 徹 雄 <small>たか い てつ お</small>	経営 A 4 選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずで。

4年次ゼミでは、卒業ゼミ論文の作成を通して、これまでの学習の成果を発揮していただきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

4 - 7月：卒業ゼミ論文のテーマ選定と個人指導

9 - 12月：卒業ゼミ論文作成に関する個人指導

1月：卒業ゼミ論文の最終発表と提出

履修上の留意点

卒業ゼミ論文の作成と提出が、4年次演習履修の必須条件です。

成績評価の方法

個人指導の経過と、提出された卒業ゼミ論文及び発表を見て評価します。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	高 田 光 明 <small>たか だ みつ あき</small>	経営 A 4 選	4

講義のねらい

3年次からの演習に参加している間に、自分なりに問題意識を持ったうえで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。したがって、この作業は、演習Ⅱで述べた大学での教育目的の達成を図る上で、きわめて重要な位置を占めている。テーマを絞り込み、論文作成に至るまでの準備過程には、論文の作成自体に劣らず重大な意義がある。

テーマ探しの過程で文献を探して読み、いろいろと考えるという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして、さらには、そのような経験を積むことにより、物事を自分なりに筋道立てて考える論理的思考能力が育ってくるはずである。

講義の内容・  
授業スケジュール

3年次に引き続いて、企業の資本調達に関する研究を行う。そして、本テーマでの研究を通して各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。

履修上の留意点

学部レベルでのゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまうがらである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱おうとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

成績評価の方法

ゼミ論文を中心として、適宜提出を求めるレポートも加味して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	高木 克己	経営A4選	4

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性(解決策等)を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文(30枚以上、400字)の作成します。  
なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	滝田 公一	経営A4選	4

専  
門  
教  
育  
目

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、  
(ア) どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、  
(イ) 自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、  
と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等

澤田昭夫『論文の書き方』(講談社学術文庫)昭和52年  
澤田昭夫『論文のレトリック』(講談社学術文庫)昭和58年  
梅棹忠夫『知的生産の技術』(岩波新書)昭和50年  
川喜田二郎『発想法』(中公新書)昭和51年  
中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』(新潮選書)平成9年

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	長 国 強	経営A4選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ(4年生): 総決算…卒業論文作成に挑戦  
研究テーマを自主的に選び、演習Ⅰと演習Ⅱの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法

平常点: 出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

継続性ということから、演習Ⅲの新規募集はいたしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	なが た とも のり 永田智則	経営A4選	4

講義のねらい

世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の關係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際經濟の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、經濟開発と貿易の關係を整理しながら、国際經濟の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	なか がわ じゅん べい 中川淳平	経営A4選	4

科専門教育  
目

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社）3,200円

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	なかむら こういち 中村 公一	経営A4選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

専科  
教育  
目

講義の内容・  
授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）

前期；近年の経営・経済環境に関する文献購読と議論

後期；ゼミ論文の作成（各自の論文テーマの報告）

合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	にしむらかずお 西村和夫	経営A4選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ

論文の書きかたを習得する。

- ・資料の調査
- ・中間発表とレポート提出
- ・論文の作成と発表
- ・論文提出
- ・発表会

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに  
演習3：ゼミ論文

参考書等

- [1] R.Graham,D.Knuth and O.Patashnik,Concrete Mathematics,Addison - Wesley, 1989.  
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992。

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科専門  
目教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はとりしげる 羽鳥茂	経営A4選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。  
また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

田中隆之『現代日本経済』（日本評論社）2002年 2,800円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はね だ しょう こ 羽田尚子	経営A4選	4

講義のねらい

演習Ⅱで決めた各自の分析テーマを、演習Ⅰで習得した解析手法により分析し、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自分析を進めてもらいます。後期は分析結果の報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。論文の書き方については、適宜指導します。

成績評価の方法

出席状況、報告状況および論文の内容により総合的に評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ひ の けん た 日野健太	経営A4選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に持ち上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習Ⅲでは、演習Ⅱでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習Ⅱと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。  
必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。  
普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、提出された論文による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ふじ 原 わら あつ し 藤 原 篤 志	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

科 専  
門 門  
目 教 育

履修上の留意点

中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営 A 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅱのテーマを継続して検討するが、論文作成の指導に力点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

- ①事例研究をとりあげる。
- ②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法

平常点および論文評価による。

参 考 書 等

論文の進行速度に応じて適宜指示する。

そ の 他

報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みやぎ 徹	経営A4選	4

講義のねらい

演習Ⅲ（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

その他

金曜日・2時限

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みやぎ 徹	経営A4選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。

毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ポータレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらおう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

水曜日・4時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営 A 4 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。  
4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般的見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示（ディスクローズ）されている。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」（本年第31巻）を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科 専  
門 教  
育 目

專科  
專門  
教育  
目

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、  
フレックスBの頁を参照してください。(→P.611)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。



履修科目  
他学部

### Ⅲ. 他学部履修科目

禅学概論	〈石井修道〉	395
中国禅宗史	〈石井修道〉	395
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	396
禅籍講読Ⅰ	〈佐藤秀孝〉	396
禅籍講読Ⅲ	〈岩永正晴〉	397
仏教概論	〈池田練太郎〉	397
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	398
中国仏教文化史	〈永井政憲〉	398
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	399
中国古典語初級	〈吉村誠〉	400
中国哲学史	〈前川亨〉	401
上代文学研究Ⅰ	〈中嶋真也〉	402
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	402
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	403
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	403
近代文学研究Ⅰ	〈榎本正樹〉	404
比較文学	〈満谷マーガレット〉	405
西洋思想史	〈柴野博子〉	406
演劇概論	〈森井直子〉	406
日本民俗学	〈谷口貢〉	407
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	407
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	408
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	408
イギリス文学特講Ⅳ	〈休講〉	
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	409
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	409
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	410
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	410
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	411
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	411
人口地理学	〈江崎雄治〉	412
文化地理学	〈小田匡保〉	412
応用地理学	〈高木正博〉	413
現代地理学特論	〈佐藤哲夫〉	413
日本仏教史	〈松本信道〉	414
日本史特講Ⅶ(近代)	〈熊本史雄〉	414
哲学史	〈山口祐弘〉	415
東洋史特講Ⅲ(近代史)	〈杉山清彦〉	415
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
西洋文化史	〈石田恵子〉	416
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	416
社会福祉発達史	〈林千代〉	417
農業政策	〈溝手芳計〉	418
教育経済論	〈谷敷正光〉	419
中国経済論	〈休講〉	

アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	420
EU統合論	〈清水 卓〉	421
現代西欧経済論	〈清水 卓〉	422
ロシア・東欧経済論	〈山縣 弘志〉	423
貿易法各論	〈古沢 紘造〉	424
行政法各論	〈金子 昇平〉	425
比較憲法	〈西 修〉	425
西洋統制史	〈竹中 智香〉	426
英米法史	〈北野 かほる〉	427
英米法史	〈北野 かほる〉	428
国際政治学	〈若林 亜里砂〉	429
国際政治学	〈小堀 訓男〉	429
ヨーロッパ政治史	〈浦田 早苗〉	430
地方自治法	〈富井 幸雄〉	430
比較政治学	〈三竹 直哉〉	431
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野 裕二〉	432
ヨーロッパ政治論(2)	〈中野 裕二〉	432
現代国家論	〈大塚 桂〉	433
比較憲法	〈休 講〉	
医療宗教学	〈田上 太秀〉	433
医療経済学	〈永山 くに子〉	434
国語学	〈片山 晴賢〉	434
国語史	〈萩原 義雄〉	435
女性史	〈高嶋 めぐみ〉	436
文化概論	〈藺部幹生・井上優・佐藤憲昭・内藤寿子・藤田和美〉	436
文学特殊研究	〈佐原作美・石割 透・小林 治・坂口博規〉	437
古典戯曲演劇	〈佐藤 知乃〉	437
メディアと表現	〈松田 直行〉	438
時事英語	〈岡本 誠〉	438

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

#### 講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

#### 履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

#### 成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート(400字詰め5枚程度)の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

#### 教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

#### 参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』(更生社) 2,369円  
『全訳 漢辞海』(三省堂) 2,840円  
『禅学大辞典』(大修館書店)  
入矢義高等『禅語辞典』(思文閣出版)

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

#### 履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

#### 成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

#### 教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

#### 参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	経営A・経営B	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
その他、日本禅宗に関する諸文献

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読 I	佐藤秀孝	経営A・経営B	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものである。中国禅宗は南北朝（梁・北魏）に渡来した菩提達磨（達摩とも）に始まり、唐・宋代に開花・隆盛しているが、本講義では唐末五代以前に成立した禅籍をその対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

対象となる禅籍は『二入四行論』『無心論』『絶観論』『六祖壇経』『証道歌』『参同契』『宝鏡三昧』などであり、さらに『祖堂集』からも特徴的な祖師の事跡を学んでいきたい。はじめは講義方式で行い、後半は禅籍の具体的講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の禅語録であるので、読解力を増すよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表の態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）  
『禅語辞典』（思文閣書店）  
筑摩書房『禅の語録』シリーズの『達磨の語録』『初期の禅史Ⅰ』『初期の禅史Ⅱ』『六祖壇経』『頓悟要門』『龐居士語録』『伝心法要・宛陵録』『禅源諸詮集都序』『臨済録』『趙州録』『寒山詩』など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	いわなが しょうせい 岩永正晴	経営A・経営B	4

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、数回のレポート（または小テスト）によって成績評価を行う。出席点は採らない。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	いけだ ねんたろう 池田練太郎	経営A・経営B	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。  
a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱  
f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かなざわ あつし 金沢 篤	経営A・経営B	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永井 政之	経営A・経営B	4

他履修科目

講義のねらい

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、そこの部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。六祖慧能のミイラへの信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教科書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参考書等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）  
その他、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	袴谷憲昭	経営A・経営B	4

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
- 1 古代文化の解釈 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
- 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
- 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
- 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
- 3 修験道と聖俗観 4 勧進聖と浄穢観
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
- 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
- 3 祈禱仏教と密教 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変様
- 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
- 3 禪宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
- 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
- 3 江戸文化と仏教 4 維新と排仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
- 1 戦前より戦後へ 2 仏教と民主主義

他学部  
履修科目

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』（岩波新書）  
家永三郎『日本文化史』第2版（岩波新書）



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

中国の神話や伝説を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。話の面白さにつられて読むうちに、自然と漢文が読めるようになる授業です。また、中国の歴史や文化、儒教・仏教・道教の思想など、適宜講義を加えます。

前期は、六朝時代の志怪小説から数篇を選んで講読します。志怪とは現世や異界の不思議を記録した怪異談です。後期は、唐代の伝奇小説である「杜子春伝」を講読します。伝奇とは作者が創作意図に基づいて作り上げたフィクションです。

講読を通じて、中国人の死生観や世界観が、仏教や道教の影響によって次第に変化してゆく過程を知ることになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 牽牛と織女 (漢文の読み方) (2) 孝行息子と天女 (3) 太陽を射た男 (助辞・再読文字) (4) 月世界に住む女 (5) 天地開闢 (否定形・比較形)  
(6) 人類創生 (7) 生き返った恋人 (使役形・受身形) (8) 引き裂かれた夫婦  
(9) 死人の名簿 (疑問形・反語形) (10) 中国の幽霊 (11) 仙界を訪ねた男  
(12) もう一人の自分 (13) 男と女の騙しあい
- (後期) (1) 志怪小説から伝奇小説へ (2~5) 趙泰の地獄めぐり (6~7) 観音菩薩の靈験 (8~13) 杜子春伝

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文の学習歴がなくても心配はいりません。ただし、語学の習得には学習の継続が不可欠です。毎回予習をして、休まず出席すること。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価します。

教科書

プリントを使用しますが、漢和辞典は必ず用意してください。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨します。その他、文法書の購入も指示します。

参考書等

授業中に随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわ とおる 前川 亨	経営A・経営B	4

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教の歴史について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、宋代から始めて、清末・民国に至るまでの思想史を扱う予定である。まず中国思想史の概要を解説したうえで、前期には、唐宋変革の意義、道学運動の展開、朱子学の思想を、後期には陽明学の出現、王学左派の思想、更に清朝考証学の成立と近代思想・中国革命の思想の登場をとり扱うことになるであろう。宋代を風靡した禅宗の思想や、民間信仰の問題にも言及することができる筈である。いずれについても、断代史的ではなく、問題史的に検討を加える所存である。その際、東アジア世界の中の中国思想という観点を忘れないようにしようと思う。

履修上の留意点

当然ながら、中国の思想・哲学・宗教・社会・文化などに関心のある学生の受講のみを歓迎する。継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲をもたない学生の受講は固く禁止する。中国語を履修していなくても構わないが、中国語（古典・現代）の履修も並行することが望ましい。

成績評価の方法

受講者数を見て最初の回に伝達する。原則として、受講者30人以下の場合にはレポート、それ以上の場合には試験を行なう予定である。出席が絶対に必要な要件であることはいうまでもない。レポートにせよ、試験にせよ、出席していない学生には提出／受験の資格がない。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

受講者にできるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者諸君の意見を聞きながら、内容を深めていくようにしたいと思うので受講者諸君の主体的なとりくみに期待する。なお、遅刻、途中退出、授業時間における携帯電話の操作、私語、その他授業に非協力的な行為は断固排除するので、そのつもりで受講すること。教室内では、男女とも、当然、脱帽すること。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なかじま しんや 中嶋 真也	経営A・経営B	4

講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』は、類歌・類句と称される、似かよった表現を持つ歌がいくつも見られる。近代的な独創を重視する見方からすれば、批判の対象になるわけだが、それらを豊富に取める『万葉集』の現状はそうではないことを認識しなければならない。また、類歌・類句と位置付けたところで、時に考察は止まり、似ていながら、先行する表現を享受しながら、新たな表現を試みている場合もある。

本講義では、そのような類歌・類句の存在に留意しながら、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」や「月」といった、現在にもほぼ同じものを指すと考えられる植物や天象などの景物を取り上げ、それらが万葉歌の中で、どのようなことばとともに用いられ、どのような表現をなしているのかを見ていく。また、万葉の作歌の時期区分にも常に配慮し、『万葉集』中での表現史を明瞭にすることにも心がける。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全二十巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在四つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。

その上で、景物に即して詠まれた歌を表現に留意しながら、検証していく。具体的に取り上げる景物として、桜、月、萩などを考えている。また、歌人としては、第二期の柿本人麻呂と第四期の伴家持といった、万葉のみならず、日本文学史上の代表歌人に特に留意していく。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に取り込んでいきたい。主体的な受講を、特に期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末の試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつ おか とも ゆき 松岡 智之	経営A・経営B	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的のものに関する問題提起をする。  
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら い よう こ 櫻井陽子	経営A・経営B	4

講義のねらい

軍記物語における源頼朝と源義経について考える。頼朝は軍記物語には表だって登場しないが、主な軍記物語が鎌倉時代に成立したことを考えると、作品の背後に考えなくてはならない人物である。一方、義経は室町時代の芸能において華々しく活躍するが、頼朝によって排斥された人物である。この二人の造型を考えることは、軍記物語の本質を考えることにもなる。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に作品に触れながら進める。  
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。  
 4～6 頼朝（『平治物語』）  
 7～9 頼朝（『平家物語』）  
 10～12 頼朝（芸能における）  
 13～15 義経（『平家物語』）  
 16～18 義経（『吾妻鏡』）  
 19～21 義経（『義経記』）  
 22～24 頼朝と義経  
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	この え のり こ 近衛典子	経営A・経営B	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 研 究 I	えの もと まさ き 榎 本 正 樹	経営 A・経営 B	4

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、周辺メディアとの連関性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリなど、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、町田康、柳美里、長野まゆみ、柴崎友香、金城一紀、伊坂幸太郎、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、石田衣良、村山由佳、絲山秋子、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年に映画化された『ジョゼと虎と魚たち』『きょうのできごと』『世界の中心で愛をさけぶ』『69』『インストール』について、原作と映画を比較対照した分析を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛り込んでいきます。

他履修  
学部  
科目

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらうレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教 科 書

特に使用しません。

参 考 書 等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

そ の 他

履修に際しては、榎本のサイト ([www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/](http://www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/)) も参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	<sup>みつたに</sup> 満谷マーガレット	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

比較文学は欧米各国における「国文学」・「国文学史」が成立した以後、国と国との間の「横の関係」をみるために作られた学問である。近代国家の成立とともに発展した「国文学」があまりにも重視された反省から、国家同士の文学がどのように影響しあって、関係しあってきたかを研究することが比較文学のそもそものねらいであった。フランス、ドイツ、そしていわゆる「新世界」（アメリカ、オーストラリアなど）においてそれぞれ異なる比較文学が成立したが、20世紀前半までには近代文学を中心に「影響関係」を追及することが比較文学者の主な仕事だとされるようになった。しかし作家同士の影響関係を見る前に、文学作品、あるいは文化そのものが越境したとき、それがどのように姿を変えるかを見る必要があるだろう。受け入れる側ではそれがどのように理解され、あるいは誤解されるかも重要な問題だろう。それを見るために本授業では「翻訳」という概念を焦点に、日本と欧米の文学がどのように関係してきたかを見てみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では日本側で欧米の文学・文化がどのようにして受け入れられたかを見て、後期で日本（東洋）の文学・文化が西洋側でどのように受け入れられてきたかを見てみたい。横道にそれらに余裕を持ちたいのだが、だいたい次のようなテーマに触れたいと思っている。

前期：

- 1) イントロ：比較文学の背景と「国文学」。
- 2) 翻訳の背景。
- 3) 近代日本における「翻訳語」。近代の日本語がいかにして翻訳によって出来上がったのか。
- 4) 演劇改良運動とシェークスピアの『ハムレット』の導入。
- 5) 苦悩する翻訳者たち——森田思軒、二葉亭四迷など
- 6) 若松賤子と児童文学の導入

後期：

- 1) 西洋人の見た日本女性——「マダム・バタフライ」を中心に
- 2) アーネスト・フェノロサと「漢字」の発見
- 3) エズラ・パウンドとイマジズム
- 4) アーサー・ウェイリーの英訳を通して「小説」となった源氏物語
- 5) 英米における漢詩の導入
- 6) アメリカ文化における「ハイク」

他学部  
履修科目

#### 履修上の留意点

この授業では出席はとらない。従って、出席するかどうかは学生が責任をもって決めることだが、出席しなくても簡単に単位が取れると思ってもらっては困る。また、比較文学の授業は、横文字（英語、フランス語など）を一切使わないでやるのは難しい。英文、仏文の資料を使うとき、必ず日本語訳をつけるので、外国語に堪能である必要はない。しかし横文字を見ただけでアレルギー反応を起こす学生には、この授業は辛いだろう。

#### 成績評価の方法

前期、後期一回ずつエッセイ形式の試験を行う。各試験は50点満点だから、二つの試験の成績を合わせて一年の成績を出す。

#### 教科書

プリント

#### 参考書等

最初の授業で話す。

#### その他

この授業は講義となっているが、例年の受講生が少ない。講義形式で進めるが、学生からの質問、コメントなどは大歓迎。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	柴 野 博 子 <small>しばのひろこ</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デールタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学的一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教 科 書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	森 井 直 子 <small>もりいなおこ</small>	経営A・経営B	4

履修科目  
他学  
部

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明(2回)
  - 2、明治40年代の演劇(2回)
  - 3、日本近代戯曲の模索(2回)
  - 4、大正戯曲の時代(2回)
  - 5、築地小劇場(2回)
  - 6、政治と演劇(2回)
  - 7、まとめ(1回)
- 後期
- 1、戦後新劇の活動(2回)
  - 2、小劇場運動の隆盛(2回)
  - 3、80年代—私さがしとメタシアター(2回)
  - 4、静かな演劇(2回)
  - 5、今日の演劇—上演(2回)
  - 6、今日の演劇—戯曲(2回)

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。)また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末のレポートと観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義形式の授業。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢 <small>たにぐち みつぎ</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原 孝哉 <small>いしはら こうさい</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	高野正夫	経営A・経営B	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	岡崎寿一郎	経営A・経営B	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 V	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説 イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 VI	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

本講義は、作品の紹介とオリジナル・テキストの演習を行い、テキストの印象や感想を客観化するために文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの価値評価に向けて演習・講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語・科学言語・論理的言語・文学言語の差異について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学テキストの機能と力について
- 4) さまざまな批評方法について
  - ・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム（ニュー・クリティシズム）、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- 1) Elements of fiction by R.Scholes（英宝社）
- 2) Roman Selden A Reader's Guide to Contemporary Literary Theory  
The Harvester Press（ ）
- 3) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	経営A・経営B	4

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

他履修科目  
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ 足田 かずひと 和人	経営A・経営B	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちろい かずあき 落合和昭	経営A・経営B	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-)、Harold Pinter (1930-)、等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L. P.	経営A・経営B	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎雄治	経営A・経営B	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)

〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因

〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因

(後期)

〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴

〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動

〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因

〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保	経営A・経営B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	たかぎ まさひろ 高木 正博	経営A・経営B	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 河道治水から流域治水へ 6. 水防の再構築 7. ダムと森林 8. 日本の水利用 9. 農業用水の利用と問題点 10. 渇水とは… 11. 水資源の有効利用 12. 農業用水を考える 13. 多摩川における水利権の変遷 14. 地域用水と環境用水 15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末の授業最終日に実施する教場試験の1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	さとう 哲夫 佐藤 哲夫	経営A・経営B	4

講義のねらい

東南アジアの環境問題について知ると同時に、海外での地域調査の方法について学ぶ授業です。実習的な作業課題を通じて、海外の地形図やリモートセンシング画像を利用する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

東南アジアの環境問題について概観しながら、タイでの地域調査を想定して、地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの作業を行います。なお希望者がいれば、相談のうえ、タイで巡検を行います。その場合、参加は任意で、成績評価の対象とはしません。

履修上の留意点

課題の作業を行なうために、パソコン操作の初歩の技術(佐藤担当の人文地理学実習程度)が必要です。地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

出席状況(50%)と課題(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。なお在学中にこの分野の知識・技術をマスターして、就職や進学に生かしたいと考えている人には、下記の参考書は必携です。講義の中でもランダムに参照します。

長澤良太『リモートセンシングによる土地資源評価－東南アジアの土地利用－』(古今書院)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	経営A・経営B	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教 科 書

随時、プリントにて配布します。

参 考 書 等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII 〔近代〕	くま ちと しみ お 熊 本 史 雄	経営A・経営B	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を迫体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 史	やまぐちまさひろ 山 口 祐 弘	経営A・経営B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行わない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東 洋 史 特 講 Ⅲ 〔近代史〕	すぎやまきよひろ 杉 山 清 彦	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代中国の統治領域・民族構成は、18世紀までに形成された清帝国の領域に淵源しており、その領域形成過程と支配構造の解明は、前近代史のみならず近現代史、ひいては現代世界の理解にも不可欠である。このような観点から、17～18世紀における清帝国の形成過程と支配の構造、19世紀以降のその変容・再編について説く。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：清帝国の形成と支配構造  
 ・現代中国の統治空間  
 ・清帝国の形成・発展過程  
 ・清帝国の統治領域と支配構造  
 ・満洲皇帝とモンゴル＝チベット仏教世界  
 ・海域アジア世界と朝貢システム  
 後期：ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ  
 ・近代における清支配の変容・再編  
 ・「中国」の出現と内陸アジア  
 ・今日の諸問題：未完の「中国」創出と国家統合の諸矛盾

履修上の留意点

講義形式で進め、一方通行にならないよう随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるが、特に条件とはしない。講義中随時参考文献を紹介するので、自分で広く読書してほしい。

成績評価の方法

年2回、長期休業時に課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中随時紹介する。

他学部  
履修科目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 文 化 史	いし だ けい こ 石 田 恵 子	経営A・経営B	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追ひ、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

他履修  
学部  
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわ もと まさる 川 本 勝	経営A	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	経営A・経営B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みづ 手 よし かず 溝 手 芳 計	経営A・経営B	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）  
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参 考 書 等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）  
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）  
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

他履修  
学部科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷敷正光	経営A・経営B	4

### 講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるとされている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
  - (1) 日本の産業化とリテラシー1 「識字率と児童労働」
  - (2) 日本の産業化とリテラシー2 「江戸時代—工業化の準備機能」
  - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
  - (4) レーガン政権の経済と教育1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
  - (5) レーガン政権の経済と教育2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
  - (6) ブッシュ政権の経済と教育1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
  - (7) ブッシュ政権の経済と教育2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
  - (8) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
  - (9) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
  - (10) ブレア政権の経済と教育1 「福祉のニューディールとオプティミズム」 (一部ビデオ)
  - (11) ブレア政権の経済と教育2 「学校の水準と枠組み法」・ビーコンスクール
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
  - (12) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
  - (13) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
  - (14) 教育令時代における経済と教育1 工場弘下と産業の勃興 (一部ビデオ)
  - (15) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と職工学校・機業地学校
  - (16) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
  - (17) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業補習学校・徒弟学校
  - (18) 実業学校令時代における経済と教育1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
  - (19) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
  - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
  - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

他学部  
履修科目

### 履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

### 成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

### 教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。  
 小林泰宏『アメリカが進む教育改革』（朝日新聞社）  
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）  
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）  
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
 玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）  
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）  
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）  
 岡崎哲二『工業化の軌跡』（読売新聞社）  
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）  
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘 <small>せと おか ひろし</small>	経営A・経営B	4

履修科目  
他学部

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇  
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学  
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランテニア、◇女性・マイノリ  
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、  
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ  
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、  
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ  
 た授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか  
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験  
 も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随  
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ  
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、  
 グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年  
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年  
 をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
EU 統合論 (前期)	しみず たかし 清水 卓	経営A・経営B	2

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU 憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III. EU の制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV. EU の政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2500円

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代西欧経済論 (後期)	し <small>みず</small> 清 水 <small>たかし</small> 卓	経営A・経営B	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸EU諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦争による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換
- IV. EU統合の現段階と各国経済 (1) 福祉国家 vs グローバル化 (2) 「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

他履修  
学部科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。  
再試験実施。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわ こうそ 古 沢 紘 造	経営A・経営B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易 II. 政治・経済・社会と貿易

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 1. 農産物と貿易  | 1. 開発援助と貿易       |
| 2. 水産物と貿易  | 2. 環境と貿易         |
| 3. 林産物と貿易  | 3. WTOと貿易        |
| 4. 鉱物資源と貿易 | 4. グローバリゼーションと貿易 |
| 5. 工業製品と貿易 | 5. 永続可能な発展と貿易    |

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教 科 書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。  
講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。  
(1) 国家補償 (国家賠償法、損失補償)  
(2) 行政上の苦情処理  
(3) 行政上の不服申立 (行政不服審査法)  
(4) 行政訴訟 (行政事件訴訟法)

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版 (有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にしおさむ 西修	経営A・経営B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは (研究の意義、比較の対象、方法、限界など) (2) 主要諸国の憲法 (アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など) の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法 (韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏) の概要、(4) 項目別の比較 (平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など)。

履修上の留意点

(1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと  
(2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと (3) 私語は絶対に慎むこと  
(4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

(1) 出席・レポート 30点 (2) 前期試験 30点 (3) 後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

(1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー) 2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」  
(2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』(成文堂) 1994年  
(3) 西修著『憲法体系類型的研究』(成文堂) 1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなか ちか香 竹中智香	経営A・経営B	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法(8) 親族 [第4版増補補訂版]』(有斐閣) 1,600円  
有斐閣双書『民法(9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参考書等

六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円  
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

他学部  
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きた 北 野 かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
  - 第1節 イギリスの裁判所制度
  - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修科目  
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理砂	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

#### 成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

#### 教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

#### 参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

#### その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こぼりのりお 小堀 訓 男	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井幸雄	経営A・経営B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較政治学	三 <sup>み</sup> 竹 <sup>たけ</sup> 直 <sup>なお</sup> 哉 <sup>や</sup>	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端を紹介するとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

#### 履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

#### 成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

#### 教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。  
他にも指定する可能性はあります。

#### その他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。  
mitake@komazawa-u.ac.jp



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論 (1) (前期)	なかのゆうじ 中野裕二	経営A・経営B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論 (1)」「ヨーロッパ政治論 (2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論 (1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。

フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

他履修科目  
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論 (2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	経営A・経営B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論 (1)」「ヨーロッパ政治論 (2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論 (2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」 ・移民問題の衝撃 ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義 ・寛容の共和主義 ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論 (1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか 大塚 かつら 桂	経営A・経営B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制フェシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。  
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

履修科目部

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療宗教学（前期）	たがみ 田上 たい しゅう 太秀	経営A・経営B	2

講義のねらい

人の生涯は生・老・病・死の四つで見ることができ、それらのいずれにも医療、あるいは医学が関わらないことはない。人間の歴史が始まって以来、医療は密接であった。一方、医療以上に宗教も関わっていることが知られた。それは、医療と結びついていたのである。今日、医学、あるいは医療は宗教とは無関係のように考えられているが、人間の歴史を見ると、二つの関係は車の両輪のようであった。本講義は医療と宗教との関わりについて、とくに古代インドを中心に解説することをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール

- わずかに半期の講義であるので、ほとんど概要を述べることになるので、次のような内容となる。
1. 医学の歴史に関するもの（はじめに）
  2. インド医学の思想的背景
  3. アーユル・ヴェーダと歴史背景
  4. アーユル・ヴェーダから終末期医療まで（最初期の仏教との関連）
  5. 仏教医学に関するもの

履修上の留意点

出席カードを配布し、自分で出欠を記入させる。過半数（授業時数の）以上の出欠が必須である。

成績評価の方法

期末のテストによって成績評価する。

教科書

作成したプリントを使用。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療経済学(前期)	なが やま こ 永山くに子	経営A・経営B	2

講義のねらい	日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する
講義の内容・ 授業スケジュール	SBOs ① 国民医療費とは何かの説明でき、日本における課題が理解できる ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる ⑥ 医療の財政的な側面を理解する ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする
履修上の留意点	一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。
成績評価の方法	(ア) 出席 (イ) レポート (ウ) グループワークへの参加度
教科書	特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。
参考書等	① 鍋田忠彦『日本の医療経済』(東洋経済新報社) 3,296円 ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』(医学書院) 3,000円 ③ 池上直己『日本の医療』(中公新書) 720円 ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』
その他	履修上の留意点に準じます

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま ほる かた 片山晴賢	経営A・経営B	4

講義のねらい	国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。 なお、概要は次の通りです。 ・ 音声/音韻：どの器官を使って声をだしているのか どのように声を作っているのか 音声をどのように表記するのか アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か ・ 文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷 仮名遣いの諸問題 ・ 語彙：語彙の種類とその特徴
履修上の留意点	授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。
成績評価の方法	筆記試験の結果/授業態度(出席)/課題の提出状況
教科書	適宜プリントを配布します。 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』(双文社出版) 1,800円
参考書等	その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	萩原 義雄	経営A・経営B	4

### 講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』）について
- 第6回の講義内容 『土佐日記』（為家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系譜・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について  
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「揭示板」へ書込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。〔260頁〕
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』について

他学部  
履修科目

### 履修上の留意点

また、短期大学国文学揭示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

### 成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、画像処理についても要確認（著作権問題）願います。

### 教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazqwa-u.ac.jp/~hagi>]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	高嶋 めぐみ	経営A・経営B	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 ((1) 出席、受講の状況 (2) レポートまたは試験)

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

そ の 他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

履修科目  
他学  
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 概 論	蘭部 幹生・井上 優 佐藤 憲昭・内藤 寿子 藤田 和美	経営A・経営B	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月13日(水) オリエンテーション

①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1(6回)》

②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13(6回)》

③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19(5回)》

④慣習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6(6回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

蘭部幹生  
井上 優  
佐藤憲昭  
内藤寿子  
藤田和美  
蘭部幹生  
蘭部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/13)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教 科 書

各担当者より指示する。

参 考 書 等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	佐原 作美・石割 透 小林 治・坂口 博規	経営A・経営B	4

## 講義のねらい

「子ども」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

 講義の内容・  
授業スケジュール

各担当者からその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は以下の通りである。

- ① 古代文学と子ども  
〈4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2〉 佐原作美
- ② 西行と娘  
〈6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14〉 坂口博規
- ③ 近代の小説に見る子ども像  
〈9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27〉 石割 透
- ④ 近・現代文学の中の子ども  
〈11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15〉 小林 治

## 履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

## 成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

## 教科書

担当者により指示する。

## 参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	佐藤 知乃	経営A・経営B	4

## 講義のねらい

現代の日本には、さまざまな古典演劇が共存しています。その戯曲のあり方もさまざまです。この講義では、能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃といった、日本の古典演劇といわれるパフォーマンスにおける、戯曲のあり方を考察します。履修者に対するいわゆる古典演劇へのガイダンスではありますが、古典演劇を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、現代演劇との比較等をおして、分析、批判的に考察することを目的とします。

 講義の内容・  
授業スケジュール

歌舞伎や能・狂言、文楽の「戯曲」を講読し、関連する舞台のビデオ鑑賞などを行います。具体的には、種々の古典演劇のなかから、同じ題材を用いた作品を選び、ビデオおよび戯曲を通して比較を行っていきます。理解を深めた上で、テーマを決め、討議も行います。

## 履修上の留意点

5月に渋谷のNHKホールにて開催されるNHK古典芸能鑑賞会の見学を予定しています。昨年は、最終金曜日の午後5時開演、9時半終演、学生料金は500円でした。今年度の予定はわかり次第告知し、最初の授業において説明します。見学後、レポートの提出を求め、必ず参加すること。

## 成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験(記述式)を行います。また、古典芸能鑑賞レポートを提出していただきます(履修上の留意点参照)。そのほか、授業中に小レポートを課し、これらを総合的に勘案します。

## 教科書

授業中にコピーを配布します。

## 参考書等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ 松 だ 田 なお ゆき 直 行	経営A・経営B	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おが 岡 もと 本 まこと 誠	経営A・経営B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしえて言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journales に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

他学部  
履修科目

# Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」  
「日本事情」



「日本事情」  
「日本語」

## IV. 「日本語」・「日本事情科目」

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日本語入門Ⅰa	〈吉田 露子〉	443
日本語入門Ⅰb	〈吉田 露子〉	443
日本語入門Ⅱa	〈吉田 露子〉	444
日本語入門Ⅱb	〈吉田 露子〉	444
日本語Ⅰa・Ⅰb	〈佐野 典子〉	444
日本語Ⅰa	〈多田羅 哲子〉	445
日本語Ⅰb	〈多田羅 哲子〉	445
日本語Ⅱa・Ⅱb	〈佐野 典子〉	445
日本語Ⅱa	〈多田羅 哲子〉	446
日本語Ⅱb	〈多田羅 哲子〉	446
日本語Ⅲa	〈多田羅 哲子〉	446
日本語Ⅲa・Ⅲb	〈湯村 礼子〉	447
日本語Ⅲb	〈多田羅 哲子〉	447
日本語Ⅳa	〈石川 守〉	447
日本語Ⅳa	〈湯村 礼子〉	448
日本語Ⅳb	〈石川 守〉	448
日本語Ⅳb	〈湯村 礼子〉	449
日本語Ⅴa	〈石川 守〉	449
日本語Ⅴa	〈多田羅 哲子〉	449
日本語Ⅴb	〈石川 守〉	450
日本語Ⅴb	〈多田羅 哲子〉	450
日本語Ⅵa	〈石川 守〉	451
日本語Ⅵa	〈多田羅 哲子〉	451
日本語Ⅵb	〈石川 守〉	452
日本語Ⅵb	〈多田羅 哲子〉	452

「日本語」  
「日本事情」

### 《日本語科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕	(後期)	〈高橋 健太郎〉	452
日本事情Ⅱ〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	453
日本事情Ⅲ〔歴史〕	(後期)	〈浅倉 直美〉	454
日本事情Ⅳ〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	454
日本事情Ⅴ〔社会〕	(前期)	〈坪井 健〉	455
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕二〉	456
日本事情Ⅶ〔文学〕	(後期)	〈相澤 貴之〉	456
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	456
日本事情Ⅸ〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬一〉	457
日本事情Ⅹ〔経営〕	(前期)	〈宮城 徹〉	457

〔日本事情〕  
日本語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I a (前期)	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子	経営 A	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I b (後期)	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子	経営 A	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

「日本語  
日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門Ⅱ a (前期)	吉 田 蒨 子 よし だ ふき こ	経営A	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門Ⅱ b (後期)	吉 田 蒨 子 よし だ ふき こ	経営A	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語 I a (前期)	佐 野 典 子 さ の のり こ	経営A	1
日本語 I b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II a (前期)	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>	経営A	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。  
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。  
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ a (前期)	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れいこ</small>	経営 A	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅 哲 子 <small>ただら あきこ</small>	経営 A	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ a (前期)	石 川 守 <small>いし かわ まもる</small>	経営 A	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳa(前期)	湯村礼子	経営A	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文(3回)  
提出物  
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	石川守	経営A	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時に、ことわざを毎時間授業のはじめにやっ  
ていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席など50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業中の私語など、授業態度が悪いものは欠席措置の上、退室を命ずることもあります。

日本語  
日本事情

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV b (後期)	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れいこ</small>	経営 A	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教 科 書

教科書は授業時に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	石 川 守 <small>いしかわ まもる</small>	経営 A	1

講義のねらい

日本語文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教 科 書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参 考 書 等

辞書を持ってきてください。

そ の 他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることもあります。

「日本語」  
「日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	多 田 羅 哲 子 <small>ただたら あまこ</small>	経営 A	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教 科 書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	経営 A	1

講義のねらい

日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点(受講態度、出席など)50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経営 A	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点(小テスト・発表・提出物・授業への参加度)を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI a (前期)	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	経営A	1

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vで行った日本語の後の部分をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は日本語Vの続きの内容なので、日本語Vを履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進展はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI a (前期)	多田羅 哲子 <small>ただら あきこ</small>	経営A	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。  
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	いし かわ まもる 石川 守	経営 A	1

講義のねらい

日本語 VI a の続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 VI a の残りの部分を行っていきます。  
授業のはじめに「ことわざ」をやっています。

履修上の留意点

この授業は、日本語 VI a の次の部分をやっていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	経営 A	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。  
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I 〔地理〕(後期)	たが けし けん たろう 高橋 健太郎	経営 A	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。  
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。  
日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>	経営 A	2

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

#### 第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

#### 第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

#### 第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

#### 第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
  2. 国内の法律
  3. 国際条約
- レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

### 成績評価の方法

### 教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

### 参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

### その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あき くら なお み 浅 倉 直 美	経営A	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大名と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	経営A	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の中で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

その他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 V 〔社会〕(前期)	つばい 井 健	経営 A	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度 (60%) + 課題レポート (40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずです。

「日本語」  
「日本事情」



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	経営A	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいさわ たかゆき 相澤 貴之	経営A	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかば ゆきこ 赤羽 由規子	経営A	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 区 〔経済〕(前期)	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経営 A	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

そ の 他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 X 〔経営〕(前期)	みや ぎ てつ 宮 城 徹	経営 A	2

「日本語」  
「日本事情」

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参 考 書 等

参考文献は随時指定する。

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

「日本事情」  
「日本語」

# 経営学科フレックスB



# I 全学共通科目



# 1. 宗教教育科目



宗教教育

# 1. 宗教教育科目

仏教と人間〈四津谷 孝道〉	467
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〈池田 魯参〉	467
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本 英人〉	468
仏教と人間〔再クラス〕〈松本 史朗〉	468
仏教と人間〔再クラス〕〈村松 哲文〉	469

宗教教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	よつや 四津谷 孝 道	経営B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		経営B2・3・4年	

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて順を追って、できるだけわかりやすく説明を加えていきたい。

- ・宗教について
- ・宗教と科学
- ・宗教と仏教
- ・仏教の歴史
- ・仏教の基本的な教え
- ・仏教と輪廻思想
- ・仏教と自然
- ・仏教と社会

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	いけ だ 池 田 魯 参	経営B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		経営B2・3・4年	

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊本英人	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	むらまつ てつふみ 村松哲文	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）  
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

宗教教育

## 2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、  
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 25)



教養教育

## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中 かの子〉	475
文学〔日本文学「古典」〕	〈田中 伸作〉	475
文学〔日本文学「近代」〕	〈保明 陽子〉	476
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林 彰〉	476
歴史学(2)〔中国史概観〕	〈小林 惣八〉	477
歴史学(3)〔アジア史概観〕	〈小林 惣八〉	477
哲学〔西洋思想の源流〕	〈滝沢 正之〉	477
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田 理〉	478
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木 聡〉	478
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田 理〉	479
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生 享志〉	479
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田 知章〉	480
倫理学〔人生と倫理〕	〈水口 拓寿〉	481
教育の思想	〈伊藤 茂樹〉	481
教育と社会	〈伊藤 茂樹〉	482
発達と学習の心理学	〈三國 隆子〉	482
カリキュラムと学習	〈三國 隆子〉	483

### (2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鷄 徳啓登〉	483
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	484
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松 正行〉	484
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳三〉	485
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪 敏〉	485
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康慈〉	486
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上 新二〉	487
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井 純一〉	488
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈三船 恵美〉	489
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村 恒雄〉	489

### (3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木 順一〉	490
心理学(2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木 順一〉	491
生物学〔生態と進化〕	〈清水 善和〉	492
生物学〔生物と環境〕	〈中村 敏枝〉	493
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	〈加藤 潔〉	494
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原 正雄〉	495
自然環境論〔生命と環境〕	〈中村 敏枝〉	496
情報数学〔情報と論理〕	〈小沢 誠〉	496

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をとまなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教を選び、それぞれの歴史・思想・文化を仏教との比較において講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教 科 書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	田 中 伸 作 <small>た なか しん さく</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	保明陽子 ほあき ようこ	経営B・経営A選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探究するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探究し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2,000円  
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	林彰 はやし あきら	経営B・経営A選	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

『日本の近代—国家と民衆』(粹出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし  そう  はち</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし  そう  はち</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

西洋古代中世哲学史を概説する。  
古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかというと、そうでもない。科学とは事情が違うわけだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。  
古代中世哲学の時代を超えた洞察を紹介していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人が取り上げ、解説する。古代哲学、そのなかでも、プラトンとアリストテレスが中心となる予定。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「世界」について検討する。われわれ人間の住む場である世界の理解のしかたを検討することは、人間の自己理解にもつながるが、こうした「世界」概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点を持っているかを解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	経営B・経営A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	経営B・経営A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理  
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たが し 麻 生 享 志	経営B・経営A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 〔現代と倫理〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	経営B・経営A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えるとき、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）

近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—

II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討

1. 生命の尊厳
2. 人間の環境との関係
3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	みなくちたくじゆ 水口拓寿	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

#### 履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

#### 成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

#### 教科書

- A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）  
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）  
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

#### 参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	いとうしげき 伊藤茂樹	経営B・経営A2選	2

#### 講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
  - ・学校という場

#### 履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

#### 成績評価の方法

学期末試験により評価する。

#### 教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

#### その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹	経営B・経営A2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	三國 隆子	経営B・経営A2選	2

講義のねらい

・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。  
 ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。  
 ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

・発達とは何か  
 ・発達の特徴と発達理論  
 ・発達親の変遷と教育  
 ・学習とは何か  
 ・学習と評価  
 ・意欲と学習（1）動機づけ理論  
 ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。  
 ・学期末に筆記試験を行う。  
 ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
 この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	三 國 隆 子 みくにりゅうこ	経営B・経営A2選	2

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 学 ・ 憲 法 〔法と権利〕	鷄 徳 啓 登 けいとくひろとう	経営B・経営A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
  - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
  - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
  - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
  - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	経営B・経営A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経営B・経営A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	呉 炳 三 お びょう さん	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

#### 履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

#### 成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

#### 教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

#### 参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏 はし つめ さとし	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての子備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

#### 教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

#### 参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）  
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経営B・経営A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定  
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定  
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習  
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわ しみん じ 川 上 新 二	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

国境を越えての交流がますます活発になっている現代社会では、私たち一人一人もこれからさまざまな国や地域の友人と出会うことになるであろうし、また既に出会っている人もいます。それらの友人を理解し、交流をさらに深めるためには、彼らが生まれ育った社会の生活様式（すなわち文化）を理解する必要があります。なぜなら人はそれぞれの生活様式の影響を大きく受けて暮しているからです。そのような生活様式の中には、私たちから見て不思議に思うものもあるかもしれません。しかし、なぜそのような生活様式の中で人々は暮しているのかということを考えずに、好奇心や奇異な目だけで眺めると、思わぬ誤解を招くことにもなりかねません。この講義では、世界各地の人々のさまざまな生活様式（文化）を客観的に理解するための視野を養うことを目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では文化人類学の概要や文化人類学による異文化の見方を中心に紹介します。①文化人類学とは、②人間と文化、③言語、④異文化と自文化、⑤文化人類学による異文化理解（例として、〈a〉男女の性差と文化、〈b〉生物学的な親と社会的な親、〈c〉結婚と住居、〈d〉父方の苗字と母方の苗字、〈e〉親族など）について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、異文化の理解を具体的に試みるための例として、主に韓国や中国や台湾・漢族などの文化を取り上げて、人と文化の関わりについて検討します。韓国の人々の①結婚、②親族、③家族、④相続、⑤中国・台湾漢族の場合との比較、⑥韓国や台湾・漢族の女性、⑦祖先祭祀と死後結婚、⑧日本の場合との比較について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

#### 履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

#### 成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

#### 教科書

教科書は特に指定しません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゅん いち 杉 井 純 一	経営B・経営A選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円  
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円  
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	みふね えみ 三船恵美	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

本講義の目的は、政治学を専攻していない学生が、教養としての政治学というものはどのような学問であるのかを理解し、政治システムや政治参加についての基本的な理論や概念を学ぶことにあります。現代の政治が如何なる問題に直面しているのか、またそれを解決していく上で、現代政治学がいかなることを示唆しているのか、現代政治学が現実の政治課題を如何に捉えているのかを学びましょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ① 政治を理解するための基本的な知識を講義します。具体的には、政治学とはどのような学問か、政治体制と変動、政治と国家と政府、議院内閣制・大統領制・半大統領制、社会主義国家と独裁国家の政治制度、代表制と議会：二院制と一院制、選挙制度の類型と比較、選挙と世論、利益集団の圧力活動、公共政策と行政、政党と政党制、政治意識と政治文化、集権と分権、などについて講義していきます。
- ② 最近の政治事件・トピックを取り上げて、実際に分析します。

#### 成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々、教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

#### 教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『新版・現代政治学』（有斐閣）2003年

#### 参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	やまむら つねお 山村恒雄	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

#### 履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

#### 成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

#### 教科書

特定の教科書は使用しない。

#### 参考書等

授業中、随時指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	経営B・経営A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解  
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知  
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達の心理  
[後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教 科 書

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解  
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理  
(9～10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係  
(16～17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19) 職場の人間関係  
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

#### 履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

#### 成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

#### 教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	経営B・経営A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンプリアの爆発
  - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
  - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
  - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
  - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
  - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

そ の 他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営B・経営A選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
  - (1-5) 地球の歴史と生命の期限
  - (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
  - (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
  - (22-23) 水銀汚染と水俣病
  - (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとう 藤 潔 かとう 藤 潔	経営B・経営A選	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持つようになることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

成績評価の方法

教 科 書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）

そ の 他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しのはらまさお 篠原正雄	経営B・経営A選	4

#### 講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つけられ始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活での行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっているうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境  
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源  
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動  
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題  
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来  
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

#### 成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

#### 教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』(培風館) 2,100円+税

#### 参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円  
その他、講義の中で適宜紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営B・経営A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境  
 (1-6) 自然のしくみ  
 (7-12) 自然の改変  
 (後期) 食をめぐる問題  
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物  
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物  
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円  
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわまこと 小沢誠	経営B・経営A選	4

講義のねらい

コンピュータサイエンスにおける数学の概要を知ることがを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、コンピュータサイエンスと符号化理論の基礎・論理学の基礎・集合論の基礎を学ぶ。後期に、形式言語理論の基礎・オートマトン理論の基礎・グラフ理論の基礎・プログラミング論の基礎を学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

河村一樹『図解雑学コンピュータ科学の基礎 図解雑学シリーズ』(ナツメ社) 1,260円

参考書等

河村一樹『情報とコンピューティング IT Text—一般教育シリーズ』(オーム社) 2,625円

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

### 3. 外 国 語 科 目

外  
国  
語

### 3 . 外国語科目

#### [ 英 語 ]

英語ⅠA	〈萩野一成〉	501
英語ⅠA	〈小泉和弘〉	501
英語ⅠA	〈落合和昭〉	502
英語ⅠA	〈丸小哲雄〉	502
英語ⅠA	〈町田成男〉	503
英語ⅠB	〈佐々木隆〉	504
英語ⅠB	〈小泉和弘〉	504
英語ⅠB	〈樋渡俊光〉	505
英語ⅠB	〈山縣裕〉	505
英語ⅠB	〈林明人〉	505
英語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈濱口真木〉	506
英語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈伊勢村定雄〉	506
英語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈伊勢村定雄〉	507
英語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈山縣裕〉	507
英語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	507
英語ⅡA	〈芝田興太郎〉	508
英語ⅡA	〈大淵利春〉	508
英語ⅡA	〈川崎浩太郎〉	509
英語ⅡA	〈吉川直澄〉	509
英語ⅡB	〈芝田興太郎〉	510
英語ⅡB	〈落合和昭〉	510
英語ⅡB	〈北村弘文〉	511
英語ⅡB	〈清水雅夫〉	511
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大淵利春〉	511
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈町田成男〉	512
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈飯沼好永〉	512
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈萩原輝〉	512

#### [ ドイツ語 ]

ドイツ語ⅠA	〈清水修〉	513
ドイツ語ⅠB	〈篠原敏昭〉	513
ドイツ語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	514
ドイツ語ⅡA	〈清水修〉	514
ドイツ語ⅡB	〈篠原敏昭〉	515
ドイツ語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	515

#### [ フランス語 ]

フランス語ⅠA	〈八木明美〉	516
フランス語ⅠB	〈木下雄介〉	516
フランス語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	516
フランス語ⅡA	〈八木明美〉	517
フランス語ⅡB	〈木下雄介〉	517
フランス語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	517

[ 中 国 語 ]

中国語 I A・I B	〈秋元 翼・王 聡〉	518
中国語 I A・I B	〈塩 旗 伸一郎・上 原 かおり〉	519
中国語 I A・I B [再クラス]	〈大久保 明 男〉	519
中国語 I A・I B [再クラス]	〈曹 泰 和〉	520
中国語 II A	〈秋 元 翼〉	520
中国語 II B	〈上 原 かおり〉	520
中国語 II A・II B [再クラス]	〈弘 兼 加奈子〉	521
中国語 II A・II B [再クラス]	〈東 映 全〉	521

[ ス ペ イ ン 語 ]

スペイン語 I A	〈大 岩 功〉	522
スペイン語 I B	〈大 岩 功〉	522
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	523
スペイン語 II A	〈荻 野 雅 司〉	523
スペイン語 II B	〈中 山 直 次〉	524
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	524

[ ロ シ ア 語 ]

ロシア語 I A・I B	〈廣 田 英 靖〉	525
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	525
ロシア語 II A	〈廣 田 英 靖〉	526
ロシア語 II B	〈廣 田 英 靖〉	526
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	526

[ 英 語 ]

英 会 話 I	〈永 野 光 一〉	527
英 会 話 II	〈永 野 光 一〉	527
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	528
英 語 L L II	〈山 縣 裕〉	528

# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	おぎの 萩野 かずしげ 一成	経営B1年	2

### 講義のねらい

前半はさまざまなタイプの英文に触れ、「必要な情報を早く、正確に得る」訓練をしていきます。後半はハリー・ポッターなどのファンタジーを題材に、英語に触れる楽しさを実感してもらいます。

### 講義の内容・授業スケジュール

毎回、さまざまな教材 (プリント、DVD、テープ、テキストなど) を使いながら、講義にプレゼンテーションを織り交ぜた形で進めていきます。

### 履修上の留意点

辞書必携 (電子辞書可)。英会話の授業ではありません。

### 成績評価の方法

参加型授業なので出席重視します。通常の小プレゼンテーション、前期のレポートと後期のペーパーテストの結果を総合的に評価します。

### 教 科 書

授業初日に指定します。

### そ の 他

「知りたい」「学びたい」意欲が最低限必要です。英文法や英文読解といった、従来の英語学習によって苦手意識を植え付けられてしまった人ほど受けて欲しいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	こいずみ かずひろ 小泉 和弘	経営B1年	2

### 講義のねらい

英語の日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力を養う。

### 講義の内容・授業スケジュール

カセット・テープを聞き、ディクテーション・会話練習などを行なう。2回の授業で1章進む。

### 履修上の留意点

復習に重点を置き、授業には辞書を持ってくること。

### 成績評価の方法

授業中の小テスト50%、授業への取り組み・出席率40%。

### 教 科 書

『はじめての日常英会話』(松柏社) 1,700円 ISBN4-88198-552-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経営B1年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10数回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『構文から学ぶやさしい日常会話』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17440-7 C0082
- 2) 『会話作文への第一歩』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15302-7 C1082
- 3) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	経営B1年	2

講義のねらい

インターネットの普及にともない、英語を書くことの必要性が増大しています。それに対応するために思考力と論理的表現力を高めることを目指します。結果的に TOEIC TEST にも役立つように基礎力にも焦点を合わせていきます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・テキストで総理解解をとって、ライティング・テキストでト自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

テキスト：A Complete College English Program Book I（英宝社）  
リスニング・サブテキスト：My First TOEIC Test（朝日出版社）

参考書等

日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	ま ち だ し げ お 町 田 成 男	経 営 B 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教 科 書

現在、検討中のため未定。



# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ささき たかし 佐々木 隆	経営B1年	2

講義のねらい	聞く・読む・書くの三分野をうまく連動できるように工夫していきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを進めると同時に、補足的なものはプリントして配付予定。
履修上の留意点	辞書等は必携。
成績評価の方法	日常の活動を重視しますので、出席は重要です。年2回の大きなテストを中心とした総合評価をします。
教 科 書	畠中康男・川本裕未・石黒昭博『5分間世界旅行英語クイズ』(南雲堂) 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	こいずみ かず ひろ 小 泉 和 弘	経営B1年	2

講義のねらい	英文を精読して、段落・文章の大意を把握できるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを読み、練習問題を解く。2回の授業で1章進む。
履修上の留意点	授業には予習をしてこること、辞書を持ってくること。
成績評価の方法	試験60%、授業への取り組み・出席率40%。
教 科 書	『知識の泉』(鳳書房) 1,800円 ISBN4-900304-86-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	樋渡俊光 <small>ひ わたり しゅん こう</small>	経営B1年	2

講義のねらい

21世紀を担う国際的経済人を養成する為に、日本と米国人の考え方の違い、生活様式の違いといった、比較文化論に重点をおいた講義を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず教材にはいる前に、英語を話す時の基本的発音指導、リエイズンの説明といった基本的発音のし方から、構文の徹底的指導をおこない、教材を通して比較文化論を学ぶ。時には Japan Times、CNN ニュースから興味ある Topics を引用し、英語に親しめる講義内容としたい。

履修上の留意点

授業における学生の役割は予習を原則とし、毎回辞書の持参を義務とする。

成績評価の方法

レポート提出、出席を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『SIMPLY America, SIMPLY Japan (ちょっと日米比較)』(南雲堂) 1,300円+税  
ISBN4-523-17308-7 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山縣裕 <small>やま がた ゆたか</small>	経営B1年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『日常会話に役立つ英語ミニ知識』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4071-7  
『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単語熟語』(南雲堂) 1,100円 ISBN4-523-26418-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [基礎英語特別クラス]	林 明人 <small>はやし あきと</small>	経営B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『構文から学ばやさしい日常英語』(南雲堂) ISBN4-523-17440-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	はまぐち まさき 濱 口 真 木	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として、英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教 科 書

『The Unchanging Face of Great Britain—イギリスの背景を読む—』（金星堂）1,500円  
ISBN4-7647-3797-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。  
1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教 科 書

Sadao Isemura, Dennis R. Kogge 『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円  
ISBN4-590-01115-8

参 考 書 等

中型英語辞典なら何でも可。

そ の 他

水曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだお 伊勢村 定雄	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。

講義の内容・授業スケジュール

音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

丸橋 他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』(英光社) 1,890円  
ISBN4-87097-024-4

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	やまがた ぬたか 山 縣 裕	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日常会話のリスニングにも慣れる。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集と映画シナリオを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『シャイン』(松柏社) 2,100円 ISBN4-88198-561-2  
『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単語熟語』(南雲堂) 1,100円 ISBN4-523-26418-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	経営B2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

# 英 語 Ⅱ A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	芝 田 興太郎 <small>しば た こうたろう</small>	経営B 2年	2

### 講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

(A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3～4篇のESSAY(自由作文)を書き上げる。

(B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

### 履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

### 成績評価の方法

定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

### 教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	大 淵 利 春 <small>おお ぶち とし はる</small>	経営B 2年	2

### 講義のねらい

英作文の練習をとおして、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストの練習問題を解いていきます。同時に小テストも行います。

### 履修上の留意点

予習は必ず行って下さい。また、辞書は必ず持参して下さい。

### 成績評価の方法

前・後期2回のテストの成績をベースとしながら、出席状況、日常の授業態度も考慮に入れ、総合的に評価します。

### 教 科 書

『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川崎 浩太郎 <small>かわ きき こうたろう</small>	経営B2年	2

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とします。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Skills for Better Writing－構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）  
ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	吉川 直澄 <small>まつ かわ なお ずみ</small>	経営B2年	2

講義のねらい

英語IAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

*Expanding Tactics for Listening Test Booklet with CD* (Oxford University Press)  
ISBN0-19-438836-0

# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	しば た こうたろう 芝 田 興太郎	経営B 2年	2

### 講義のねらい

「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

### 履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

### 成績評価の方法

授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

### 教 科 書

Lori Howard 著 Read All About It Book 2 (OXFORD)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経営B 2年	2

### 講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

### 履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

### 成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

### 教 科 書

- 1) 『Dictation with Idioms in Action』(鶴見書店)
- 2) 『Toeic ボキャブラリー・プラクティス—ターゲットは600点—』(英宝社) 1,680円  
ISBN4-269-66017-1
- 3) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	きたむらひろふみ 北村弘文	経営B2年	2

講義のねらい

今年は、特に近年人々の関心が高い、地球の環境問題について取り上げたエッセイを集めたテキストを使用し、総合的な英語力の涵養を目指します。

なお、テキストは、複雑な構文は使わず、平易な英語で書かれているので、速読速解用の恰好な教材として役立つと思います。受講者は、専門用語以外は出来るだけ辞書を使わずに読んで、内容を理解する練習をしてみてください。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

『Planet Problems』（成美堂）1,600円

参考書等

授業中に指示する。

その他

受講者は予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	しみずまさお 清水雅夫	経営B2年	2

講義のねらい

中級程度の英文を、ある程度じっくり読みながら、読解力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストには、20世紀に起こった大事件（タイタニック号の遭難、関東大震災など）についての文章が収められている。学生諸君の意見も聞き、いくつか選んで読むことになるだろう。

履修上の留意点

テキスト本文中の（自分にとっての）新出単語は、必ず辞書でチェックしてくること。

成績評価の方法

各学期の中間、期末テスト、出席点、平常点によって、総合的に評価する。

教科書

『事件でたどる20世紀』（南雲堂）1,890円 ISBN17314-1B-314510284

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おおぐちとしはる 大淵利春	経営B3・4年	2

講義のねらい

総合的な英語力（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを読み進め、リスニングの小テストを行う。

履修上の留意点

予習はしっかり行って下さい。辞書は必ず携帯して下さい。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果をベースにしなが、出席状況その他の日常の授業態度を考慮に入れ、総合的に評価します。

教科書

『New Moments in Science』（成美堂）1,800円



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	町田成男	経営B3・4年	2

講義のねらい

ⅠAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。文章表現の場合、パラグラフから自由英作文を年に3～5回程度提出できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、CDやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	飯沼好永	経営B3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

Charles L. Clark 三原京、福本由紀子、莊中孝之、木村博是著  
*Basically America, Basically Japan* (南雲堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	萩原輝	経営B3・4年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績の評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』(南雲堂) 1,957円

## 〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I	清水 修 <small>しみず おさむ</small>	経営B1年	2

### 講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

### 履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

### 成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

### 教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

### 参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	篠原 敏昭 <small>しの はら とし おき</small>	経営B1年	2

### 講義のねらい

簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

### 講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

### 履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってくること、辞書を必ずもってくること。

### 成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

### 教科書

『CD付き モデル1 問題発見のドイツ語』（三修社）2,600円

### 参考書等

授業の中で指示します。

### その他

CDやビデオをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	やぶ した こう いち 数 下 紘 一	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語と一戦して負けましたね。今年こそは単位とってやると意気込んで下さい。教科書も変わるでしょうし、土曜日の午後、皆が遊んでいるのに学校へ出て来るのはなんともおもしろいものではないでしょうか、今年だけはガマンして単位とって、3年生からの専門科目に立ち向かいましょう。

履修上の留意点

休まないで出て来る事！

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教 科 書

教科書は別のものを使います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A	し みず おほむ 清 水 修	経営B2年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	篠原敏昭 <small>しの ほん とし あき</small>	経営B2年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅠA・ⅠBで習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『体験するドイツ語』（郁文堂）2,600円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	藪下紘一 <small>やぶ した こう いち</small>	経営B3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語は今年で決着つけて4年生になってもらいたいものです。その為には是非出席して下さい。ノートを1冊用意して下さい。

履修上の留意点

土曜日に出て来るのは今年で終わりにしましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教科書

教科書も変わるでしょうから（4月に決めます）

## 〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	八木 明美 <small>やぎ あけみ</small>	経営B1年	2

### 講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

### 成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

### 教科書

斉藤昌三著『新版ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	木下 雄介 <small>きのした ゆうすけ</small>	経営B1年	2

### 講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

### 履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力を怠らなければ、修得はさほど困難ではない。学生諸君の努力に期待するゆえんである。

### 成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

### 教科書

滑川明彦『新・街角のフランス語12課』（三修社）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A・I B 〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たにがわ</small>	経営B2・3・4年	2

### 講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

### 講義の内容・授業スケジュール

基本文法を学んだのち、練習問題やテキスト読解にとりくみ、基礎力を養います。毎回小テストを行い、学んだことを確実に覚えます。

### 履修上の留意点

全員参加の演習方式。辞書は毎回持参すること。

### 成績評価の方法

前期・後期試験の点数に、小テスト、授業への取り組み態度などを加算し、総合的に評価する。

### 教科書

『彼女は食いしん坊』藤田裕二著（朝日出版社）2,500円。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	八木明美	経営B2年	2

講義のねらい

初級文法をひとつおろし学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。  
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	木下雄介	経営B2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた短編小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

土居・石井編『プチ・ニコラ』（駿河台出版社）922円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	長谷川光明	経営B3・4年	2

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊！2』（朝日出版社）2,500円

# 中 国 語

## 中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA

(P.125) 参照

## 中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

(P.126) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	秋元翼	経営B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	王 聡		

### 講義の内容・ 授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

### 履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

### 成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

### 教 科 書

尹景春・竹島毅『《最新版》《中国語初めの一步》』（白水社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	塩旗 伸一郎	経営B1年	2
中国語 I B	上原 かおり		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。  
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

中国語 I A と I B は連動するので、必ずセットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ってしまうのは大なる誤解である。  
缺席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ (改訂版)』(朝日出版社) 2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経営B2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	曹 泰 和	経営B2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業を通して、北京のことを中心に中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』（朝日出版社）2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あきもと たすく 秋 元 翼	経営B2年	2

講義の内容・授業スケジュール

初級の復習をしながら語彙や表現力を増やし、より上の段階へ進める力を養う。会話文を主にした教科書を用いるので、楽しく役に立つ表現が学べる。

履修上の留意点

予習・復習をして授業で習うことを確実に覚えて欲しい。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、授業中、積極的に声を出して欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末テストの結果によって総合的に評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	うえ はら 上 原 かおり	経営B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ基本表現や文法事項の定着を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で繰り返し練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、宿題、出席率で総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろ かね かな こ 弘 兼 加奈子	経営B3・4年	2
中国語ⅡB〔再クラス〕			

講義の内容・  
授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。  
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国路『中国人のくらし』（朝日出版社）1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全	経営B3・4年	2
中国語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

本講座は、一年生で習得した中国語AとBを基礎として、拼音方法の知識を復習しながら、生徒たちの音声を再確認し、さらに短い文を作る能力を高める。  
それからテキストを通じて、中国の風俗習慣や文化をより多く理解することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は原則としてテキストに沿って進みます。  
まず、基本音声「声母・韻母そして声調」等読み方の再復習。それからテキストにある文章と会話の発音を確認しながら意味を説明する。  
授業は教科書をベースとした説明・理解・反復練習などを中心とする。

履修上の留意点

言葉というのは話せることが大事である。ですから、口を開くことが肝心である。繰り返し練習を重ねていけば必ず出来ると信じて欲しい。  
事前の「予習」「復習」が不可欠である。また、何よりも大事である。

成績評価の方法

出席重視と授業態度によって、平常点で評価する。

教科書

陳栄生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,890円

## 〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おお いわ いさお 大 岩 功	経営B1年	2

### 講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

### 履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

### 成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を勘案して総合的に評価します。

### 教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号 (NHK 出版)  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	おお いわ いさお 大 岩 功	経営B1年	2

### 講義のねらい

初級文法を段階的に学習しながら、スペイン語の初歩的な作文能力を身につけることをことをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

I-Bは文法の学習と作文を中心とした演習がメインとなります。1年間で現在時制におけるさまざまな文型を学習する予定です。

### 履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を必ず持参すること。

### 成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

### 教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社)  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

小テスト30%、前後期試験70%の配分で評価。全体の合計が60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

\*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	荻野 雅 司	経営B2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』（同学社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	なか やま なお し 中山 直 次	経営B2年	2

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『やさしいスペイン語』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本項目を解説し、関連問題を解きます。ただし今年度は、文法学習の単調さを避けて授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をはさみます。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『やさしいスペイン語』(白水社) 昨年度からの継続受講者は購入不要  
中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』(白水社) 副教材

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	経営B3・4年	2

講義のねらい

会話表現60文の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに小テストを実施。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくる。基本表現は口をつけて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト(30%)、前後期の期末試験(70%)を合わせて60点以上で合格とする。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)  
\*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

## 〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営B1年	2
ロシア語 I B			

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経営B2・3・4年	2

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

### 教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

### 参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経営B3・4年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

# 英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	なが の こう いち 永 野 光 一	経営B選	2

講義のねらい	英会話の基礎的な力を養成。
講義の内容・授業スケジュール	Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。
履修上の留意点	授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。
成績評価の方法	出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。
教科書	初回授業時に指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	なが の こう いち 永 野 光 一	経営B選	2

講義のねらい	中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にみがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。
履修上の留意点	授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。
成績評価の方法	出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。
教科書	初回授業時に指定。



## 英語 L L I ・ II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIとも TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経営B選	2

### 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

### 履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

### 教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!  
Hisako Murakawa 著 MacMillan Language house 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	やま がた ゆたか 山 縣 裕	経営B選	2

### 講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時にクロズド・キャプションのついた映画のビデオを使い、日常会話を身につける。

### 講義の内容・授業スケジュール

映画を使った授業だが、単語・熟語の小テストも行う。

### 履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

### 成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

### 教 科 書

『シャイン』（松柏社）2,100円 ISBN4-88198-561-2  
『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

## 4. 保 健 体 育 科 目

# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			※村松	卓球	鈴 木	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン			高 橋	空手道		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		
7 時 限	※秋田	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大 石	ニュースポーツ			村 松	卓球		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の担当当事者 \*時間表で教場を確認のこと。

## 4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳 平〉	..... 533
健康・スポーツ論 (前期)	〈田 中 佳 孝〉	..... 534
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村 松 誠〉	..... 535
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	..... 536
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山 口 良 博〉	..... 537
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	..... 538
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	..... 539
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎／応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎／応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松 誠 他〉	... 540
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹田幸夫 他〉	... 541

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営B選	2

#### 講義のねらい

健康であるための条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目：           ク
- 13 時限目：応急処置の実際、テーピング、アイシング等の実習
- 14 時限目：           ク
- 15 時限目：まとめ

#### 成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	たなかよし たか 田中佳孝	経営B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて  
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について  
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて  
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン  
○飲酒  
○喫煙  
○スポーツ  
○外食、甘党  
○ダイエット  
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教科書

なし

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)  
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』  
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を發表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経営B2・3・4年	

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みゆさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経営B2・3・4年	

#### 講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

#### 履修上の留意点

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

#### 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

#### そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま くち よし ひろ 山 口 良 博	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経営B2・3・4年	

#### 講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7～9時限目：ゲーム（2次リーグ）  
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 13～15時限目：ゲーム（トーナメント）

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

#### そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ニュースポーツ)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：〃 〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ：〃 〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ：〃 〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ：〃 〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	経営B選	2

#### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4 月 9 日 (土) 12:20~12:40 2 研-102 教場  
2 回目 4 月 16 日 (土) 12:20~12:40 2 研-102 教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 7 月 22 日 (金) 13:00~16:00 2 研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

- 1 日目 9 月 5 日 (月) 実技: 12:50~17:20 打撃練習  
講義: 10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》  
※注意: 1 日目は、玉川校舎で実施する。
- 2 日目 9 月 6 日 (火) 実技: 13:30~16:30 打撃練習  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
- 3 日目 9 月 7 日 (水) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
- 4 日目 9 月 8 日 (木) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
- 5 日目 9 月 9 日 (金) 実技: 9:00~12:00 ラウンド

#### 履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 1) 実習日程: 9 月 5 日 (月) ~ 9 月 9 日 (金) の 3 泊 5 日 (現地集合解散)
- 2) 場 所: (1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025  
岩手県岩手郡松尾村安比高原  
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100  
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311  
FAX0195-73-5044

- 3) 定 員: 40名
- 4) 集合解散: 現地 (ホテル安比グランド)  
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 5) 受講料: 39,350円 (左記金額には、交通費は含まれない)  
証明書自動発行機 (教務部ロビー設置) で受講料を納入後、納入書を保健体育部 (第 2 研究館 9 階資料室) に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間: 5 月 23 日 (月) ~ 6 月 4 日 (土)

- 6) 服装・用具  
(1) 一般的なゴルフ服装 (セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)  
(2) ゴルフシューズ (ソフトスパイクに限る) は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。  
(3) グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習 (5 日間) によって 2 単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部 (第 2 研究館 9 階資料室) に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	経営B選	2

#### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 2月13日(月)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 2月14日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 2月15日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月16日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月17日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

#### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名  
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健体育

## Ⅱ 専 門 教 育 科 目

### 経営学科フレックス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、  
フレックス A の頁を参照してください。(→P.227)



科  
專  
門  
教  
育  
目



経	済	政	策	〈 休 講 〉		
財		政	学	〈 速 水 昇 〉	579	
金		融	論	〈 渡 部 訓 〉	579	
国	際	經	論	〈 永 田 智 則 〉	580	
日	本	市	論	〈 羽 鳥 藤 茂 〉	581	
証	券	場	論	〈 佐 藤 逸 昇 〉	582	
計	量	濟	学	〈 吳 田 尚 子 〉	583	
イ	ノ	一	論	〈 羽 田 尚 子 〉	584	
日	本	經	史	〈 渡 田 新 久 〉	585	
經	營	科	学	概 論	586	
情	報	処	理	Ⅱ	587	
情	報	処	理	Ⅲ	588	
情	報	理	論	〈 西 村 和 夫 〉	589	
経	營	科	学	〈 休 講 〉		
経	營	情	報	論	590	
シ	ス	テ	ム	論	591	
統	計	營	統	論	591	
経	民	商	法	論	592	
民	商	法	法	論	593	
商	法	法	法	論	593	
法	法	法	法	論	594	
演	演	演	演	演	595	
演	演	演	演	演	595	
演	演	演	演	演	596	
演	演	演	演	演	596	
演	演	演	演	演	597	
演	演	演	演	演	597	
演	演	演	演	演	598	
演	演	演	演	演	599	
演	演	演	演	演	599	
演	演	演	演	演	600	
外	書	講	読	（ 英 書 ）	600	
外	書	講	読	（ 英 書 ）	600	
ビ	ジ	ネ	ス	英 語	601	
演	演	演	演	演	601	
演	演	演	演	演	602	
演	演	演	演	演	602	
演	演	演	演	演	603	
演	演	演	演	演	603	
演	演	演	演	演	604	
演	演	演	演	演	604	
演	演	演	演	演	605	
演	演	演	演	演	606	

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営B1必	4

#### 講義のねらい

経営学全般を学ぶうえで、必須となる基礎概念の理解に努める。前期では現代社会におけるさまざまな組織体のうち企業、なかでも株式会社の仕組みと行動についての考察が中心となる。後期では、国際化・情報化・経済の成熟化といった、企業を取りまく経済社会の状況の変化に応じて、企業経営はこれまでどのように対処してきたのか、また今後どのように進化していくのか、検討していくことにしたい。そして1年間の講義を通じ、企業には多様な参加者が関わっており、企業が維持・成長していくためには多くの問題解決技法が必要であることを理解してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 企業とは何か
2. 株式会社の仕組みと特徴
3. コーポレート・ガバナンス（日米独の比較）
4. 経営とは何か
5. 社会科学における経営学の位置づけ
6. 代表的な経営学説
7. 経営戦略
8. 組織のメカニズム
9. 日本的経営の特徴
10. 現代社会と企業経営

#### 履修上の留意点

講義後に感想を書いてもらうこともあるので、毎回の講義に際しては、目的意識をもって取り組んでほしい。

また、日頃からニュース（時事問題）をチェックし、ビジネス分野ばかりでなく、広く社会現象全般に関心を持ってほしい。

#### 成績評価の方法

主として二度実施される試験結果を中心に評定する（前期30%、後期70%）。なお、両試験とも三分の二以上講義に出席していないと受験できないので注意すること。講義中などに行われる小レポートについては、内容によって、評定に加えることもある。

#### 教科書

藤芳誠一ほか『日本の経営革命』（文泉堂）2001年

#### 参考書等

開講後に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	たかだみつあき 高田光明	経営B1必	4

### 講義のねらい

#### 〔複式簿記〕

この授業では、企業が採用している簿記システムである複式簿記について学ぶ。  
企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを製品として生産し販売するという営業活動を遂行する。こうした営業活動として具体化しているのが、資本の運用活動である。生産した製品が社会に受け入れられ販売が順調に進めば、製品の販売により回収獲得されてくる資本は、生産要素の取得に投じた資本よりも増加している。企業の営業活動を通じた資本のこのような自己増殖分が利益である。他方、製品が期待したようには社会に受け入れられず販売が滞り、製品の販売により回収獲得されてくる資本が、生産要素の取得に投じた資本よりも少なく、営業活動で資本が減少してしまうこともある。このような資本の目減り分が損失である。

企業が資本調達活動や、購買・生産・販売という営業活動として観察される資本の運用活動を実施すると、企業資本が増減変化する。企業が資本を調達すれば、その資本を具体化している現金の増加という形をとって企業資本の有高がそれだけ増加する。調達資本で営業活動を遂行していくと、資本は調達時の現金の状態から、原材料や機械といった非現金資産に転換し、さらにはその姿を次々と変え、最終的には元の現金の状態に戻ってくる。そして、営業活動が順調に推移するならば、この過程を通じて資本は自己増殖しているという具合である。企業の諸活動に伴う以上のような資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

#### 〔大学における簿記学〕

簿記学は、大学における会計関係の科目を学ぶ基礎・出発点としての位置にある。簿記学のカリキュラム上におけるこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるため、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを、系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、授業の前半では、次の順番で授業を進めていく。

1. 資本と資産
2. 勘定の記入
3. 取引の分解
4. 収益と費用
5. 仕訳と転記
6. 試算表
7. 精算表と財務諸表
8. 決算と決算手続

### 履修上の留意点

簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

### 成績評価の方法

期末の筆記試験と、適宜提出を求める記帳練習問題を総合して評価する。

### 教科書

沼田嘉穂著『簿記教科書』（同文館）  
 同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

### 参考書等

染谷恭次郎著『簿記の手ほどき』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	みずのけいこ 水野恵子	経営B1必	4

#### 講義のねらい

この講義は、大学で初めて「簿記」を学習しようとする学生を対象に日商3級レベルの内容について講義を行います。簿記は、単に頭の中で学習するのみでは理解できず、練習問題を数多く解くことにより簿記の力をつけてもらうのがねらいです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前期

1. 簿記の目的と損益計算書・貸借対照表との関係
2. 取引と仕訳および転記
3. 仕訳帳と総勘定元帳
4. 簿記一巡の流れ（Ⅰ）－試算表－
5. 簿記一巡の流れ（Ⅱ）－精算表－
6. 決算－決算手続の流れ・総勘定元帳の締切－

##### 後期

1. 現金預金・手形の記帳方法
2. 商品売買取引と記帳方法
3. 有価証券、その他の債権・債務の記帳方法
4. その他の勘定の記帳方法
5. 主要簿と補助簿
6. 試算表と伝票
7. 決算整理
8. 損益計算書および貸借対照表の作成

#### 履修上の留意点

コツコツ努力してほしい。

#### 成績評価の方法

出席状況、定期試験等総合的に評価します。なお、出席状況、学習意欲を重視します。

#### 教科書

中村義彦編著『基本簿記演習』三訂版（プレスウエーブ）1,700円  
ISBN4-944094-01-9 C3034  
『日商簿記検定テキスト基本問題集三訂版』（実教出版）619円  
ISBN4-407-04623-6 C2034

#### 参考書等

適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	田 辺 <sup>なべ</sup> 正 <sup>ただし</sup>	経営B1必	4

講義のねらい

この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 簿記の基礎概念
2. 簿記一巡
3. 現金預金取引
4. 小口現金
5. 商品売買取引
6. その他の債権債務
7. 手形取引
8. 有価証券
9. 固定資産
10. 資本
11. 決算

履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教 科 書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
簿記学	おおのまん な 大野満奈	経営B1必	4

#### 講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に進学する者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

##### 後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

#### 履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

#### 成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

#### 教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	あがしひろゆき 明 石 博 行	経営B1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

20世紀の経済学の2大学派である近代経済学派とマルクス経済学派の経済学について、入門的な講義をします。また、これらの学派から相対的に独立して発展してきた制度学派の経済学についても、両学派の経済学とくにマルクス経済学と関連させて講義をします。これらの諸学派は内部にさまざまな学派や潮流を含んでいます。いずれも21世紀には大きく変貌してゆくと考えられますが、20世紀の経済学を支配したこれらの学派の理論を学ぶことは有益です。経済学をはじめて学ぶ学生が、それぞれの経済観や理論の基本、およびそれぞれの学派の相違を理解できるようにすることをめざし、この講義を進めます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は序章と3つの編にわけて行います。第1編では近代経済学の基礎について、第2編ではマルクス経済学の基礎について、説明します。第3編では、両学派の経済観の相違をふまえて、公共経済と世界経済について説明します。さらに、第2編を中心に、制度学派の経済学についても説明します。

講義はおおよそつぎの順序で進めます。

- 序章 経済観と経済学
- 第1編 近代経済学
  - 第1章 需要と供給
  - 第2章 市場均衡
  - 第3章 経済厚生と不確実性
  - 第4章 国民経済計算の基礎
  - 第5章 マクロ経済学の基礎理論
  - 第6章 インフレとデフレ
  - 第7章 マクロ経済学のミクロ的基礎
- 第2編 マルクス経済学
  - 第8章 商品と貨幣
  - 第9章 資本と企業
  - 第10章 賃金制度
  - 第11章 再生産と失業
  - 第12章 資本と利潤
  - 第13章 商業と信用
  - 第14章 豊かさと言困
- 第3編 公共経済と世界経済
  - 第15章 資本制国家と公共経済
  - 第16章 国際貿易と国際通貨
  - 第17章 多国籍企業と帝国主義

#### 成績評価の方法

定期試験の結果に平常点（出席および課題への対応）を加味し、総合的に評価をします。

#### 教 科 書

塩澤修平『基礎コース・経済学』（新世社）2,000円＋税  
名和隆央『経済学入門コース－経済学の不思議に答える』（緑風出版）1,900円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学	高木克己 <small>たかき かつみ</small>	経営B1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、企業活動の国際化に伴い、会計制度も大きく変わろうとしている。その中で、我々は、個人又は組織体としていろいろな経済活動を行なっている。このような経済活動を営む主体を経済主体というが、会計の役割は、この経済主体が行なう経済活動及びこれに派生して起こる経済事象を、主として貨幣額で測定・記録・報告をすることにある。会計学は、通常、株式会社の会計を研究対象とする学問である。

本講義では、簿記学を学ぶ上でも参考になるように、企業会計の仕組みを明らかにしていくことにする。特に、企業会計に大きな影響を及ぼしている国際会計基準(国際財務報告基準)、商法、証券取引法、法人税法等の規定との関係、あるいは、近時、次々と公表されている会計処理基準についても、できるだけやさしく説明しながら、その根拠、背景を明らかにしていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 会計の意義・役割等
2. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書
3. 企業会計の理論構造
  - (1) 会計公準
  - (2) 企業会計原則
  - (3) 国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
  - (1) 商法による会計規定
  - (2) 証券取引法による会計規定
  - (3) 法人税法による会計規定
5. 資産会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 評価基準
6. 負債会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 引当金、社債等
7. 資本金会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 利益剰余金、資本剰余金、自己株式
8. 損益会計
  - (1) 意義と分類
  - (2) 損益の認識基準
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

#### 履修上の留意点

簿記学での学習と常に平行しながら、受講するとより理解が深まると思われる。この分野の勉強をより深めるには、2年次以降履修可能な財務会計論を履修するとよい。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。

#### 教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 数 学	飯 田 哲 夫	経部・経営A1・2・3・4履	4

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参 考 書 等

講義中に適宜紹介する。

そ の 他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎(前期)	ほう 包 しょう 捷	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

ネットワーク環境にあるコンピュータの基本的扱い方を、実習を中心に学び、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義の内容：(1) コンピュータの基本操作(電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方)；(2) 日本語入力、Wordによる文書の作成；(3) インターネットと電子メールの活用；(4) Excelによる基本的なデータの処理；(5) ホームページ作成入門

履修上の留意点

1回休むと、次回の実習内容が分からなくなるので、基本的には毎回出席すること。

成績評価の方法

毎回の授業で、出席の確認として、課題を提出していただく。出席状況、課題の提出状況及び完成度から評価を行う。

教科書

太田忠一編/植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150円

参考書等

必要に応じて参考図書を紹介する。

その他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
 [クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎(前期)	よ だ ぎよし 依 田 聖	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具(情報収集、情報伝達、レポートの作成等)として使う基本的な力(コンピュータ・リテラシー)を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は(1)PCの操作(Windowsの基本操作)(2)WWW(ブラウザの使用法、情報検索・収集)(3)電子メール(送受信、添付ファイル、アドレス帳)(4)ワープロ(操作法、文書作成、印刷)

履修上の留意点

本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分らないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。

成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社) 2004年 1,995円

その他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
 [クラス定員] 60名  
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	かとう たけのぶ 加藤 武信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作  
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフト Word による文書作成  
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図(基本レベル)  
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成  
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用  
Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版) 2,300円 (改訂版を使用)

その他

授業の方法：パソコン実習  
〔クラス定員〕 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	ほう しゅう 包 捷	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生活及びビジネスの場面で必要不可欠のコンピュータの活用能力を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義の内容：(1) Excel によるデータの活用(統計分析、データ抽出、グラフ作成)；(2) プレゼンテーションの作成；(3) 各種ソフトウェアの連携利用；(4) インターネットと WWW の仕組み；(5) Web サイトの作成

履修上の留意点

1 回休むと、次回の実習内容が分からなくなるので、基本的には毎回出席すること。

成績評価の方法

毎回の授業で、出席の確認として、課題を提出していただく。出席状況、課題の提出状況及び完成度から評価を行う。

教科書

太田忠一編/植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150円

参考書等

必要に応じて参考図書を紹介する。

その他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式  
〔クラス定員〕 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	依田 聖	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www-ワープロ-エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)HPの作成(HTML言語でHPを作成)(4)パワーポイント入門

履修上の留意点

本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。

成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社)2004年1,995円

その他

授業の方法: パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	加藤 武信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)表計算ソフト Excel による応用処理  
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2)プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化  
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3)データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理  
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版)2,300円 (改訂版を使用)

参考書等

授業の中で示す

その他

授業の方法: パソコン実習  
〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 経 営 学	たか 高 橋 成 夫	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
  - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
  - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
  - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
  - (1) 意思決定志向的経営経済学
  - (2) システム志向的経営経済学
  - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）  
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
  - (1) テイラーの科学的管理論
  - (2) 管理過程論（職能論）
  - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
  - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
  - (2) 行動科学的管理論
  - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
  - (1) バーナード革命
  - (2) 組織論的管理論
  - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代企業論
  - (1) 環境適応的管理論
  - (2) 戦略的管理論
  - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

毎回出席をとり、カードにより質問・意見・要望を次回授業に反映させる。

成績評価の方法

成績は前・後期の中間テストと平常点により評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年  
 鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』（税務経理協会）2001年5月  
 鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	かしまひてあき 鹿嶋秀晃	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

#### 教科書

テキストは特に指定しない。

#### 参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』ミネルヴァ書房、1993(定価3000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995(定価2600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992(定価3500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生産管理論	藤原篤志	経営B・経営A2・3・4履	4

#### 講義のねらい

生産管理は製造企業における一経営活動である生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。そしてそれは機能別・職能別に様々な管理・活動から構成されている。

本講義では様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説する。また企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げて解説したい。

また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

後期では、まず生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説する。その他、生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う予定である。その他、時間があれば、新たな生産方式（セル生産方式やモジュール生産方式）についても取り上げる。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

#### 履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

#### 成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

山下高之『体系生産管理論』（中央経済社）1990年  
その他、講義の中で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング論	かねむら い てつ 兼 村 栄 哲	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性  
・経済的懸隔の意義と内容 ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能  
・流通機能の意義と領域 ・流通フロー
- 2) 流通機構  
・流通機関の意義と内容 ・卸売業者の意義と分類 ・小売業者の意義と分類 ・流通の  
客體  
・流通機構を取り巻く環境 ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭  
・商業者の存立根拠 ・流通における商業者の地位の後退  
・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔ミクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割  
・経営戦略 ・マーケティングの役割 ・マーケティング・コンセプト ・マーケティング  
概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理  
・マーケティング管理過程 ・環境分析 ・市場細分化 ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念  
・市場の2義性 ・消費財市場と産業財市場の比較 ・市場構造
- 4) 製品政策の領域  
・製品の意義 ・製品ミックス ・新製品の意義 ・新製品開発プロセス ・製品ライフ・  
サイクル  
・製品廃棄と計画的陳腐化 ・ブランドの意義と役割 ・ブランドの分類
- 5) 価格政策の領域  
・価格の設定方法 ・新製品導入時の価格設定方法 ・価格の管理方法
- 6) チャネル政策の領域  
・チャネル・タイプ ・チャネルの構築方法 ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション政策の領域  
・広告活動 ・人的販売活動 ・販売促進活動 ・パブリシティ活動
- 8) 市場調査活動

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

## 教科書

開講時に指定する。

## 参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年  
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年  
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（改訂版）（同文館）2003年  
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

## その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論-とくに、「2）流通機構 ・小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論-とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 ・経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学-とくに、「3）市場概念 ・市場の2義性」、「同 ・市場構造」、  
「5）価格政策の領域 ・価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計-とくに、「8）市場調査活動」において。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

##### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態で通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

##### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけって意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

#### 教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

#### 参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 も が き ひろ し	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の経営戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営(日米欧多国籍企業比較)、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

#### 成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

#### 教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

#### 参 考 書 等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

#### そ の 他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこ。必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	なかむらこういち 中村公一	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

- 1、経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学說的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）
- 2、企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略・社内ベンチャー、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グローバル戦略など）
- 3、企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；バリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

#### 履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

#### 教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

#### 参考書等

- ・中村公一『M&A マネジメントと競争優位』（白桃書房）
- ・経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝他『経営戦略』（有斐閣）が役に立つだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
企業形態論	かがみ ようこ 各務洋子	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動態的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、歴史的発展の過程、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質を学び、現代社会における企業行動の理解を深める。企業に関する時事ニュースも同時に取り上げ、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

取り上げるテーマは以下の通りである。

1. 企業論と企業形態論：企業概念（企業理論への道程）
  - ・企業の法律形態（個人企業、組合企業、会社企業）
  - ・企業形態の本質的意味・企業の資本調達メカニズム
2. 単独出資者の企業：経済形態としての個人企業
  - ・法律形態としての個人企業・個人企業の実態
3. 少数出資者の企業：少数集団企業の特質（人的集団企業と混合的集団企業）
  - ・合名会社と合資会社の制度と本質・有限会社の制度と本質
4. 出資者多数の企業：株式会社
  - ・株式会社制度の特質・株式会社制度の歴史的変遷・株式会社の実態
  - ・株式会社とガバナンス（コーポレート・ガバナンスの意味、ガバナンス論争の背景、ガバナンス制度導入の実態—執行役員制度、持株会社制度等）
5. 株式公開会社と資本市場：株式公開の意味、企業成長と市場評価
6. 株式会社のトップ・マネジメントの制度と実態：日本のトップ・マネジメント組織
  - ・株主総会・取締役会・監査役会・執行役員と取締役会改革・諸外国のトップ・マネジメント制度とその実態
7. 中小企業の企業形態：中小企業の特質
  - ・中小企業の類型化・下請け企業・ベンチャー企業、地域における中小企業集積・中小企業の組織化・組合制度の現状と課題
8. 企業結合の諸形態：市場経済における企業結合の必要性
  - ・企業の境界と取引費用・企業結合形態の多様性・企業結合形態の国際比較・M&Aと戦略的提携
9. 企業の国際化と多国籍企業：企業の国際化の背景と推移
  - ・多国籍企業の戦略と組織・国際化と経営課題
10. 公企業と公的サービスの供給方法の多様化：公企業の本質
  - ・公企業の存在意義と固有の属性・公企業の経営原則・公企業の経営形態・公的サービスの供給方法の多様化
11. 公企業の民営化：民営化の概念
  - ・世界的潮流としての民営化とその背景、目的
  - ・日本の公企業民営化

#### 成績評価の方法

年2回の定期試験と、講義の終わりに小レポート（複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）、前期試験（30%）、後期試験（40%）によって総合評価する。

#### 教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年  
その他、参考文献は適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	すがやみのる 菅 谷 実	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)  
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)  
〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)  
〈規制課題〉
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPOの役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営史	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
  - II. 企業経営発達史
    1. 企業経営の生成  
商人資本の経営、マニファクチュア経営
    2. 企業経営の確立  
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
    3. 企業経営の発展  
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
    4. 企業経営の変容  
大企業体制の同様と新傾向
- 以上のうち、前期において企業経営の確立のうち企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おおしま ひさゆき 大島久幸	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場(1) 12. 専門経営者の登場(2) 13. 前期のまとめ
- 【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』(新曜社)1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』(有斐閣)1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』(税務経理協会)2002年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしなざか くにあき 石名坂邦昭	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房)3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 経 営 論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と不良債権問題
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

#### 履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

#### 教科書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財外国為替貿易研究会)2001年 2,700円

#### 参考書等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社)2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社)2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社)2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説 わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社)2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 経 営 論	いし かわ かず お 石 川 和 男	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能Ⅰ（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能Ⅱ（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 小売マーケティングの事例
- 11 卸売とその営業形態
- 12 卸売業の構造と変化
- 13 卸売マーケティング
- 14 卸売マーケティングの事例
- 15 予算管理と販売管理
- 16 商品回転率と価格政策
- 17 仕入管理と売買契約
- 18 在庫管理
- 19 消費者行動の変化
- 20 商業立地と商業集積
- 21 商業・流通を取り巻く法的環境
- 22 流通政策Ⅰ（競争政策と振興政策）
- 23 流通政策Ⅱ（調整政策）
- 24 中小零細商業者問題
- 25 中小零細商業者の将来
- 26 日本の商業環境と商慣行Ⅰ
- 27 日本の商業環境と商慣行Ⅱ
- 28 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
- 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
- 3 他人との会話などを授業中はしない
- 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
- 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）

成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点）約30%、中間レポートまたは中間試験約30%、期末試験約40%

教 科 書

特に指定しない

参 考 書 等

石川和男『基礎からの商業と流通』（中央経済社）2004年  
鈴木安昭『新・流通と商業（第3版）』（有斐閣）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	お だ みき お 雄 小 田 幹 雄	経営B・経営A2・3・4履	4

#### 講義のねらい

商業簿記の基礎学習を終えた学生を対象とする講座で、やや高度な内容を加えて、簿記の知識を一層深めてもらうクラスで、簿記の知識の応用を目的に講義と共に計算練習を行う。簿記の学習は受講生の積極的な取り組みが必要なので、欠席の無いようにして欲しい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まずは、日商簿記の3級のおさらいから始める事にする。例年、簿記の原理を良く理解しないで上級簿記を受講する学生が多く見られる傾向があるからである。講義の内容は大まかに次のようになる。

- I 諸取引の仕訳：現金預金・有価証券・商品。特殊な商品売買・手形の保証債務など
- II 株式会社会計：資本・利益処分と損失の処理・社債・株式会社の税金など
- III 本支店の会計：本支店間の取引・合併財務諸表・内部利益の控除など
- IV 特殊な仕訳帳：多桁式仕訳帳・特殊仕訳帳・伝票会計など

#### 履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと意外にはない」との私の教育方針から、練習問題を多く解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

#### 成績評価の方法

講義時のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

#### 教 科 書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト－商業簿記－中級編』（共栄出版） 2,000円程度  
中村義彦編著『展開簿記演習』（プレスウェーブ） 1,800円程度

#### 参 考 書 等

鵜飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店） 2,625円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

- (1) 授業の方式は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方と計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ
- 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量(EOQ)の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算(ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バランスド・スコアカード(BSC)
- 第17回 業務的意思決定Ⅰ
- 第18回 業務的意思決定Ⅱ
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定Ⅰ
- 第21回 設備投資の意思決定Ⅱ
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

#### 履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

#### 成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

#### 教科書

テキストは開講時に指示する。  
例題および練習問題は授業中に配布する。

#### 参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。  
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

#### その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。なお、この科目は再試験を実施しない。



科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	阿部一人	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
 もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実に存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的 (総論)(1)
  - (1) 監査の必要 (2) 監査の意義
  - (3) 監査の対象
2. 会計監査の意義と目的(2)
  - (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷
  - (3) 監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査
  - (3) その他の監査制度
8. 監査基準(1)
  - (1) 必要性 (2) 生成と展開
9. 監査基準(2)
  - (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準
  - (4) 実施基準 (5) 報告基準
10. 監査人
  11. 監査証拠
  12. 監査計画
  13. 内部統制
  14. 試算
  15. 監査技術と監査手続
  16. 監査調書
  17. 監査報告書
  18. 連結財務諸表の監査
  19. 中間財務諸表の監査
  20. システム監査
  21. 国際監査基準
  22. 現代監査論の動向
    - (1) 監査概念の拡大化
    - (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円  
 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
 山崎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かたきりのぶお 片 桐 伸 夫	経B・経A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教 科 書

開講時、指示します。

#### 参 考 書 等

随時、紹介します。

#### そ の 他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際会計論	山田純平 <small>やま だ じゅん ぺい</small>	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

近年、企業活動の国際化に伴い、会計の分野においても急速な国際化が進みつつある。このような状況をふまえ、本講義では、①会計で国際的視点が必要とされる理由、②国際的な会計基準の動向とその背景となる考え方、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 企業活動の国際化と会計（会計に影響を与える要因、会計の役割と様々な会計モデル）
- 2 国際的な会計基準の動向（金融商品、業績報告、企業結合、概念フレームワーク、基準設定主体など）
- 3 多国籍企業の財務諸表分析

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とする。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説する。

成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

教科書

ミューラー他（野村健太郎他監訳）『国際会計入門《第4版》』（中央経済社）1999年

参考書等

教科書の内容は少し古くなっているため、授業中に補足資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代経済学	滝田公一 <small>たき た こう いち</small>	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業及び産業の経済学分析を目的とするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 市場支配力の厚生経済学
- 第3回 企業の理論
- 第4回 支配的企業の理論
- 第5回 非線形価格付けと製品差別化
- 第6回 ゲームの理論Ⅰ
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論Ⅱ
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第12回 企業の戦略的行動
- 第13回 研究開発投資
- 第14回 垂直的統合と垂直的制約
- 第15回 水平的合併
- 第16回 産業規制の経済理論
- 第17回 自然独占に対する最適価格付け

履修上の留意点

特にありません。

成績評価の方法

年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

J. Chruch and R. Ware, Industrial Organization, McGraw - Hill, 2000  
 J.M. Perloff and D.W. Carlton, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.  
 ロジャー・クラーク、現代産業組織論、多賀出版、1989  
 新庄浩二ほか、産業組織論、有斐閣ブックス、1995

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はやみ のぼる 速水昇	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

#### 成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

#### 教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	わたなべ さとし 渡部 訓	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義は、担当技官の日本銀行、BIS、預金保険機構における金融実務経験を踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

講義の狙いとしては、①金融の基礎からスタートして、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引に亘る幅広い応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを構築するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行審査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリタイゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェイスを図ることを目標としています。

（前期）下掲の教科書を中心に、上記①の金融の基礎および応用分野を理解する前提となる理論的なフレームワーク習得に向けた説明を行います。

（後期）前期の後半部分を説明した後、上記②に関する問題提起と問題解決に向けた議論を行います。

#### 履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

#### 成績評価の方法

前期末に中間レポートの提出を課すほか、後期末に筆記試験を行います。

#### 教科書

黒田晃生著『入門金融（第3版）』（東洋経済新報社） 2,300円

#### 参考書等

日本銀行金融研究所編『新しい日本銀行その機能と業務（増補版）』

#### その他

毎回、授業の中で、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	なが た とも のり 永 田 智 則	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は、現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

#### 履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

#### 教科書

仙頭佳樹著『最もやさしい国際経済学』（多賀出版）2,800円

#### 参考書等

随時必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は 羽 鳥 茂 とり しげる	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

#### 成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

#### 教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年  
3,200円

#### 参考書等

講義の進み具合に応じて適時紹介します。

#### その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
証券市場論	佐藤昇 <small>さとうのぼる</small>	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤昇ほか著「入門 現代の証券市場（第2版）」（東洋経済新報社）2,800円

参考書等

授業中に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	呉 逸良 <small>いつりょう</small>	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。
- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
  - (3) 統計学の基礎知識 (II)
  - (4～8) 単純回帰モデル
  - (9～11) 重回帰モデル
  - (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I)
- (後期) TSP を利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSP の扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSP を用いて演習を行う。
- (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
  - (15・16) TSP の基礎および練習
  - (17・18) Chow Test と予測
  - (19・20) ダミー変数
  - (21～23) 系列相関
  - (24～) 復習・授業中試験

#### 履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

#### 成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に先行、試験での持ち込みは自由。

#### 教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 2003 2,800円(税別)

#### 参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)  
 袁谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)  
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)  
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)  
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)  
 袁谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel と TSP 入門』(多賀出版)  
 縄田和満『TSP による計量経済分析入門』(朝倉書店)  
 和合肇、伴金美『TSP による経済データの分析』(東京大学出版会)



科目名	担当者名	配当学科	単位
イノベーション論	はねだしょうこ 羽田尚子	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義ではイノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるのか、どのような主体が関わっているのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといったイノベーションを理解するうえで重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発や改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。

講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。

- ・イノベーションとは何か、その特質や役割
- ・企業戦略におけるイノベーションの役割
- ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策
- ・ベンチャー企業とイノベーション
- ・イノベーションにおける大学の役割、TLO 事業
- ・ナショナルイノベーションシステム
- ・日本のイノベーションシステムの課題と展望

履修上の留意点

一次関数、二次関数、連立方程式などの初歩的な数学を使う（その都度解説は入れる）。経済学の基本的な知識があると望ましい。

第一回目の講義で、数学の QUIZ および講義内容に関する簡単なアンケートを実施する。これらは受講生の理解度を把握し、講義内容に反映させる目的で実施するので、評価には関係しない。

成績評価の方法

試験（前期末、後期末の2回）と宿題（計算や小レポート：前期後期計8回）を実施する。試験60%、宿題40%により評価する。

教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2,800円

参考書等

小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）  
後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

その他

前期末試験を受けなかった者は、評価対象外とするので注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	わた なべ 渡 辺 新	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経済史には、大別して二つのタイプがある。第1は、原始古代から現代に至る経済史の諸段階について、それぞれの時代の解明に独自の意義を認め、諸時代を取り扱っていくタイプである。第2は、その主要な対象を資本主義の歴史に置き、その理解に必要な限りでごく簡単に前近代にもさかのぼるといふタイプである。この講義では、前期に第1のタイプを行う。この日本列島に、私たち人類が住み始めてから数万年の歴史が経過しているが、人びとが生活し、社会を形成し、国家を構成している以上、そこには社会経済的な営みは行われている。資本主義経済に先行する社会ではどのような経済構造であったのか、また私たちが住む資本主義経済をどのように生み出してきたのか、それを解明するのが前期の講義内容ならびに目的である。しかし、経済学の主たる対象が現代経済（資本主義経済）にあるのだから、経済史もその認識を深めるために資本主義の歴史を扱わなければならない。そこで、後期は日本資本主義の発達史を検討する。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はただか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。後期の講義では、日本の資本主義経済を歴史的にみていくことによって現代日本の歴史的な位置を考えていきたい。そして、前・後期の講義を通じ、経済史の基礎知識、歴史的な考え方を学べるようにしていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 【前期の主要講義内容】

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| (1) 狩猟採集経済と農業生産の始まり | (2) 律令国家の社会経済システム |
| (3) 戦国大名の経済政策と大閥検地  | (4) 幕藩制国家の社会経済構造  |
| (5) 明治維新の社会経済構造     |                   |

##### 【後期の主要講義内容】

- |                     |               |            |
|---------------------|---------------|------------|
| (1) 日本の産業革命         | (2) 政商と財閥     | (3) 地主制の構造 |
| (4) 大正デモクラシーの社会経済構造 | (5) 昭和恐慌と高橋財政 |            |
| (6) 十五年戦争下の日本経済     | (7) 敗戦と戦後改革   |            |
| (8) 高度経済成長の歴史構造     |               |            |

#### 履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

#### 成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	小沢利久	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術の他に、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（狭義の経営工学）・OR（オペレーションズ・リサーチ）をはじめとする経営管理技術の導入を図り、実践することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し遂げた。この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

まず1では、この講義で扱う学問領域（経営科学あるいは経営工学と呼ばれている）を概観する。2～5では経営科学・経営工学が対象とする経営管理の諸分野ごとに、関連する話題とそこで用いられている管理手法について解説する。

前期

1. 経営科学・経営工学とは
  - (1)対象分野、歴史、問題発見と解決のプロセス、発想法
2. 生産管理に関連して
  - (2)生産方式とその変遷
  - (3)生産計画：MRP（資材所要量計画）、JIT、TOC（制約条件理論）
  - (4)インダストリアルエンジニアリング：作業研究、作業測定
  - (5)オペレーションズ・リサーチ：線形計画法、在庫モデル、PERT/CPM、待ち行列理論、シミュレーション、システムの信頼性解析
  - (6)サプライチェーンマネジメントと情報通信技術

後期

3. 販売管理に関連して
  - (7)マーケティング活動と販売計画
  - (8)需要予測とデータ解析：回帰分析、移動平均と対移動平均比率法、製品普及モデル、データマイニング
4. 品質管理に関連して
  - (9)品質の保証、総合的品質管理、企業に対する要求（ISO9000など）
  - (10)品質管理手法：QC7つ道具、管理図、抜き取り検査
5. 財務管理に関連して
  - (11)経済性工学：損益分岐点、資金の時間的価値、設備投資案の経済計算

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は必要としない。教科書は指定しないので、毎回出席してきちんとノートをとること。理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）  
徳山博子他著『生産マネジメント』（朝倉書店）  
古殿幸雄『経営科学・経営工学』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅱ(前期)	宇谷明秀	経営B2・3・4選	2

#### 講義のねらい

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義(6～7回)  
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習(5～6回)  
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

#### 履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておくが良い。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

#### 成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

#### 教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

#### その他

〔クラス定員〕60名  
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅲ(後期)	宇谷明秀 <small>うたに あき ひで</small>	経営B2・3・4選	2

#### 講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義 (3～4回)  
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する (様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。
2. プログラミング技術の講義 (4～5回)  
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発 (3～4回)  
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

#### 履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておく和良好的。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

#### 成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

#### 教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

#### その他

[クラス定員] 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論  
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	経営B・経営A2・3・4履	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 4月 3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月 3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月 4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月 3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月 2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月 2回 符号化(JISコード、万国共通文字符号)、対数・情報量の中間試験
- 10月 2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月 2回 遷移確率と同時確率
- 11月 1回 エントロピーの定義
- 12月 2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月 1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月 1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。  
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井徹雄	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営情報とシステムの観点（前期）
  - (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）  
情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
  - (2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）  
情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。
  - (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）  
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。
- II. 情報の利用技術（後期）
  - (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）  
調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。
  - (2) シミュレーション（11月～12月：4週）  
複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。
  - (3) DSSとES（12月～1月：3週）  
人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄法著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
システム論	宇谷明秀	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピュータシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計原論	山内慎二	経営B・経営A2・3・4選	4

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。  
 序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回  
 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回  
 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回  
 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回  
 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回  
 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回  
 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回  
 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回  
 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回  
 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001 1,500円（税別）

参考書等

数値表としての参考書：  
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）  
 P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,650円（税別）

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ 長 国 強 <small>きょう</small>	経営B・経営A2・3・4履	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。  
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念  
 統計特性値：平均、分散、正規分布  
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理  
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測  
 経営指数：物価指数、  
 数量指数統計の意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独白かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	お 織 田 晃 子	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
  - (1) 自然人
    - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
  - (2) 法人
    - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
    - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
  - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
  - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
  - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参考書等

コンパクト六法（岩波）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法	す ず 木 ち か こ	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

商法第二編会社編（通称会社法）について講義する。会社の成立から消滅に至るまでのさまざまな法律関係について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

会社法の中でも株式会社を中心に上げたいが、設立方法、株式やさまざまな株主の権利、会社の運営機構、資金調達方法、企業結合など、受講者が身近に感じているであろう問題を取り上げて、興味をさらに広げるきっかけとなるようにしたい。

成績評価の方法

成績評価は期末試験によって行うが、時々授業時間内で簡単なレポートを書いてもらうことも考えている（成績評価に反映させるか否かは未定）。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	ふじもと しげる 藤本 茂	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集团的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

#### 成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

#### 教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

#### 参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法	おくむらまさろう 奥村正郎	経営B・経営A2・3・4選	4

#### 講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

#### 履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

#### 成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

速水昇他著 仮題『政府の役割と租税』（学文社）

#### 参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

#### その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおのまんな 大野満奈	経営B 3選	4

#### 講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

#### 履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

#### 成績評価の方法

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。

#### その他

合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	小 沢 利 久 <small>お ざわ とし ひさ</small>	経営B 3選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などの経営科学の基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）を Excel 上で行うためのやや高度な Excel の使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるための商品企画発表会などを行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	小 田 幹 雄 <small>お だ みき お</small>	経営B 3選	4

講義のねらい

現在の不況が続くなか就職戦線も厳しく、バブル時代のように企業は新人教育を時間をかけて育成する余裕が無くなり、即「戦力として使える人材」を求めるようになってきている。そこで、ただ漠然と大学を出ただけでは、どこの企業も相手にしてくれない。大学で「何を学び」「何ができるか」「どんな資格を持っているか」が問われる時代がきているのである。このような状況の中、「小田ゼミ」では、会計事務所や経理担当部署に就職したい学生、更に税理士の資格を目指す学生を対象に、税法についての理解と学力を付けてもらいたい。簿記検定試験2級（日商）所持者は努力すれば在学中に税法1～2科目合格も夢では無い。（このゼミは会計事務所の就職希望者や経理部署希望者向きです）

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。  
 I 法人税関係：租税制度・法人税の基礎・益金・損金の計算・申告・納付  
 II 所得税関係：所得税の概要・各種所得の意義・計算方法・所得控除・申告納付

履修上の留意点

授業の要旨に述べたように、日本商工会議所主催の簿記検定3級合格者が望ましい。

成績評価の方法

本年度は税金とは何か、また、税金はわれわれの日常生活にどのように関係しているのだろうか、ということ議論を交えて考えてみたいので普段の出席が大切になるので休まないこと。

教 科 書

納税協会連合会編『新くらしの税金百科』2004→5（清文社）1,500円程度

参 考 書 等

随時掲げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	片桐伸夫	経営B3選	4

#### 講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
  - 2 「儲け」はどうか(収益性分析)、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうか(成長性分析)、
- といった内容です。

#### 履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。  
4年次(演習Ⅲ)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

#### その他

プレゼミや合宿も行います。  
ゼミ入室の決定方法は面接[志望理由書(500字程度)事前提出]とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度)によります。  
なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	加藤武信	経営B3選	4

#### 講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営を文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、会計ソフトの活用、データベース設計・システム設計について、演習Ⅱも含めて2年間を通して計画的に勉強を進める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 競争戦略・戦略情報システム  
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を5点ほど精読し、その要点整理を分担して行い、ワープロ文書にまとめる。
- (2) キャッシュフロー経営・会計の理解  
キャッシュフロー経営・会計の概要を検討し、パソコンを用いた計算事例を検討し、データ処理を行う。
- (3) 販売管理や顧客管理のシステム化に関する文献の考察とシステム設計の検討  
ExcelやAccessによる設計事例をベースにした検討を行う。
- (4) WordとExcelなどによる基本操作およびプログラミングの検討  
通産省の情報処理技術者試験取得の目標をもつ諸君に対しては、プログラミング言語の勉強もやれるように工夫する。  
以上の点は、さらに4年次で積み上げを行うための基礎であるので、手堅い勉強をしてもらいたい。

#### 履修上の留意点

演習は、諸君の専門をつくるための講座である。そのためには、自宅でのパソコン環境の整備(中古パソコンで可)や教材への資金の投入を惜しまず、情熱を持って努力を継続することが不可欠である。

#### 成績評価の方法

授業への出席、レポート提出、個別テーマへの取り組みと論文作成等平常の活動を総合して評価する。

#### 教科書

加藤武信他「コンピュータ活用」(サンウェイ出版)2,300

#### 参考書等

授業時に指示

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	呉 逸 良 <small>いっりょう</small>	経営B3選	4

講義のねらい

現実のデータを用いて演習問題を解き、このような計算演習を通じて、計量経済学の知識を学ぶ。そして経済学や経営学の基礎知識を理解した上で、それらの理論に対し、学んだ計量分析の手法を利用して検証し、研究分析の素養を培う。

講義の内容・  
授業スケジュール

2年次生は、ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎理論を理解するために、経済学の入門教科書に従ってセクションに応じて報告し、それをもとに質疑する。

3年次生は、計量経済学の基礎知識の学習と計算実践能力の向上を中心に、授業を進めていく。2～3人をグループとして組分けし、計量経済学の入門教科書に従ってセクションに応じた学習報告、及び演習問題の回答報告をし、それをもとに質疑する。

4年次生は、各自のテーマを決め、理論と実証の両面から、研究を進め、随時報告し、卒業論文としてまとめていく。

履修上の留意点

『計量経済学』を必修すること。

成績評価の方法

日頃の報告内容、出欠状況により総合的に判断する。(無断欠席の場合は退ゼミしてもらう事もありうる。)

教 科 書

最初の授業で指示する。

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひのけんた 日野 健太	経営B3選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマとあってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に引き上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。  
演習Ⅰでは、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。  
必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。  
学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度のフレックスA演習Ⅰで読破した本は、以下の2冊である。

伊丹敬之『経営戦略の論理』  
佐藤博樹・玄田有史『成長と人材』

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『市場占有率』は、ある市場でどんな企業が強いのか知りたいときに役立つ。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。  
無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	はねだしやうこ 羽田 尚子	経営B3選	4

講義のねらい

演習ⅠおよびⅡを通じ、自分の興味あるテーマをデータを使って解析し、その結果から新たな発見を導けるようになるのがこの演習の目的です。演習Ⅰでは分析に使うソフトウェアの使い方を覚えます。演習Ⅱでは、演習Ⅰで習得したデータ解析方法を使い、自分のテーマを分析します。

講義の内容・授業スケジュール

ソフトウェアを使った実習が中心です。データの扱い方、Excelやテキストエディタの基礎的な使い方を覚えた後、統計ソフトウェア TSP,DEA Solver を使った分析手法の実習を行います。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で採ったデータを使って各自実習し、ソフトウェアの使い方に慣れてもらいます。結果と考察はレポートにまとめ、定期的に提出してもらいます。

履修上の留意点

演習Ⅰ、Ⅱと継続して受講することを前提としています。

成績評価の方法

出席状況、課題の提出状況、理解度により総合的に評価します。

教科書

最初の授業で紹介しします。適宜プリントを配布します。

参考書等

箕谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（多賀出版）、白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	園田哲男	経営B3選	4

講義のねらい

講義のねらいは、最近の景気低迷期の中で、企業が生き抜くための経営戦略を考える。例えば、営業力の強化をはかるために顧客の差別化を考える。また、企業規模にふさわしい体質を強化するなど、具体的に経営戦略について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は経営戦略の意義や重要性、および特質などについて検討する。後期は、事業計画書の意義や作成方法について学習し、具体的に仮想事業を興し、ビジネスモデルをつくり、プレゼンテーションを通して、ビジネスの概念を理解する。

成績評価の方法

成績評価については、出席を重視し、研究発表およびレポートなど総合評価とする。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読 (英書)	山田純平	経営B3・4選	4

講義のねらい

英文で書かれた専門書の理解を目標とする。一文ずつ丹念に読むとともに、パラグラフのなかでどの部分が重要で、全体としてどのようなことが言われているかを読みとる訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

担当箇所を指示するので、その箇所の和訳と要約を授業中に報告してもらう。

履修上の留意点

入門的なテキストなので、会計の知識は原則として必要としない。

成績評価の方法

試験50%、報告30%、出席20%。

教科書

Antle, Rick and Stanley J, Garstka, *Financial Accounting*, South-Western Pub., 2002.  
教科書の必要な部分をコピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読 (英書)	速水昇	経営B3・4選	4

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するところには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦(Trade Friction)、財政赤字(Deficit Finance)などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

レポート、小テスト、和訳等総合評価による。

教科書

授業時にプリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス英語	まちい やすし 町井 靖	経営B・経営A3・4選	4

#### 講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

#### 履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

#### 成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

#### 教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

#### 参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	いいだてつお 飯田 哲夫	経営B 4選	4

#### 講義のねらい

情報処理および情報の分析が現在の企業経営において重要な役割を果たしていることは疑いありません。例えば、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの購買データが顧客の購買行動の分析に利用され、部品・原材料の納入業者との取引が取引の効率化および在庫情報の更新のために電子化され（電子商取引）、そして、逐次更新されている在庫情報をもとに原材料調達・生産・販売の各計画が作成されています。

また、大量の情報が入手可能となったことで、情報にもとづく客観的で合理的な意思決定を行うことがますます求められています。

一方で、大量の情報処理や合理的な意思決定の実践には、コンピュータの利用が必須となります。

このゼミでは、情報処理や情報の分析方法とそれらを実際に行うために必要となるコンピュータの高度な利用方法の両面について、幅広く学びます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

各自が情報処理および意思決定分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿って論文を作成します。

#### 履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが決められます。

#### 成績評価の方法

論文の内容とそのプレゼンテーションにより評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	岩 渕 昭 子 <small>いわぶち しょうこ</small>	経営B 4選	4

講義のねらい

会計を取り巻く環境は激変し、ここ数年間にさまざまな会計基準が新設あるいは変更されました。こうした新しい動きを社会との絡みで学習しながら、会計の理論と実務、会計に対する幅広い視野と問題解決能力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータによる会計処理のしかたについて学習するとともに経済性分析などについても学習します。時には、日本経済新聞の会計に関連する記事を読み、関連した会計の理論や基準について理解を深めます。

履修上の留意点

演習Ⅰの履修者で、簿記会計に興味があり、経理の仕事や税理士・公認会計士を希望するなど簿記会計の知識を生かした仕事をしたい学生の履修を望みます。

成績評価の方法

レポート・出席・受講態度等から総合的に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

必要に応じて、適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	大 島 久 幸 <small>おおしま ひさゆき</small>	経営B 4選	4

講義のねらい

本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役立つ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った生き生きした歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は卒業論文の作成を中心に進めます。春合宿までにテーマを設定し、前年度に学んだ事例研究の手法を用いて自らのテーマを深めてください。論理性とオリジナリティのある内容の論文作成を求めます。

履修上の留意点

演習Ⅰの履修が条件となります

成績評価の方法

卒業論文の内容と授業への参画度で総合的に判断します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	兼 村 栄 哲 <small>かね むら せい てつ</small>	経営B 4選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自の問題意識にしたがって、卒業論文を作成してもらおう。当論文は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする。

履修上の留意点

- 以下の4点を強く要望する。
- (1)積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
  - (2)お互いの親睦を深めること
  - (3)無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない受講生については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。
  - (4)授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。

参 考 書 等

適宜、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	高 井 徹 雄 <small>たか い てつ お</small>	経営B 4選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

4年次ゼミでは、卒業ゼミ論文の作成を通して、これまでの学習の成果を発揮していただきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4－7月：卒業ゼミ論文のテーマ選定と個人指導  
9－12月：卒業ゼミ論文作成に関する個人指導  
1月：卒業ゼミ論文の最終発表と提出

履修上の留意点

卒業ゼミ論文の作成と提出が、4年次演習履修の必須条件です。

成績評価の方法

個人指導の経過と、提出された卒業ゼミ論文及び発表を見て評価します。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はつとりよしひさ 服部昌久	経営B4選	4

講義のねらい

日本経済の現状を理解するとともに、日本経済・経営の特質について、理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は演習参加者が各自の取引銀行の経営分析を行うことを通じて、日本経済の現状を理解する。

後期は文献の輪読を行うことで、日本経済および経営の特質を、欧米と比較しながら、理解を深める。発表者が簡単なレポートを作成し、これを基に全員で議論を進める。

履修上の留意点

発表者だけでなく、他の受講生も積極的に議論に加わることを望む。

成績評価の方法

演習での活動状況をもって評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はとりしげる 羽鳥茂	経営B4選	4

講義のねらい

演習Ⅰのテーマを継続して学習する。

講義の内容・授業スケジュール

コーポレート・ファイナンスとコーポレート・ガバナンスについて一層の理解が前期の課題であり、後期においてそれらの関係を整理するとともに論文作成を指導していきたい。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性、提出論文により総合的に評価する。

教科書

演習Ⅰでのテキストを再読することをまず推奨する。他の必要な文献については適時紹介する。

その他

報告者は事前に報告要旨を配布すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	茂 <small>も</small> 垣 <small>がき</small> 広 <small>ひろ</small> 志 <small>し</small>	経営B 4 選	4

#### 講義のねらい

本ゼミでは、国際経営にかかわる問題を扱っていく。グローバル競争の中で、企業は様々な形で海外事業を展開している。しかし、国内とは異なり、海外では様々な問題に直面する。マーケティング、製品開発、生産、人事など国内とは異なる環境の下で問題に対処していかねばならない。ゼミでは、それらの問題にどのように対処すべきかを考えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営戦略の基礎的なアプローチを理解し、その応用として国際経営戦略について考察する。その後、企業の海外事業展開についてのトピックについて取り上げ、より具体的で実的な問題について議論していく。たとえば、下記のようなトピックである。

- ・わが社の A 製品で中国市場に参入するには、どのような製品範囲で、どのような価格、販売方法（ルート、営業方法）、調達方法が最適なのか？たとえば、上海でシェアの高いサントリーは、そのビール事業でどのような方法をとったのか。
- ・欧州統合に伴い、どのような地域統括方法が有効なのか？たとえば、ソニーや松下などは、どのような方法を用いているのか。
- ・研究開発や製品開発は国際的にどのような分業体制が考えられるのか。たとえば、ホンダは北米と欧州でどのような開発を行い、車種開発につなげているのか。
- ・本社と海外子会社をうまく連携させるにはどのような方法があるのか。たとえば、日本企業はどのような方法をとっており、どのような問題に直面しているのか。

#### 履修上の留意点

報告および議論を通じて、国際経営にかかわる基本的問題の理解のみならず、自分の言葉でそれを表現できる能力の形成にも重きを置いている。

#### 成績評価の方法

プレゼン内容および質疑応答により評価する

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

必要に応じて紹介、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	依田 聖 <small>きよし</small>	経営B4選	4

講義のねらい

現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと、すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部ではMOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文科系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら科学技術によるビジネスシーズを探索し、それをもとにビジネスプラン(事業計画)を作成することで、演習のまとめを行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

a. 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント (PPT) の使い方を覚える。b. 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPT を使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。

履修上の留意点

科学技術に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

## Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、  
フレックス A の頁を参照してください。(→P.395)

\* 他学部履修科目は、3 年次生以降を対象とします。



履修科目  
他学部

### Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	611
社会思想史	〈休講〉	
商業政策	〈休講〉	
アジア経済論	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
銀行業論	〈休講〉	
中小企業論	〈吉田敬一〉	612
人口論	〈森岡仁〉	613
法思想史	〈高橋洋城〉	614
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	615
経済法	〈荒井登志夫〉	616
国際関係論	〈三船恵美〉	616
地方自治法	〈富井幸雄〉	617
国際紛争解決法	〈王志安〉	618
倒産処理法	〈木川裕一郎〉	619
中国禅宗史	〈須山長治〉	620
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	620
インド仏教史	〈池田道浩〉	621
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	621
書道	〈那須隆吉〉	622
仏教と文化	〈木村誠司〉	622



科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ おお 大 吹 勝 男	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に相應えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにはありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

#### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は実施する。

#### 教科書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円  
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）4月刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よしだ けいいち 吉田 敬一	経営A・経営B	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期の講義概要〉 〈後期の講義概要〉  
 I 中小企業の基礎理論、 II - 4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟  
 I - 1 独占段階固有の中小企業問題、 II - 5 グローバル化と下請構造の大転換  
 I - 2 中小企業の法的規定、 III 戦後日本の中小企業政策、  
 I - 3 中小企業の経営類型、 III - 1 復興期の中小企業政策、  
 I - 4 中小企業の企業形態、 III - 2 高度成長と中小企業近代化政策、  
 I - 5 日本型下請構造の特質、 III - 3 中小企業政策の大転換、  
 II 日本型下請システムの形成過程、 IV 中小企業の経営問題、  
 II - 1 日本経済復活期の生産分業構造、 IV - 1 不正取引と下請問題、  
 II - 2 高度経済成長期の下請管理の合理化、 IV - 2 中小企業の金融問題  
 II - 3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり 森岡 じん	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

#### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。  
再試験を実施する。

#### 教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

#### 参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年  
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

#### その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか ぼし ひろ き 高 橋 洋 城	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだとすることを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

#### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで上で講義に臨むことが要求される。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

#### 教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

#### 参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・二島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井登志夫	経営A・経営B	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1～3) 前史、全体像・基本的概念 (4～5) 私的独占 (6～10) 不当な取引制限等 (価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11～14) 不正な取引方法・前半  
 〔後期〕(15～17) 不正な取引方法・後半 (景品表示法・下請法) (18) 寡占問題 (独占的状态・価格の同調的引上げ) (19～20) 第四章規定 (株式所有・合併・持株会社) (21～24) 適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟 (25) 国際的環境 (26) 事例研究 (27) まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説 [第2版]』(有斐閣) 3,800円  
 なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。(六法全書をできる限り持参してください。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	経営A・経営B	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念 (国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争) について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念 (ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論) を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』(南窓社) 2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経 営 A ・ 経 営 B	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

#### 教 科 書

開講時に指示します。

#### 参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	経営 A・経営 B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倒産処理法	木川 裕一郎 <small>き がわ ゆういちろう</small>	経営A・経営B	4

#### 講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

#### 履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となろう。

#### 成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

#### 教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤眞『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

#### 参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

#### その他

授業は講義形式で実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	須 山 長 治 <small>す やま ちよう じ</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解読しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

『碧巖録』(岩波文庫)、『雪竇頌古』(禅の語録シリーズ)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 禪 宗 史	角 田 泰 隆 <small>つの だ たい りゅう</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の、仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書(第三部禅宗の歴史-日本篇)によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学II』(更生社)2,370円

参 考 書 等

授業において紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけ た みち ひろ 池田道浩	経営A・経営B	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）  
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	ほがま や のり あき 袴谷憲昭	経営A・経営B	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今店頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舎宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教思想
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとする事が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末本文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	那 須 隆 吉 <small>な す たか よし</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。
- ・中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教 科 書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 文 化	木 村 誠 司 <small>き むら せい し</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

本年度は、輪廻についてできるだけ広い視点から考察してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は、出席者と相談の上、変更する場合もある。

成績評価の方法

成績評価は、通常の講義中に行う小テストや小レポートによってなされる。したがって、欠席の多い者は評価の対象にならない。

教 科 書

出席者には、そのつど資料等を配布する。